平成２３年　３月２８日

全国路線網に属する高速道路に係る業務実施計画の変更

２（1）、３（1）及び８（２）中、「別紙１－１」を「別紙１－E－１」に、「別紙１－１５０」を「別紙１－E－１５３」に、「別紙１－１５１」を「別紙１－C－１」に、「別紙１－２２９」を「別紙１－C－７９」に、「別紙１－２３０」を「別紙１－W－１」に、「別紙１－３３０」を「別紙１－W－１０２」に改める。

６（３）中、「平成６２年８月１５日」を「平成６２年８月２９日」に改める。

別紙１を次のとおり改める。

別紙１－Ｅ－１

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（北海道茅部郡森町字赤井川から北海道二海郡八雲町東野まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道茅部郡森町字赤井川　　から
北海道二海郡八雲町東野　　まで

（ロ） 延　　長　　29. 9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
北海道茅部郡森町字赤井川 から 北海道二海郡八雲町東野 まで	100	29. 9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道茅部郡森町字赤井川 から 北海道二海郡八雲町東野 まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
北海道縦貫自動車道	北海道茅部郡森町字赤井川	平面接続	本線（新直轄）
道道大沼インター線	北海道茅部郡森町字赤井川	平面接続	大沼公園インターチェンジ
道道森インター線	北海道茅部郡森町字森川町	立体接続	森インターチェンジ
道道落部インター線	北海道二海郡八雲町東野	立体接続	落部インターチェンジ

（4） 工事予算

68，469 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

46，405 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　45，851 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－２

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（北海道二海郡八雲町東野から北海道二海郡八雲町立岩まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道二海郡八雲町東野　　から
北海道二海郡八雲町立岩　　まで

（ロ） 延　　長　　16．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
北海道二海郡八雲町東野 から 北海道二海郡八雲町立岩 まで	100	16．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道二海郡八雲町東野 から 北海道二海郡八雲町立岩 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
道道落部インター線	北海道二海郡八雲町東野	立体接続	落部インターチェンジ
一般国道277号	北海道二海郡八雲町立岩	立体接続	八雲インターチェンジ

（4） 工事予算

31，222 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　10 日　（供用開始）

平成　25 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

7，122 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，122 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－３

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（北海道二海郡八雲町立岩から北海道山越郡長万部町字国縫まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道二海郡八雲町立岩　　から
北海道山越郡長万部町字国縫　　まで

（ロ） 延　　長　　21．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
北海道二海郡八雲町立岩 から 北海道山越郡長万部町字国縫 まで	100	21．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道二海郡八雲町立岩 から 北海道山越郡長万部町字国縫 まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道277号	北海道二海郡 八雲町立岩	立体接続	八雲インターチェンジ
一般国道230号	北海道山越郡 長万部町字国縫	立体接続	国縫インターチェンジ

（4） 工事予算

32，347 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成年月日　　平成　18 年　11 月　18 日　（供用開始）

平成　21 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，071 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　9，071 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－４

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（北海道余市郡余市町登町から北海道小樽市新光町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道余市郡余市町登町　　から
北海道小樽市新光町　　まで

（ロ） 延　　長　　23. 4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
北海道余市郡余市町登町　から 北海道小樽市新光町　まで	100	23. 4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道余市郡余市町登町 から 北海道小樽市新光町 まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
道道登余市停車場線	北海道余市郡余市町登町	平面接続	余市インターチェンジ（仮称）
道道小樽西インター線	北海道小樽市塩谷	立体接続	小樽西インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

106，142 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

132，772 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　127，584 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－５

北海道横断自動車道黒松内釧路線
（北海道夕張市紅葉山から北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道夕張市紅葉山　　から
北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野　　まで

（ロ） 延　　長　　34．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
北海道夕張市紅葉山 から 北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野 まで	100	34．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道夕張市紅葉山 から 北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道274号	北海道夕張市紅葉山	立体接続	夕張インターチェンジ
道道穂別インター線	北海道勇払郡むかわ町穂別	立体接続	むかわ穂別インターチェンジ
道道占冠インター線	北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野	立体接続	占冠インターチェンジ

（4） 工事予算

137，599 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　10 月　 8 日　（夕張ICランプ切替）

平成　23 年　11 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

141，124 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　141，124 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－６

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野から北海道勇払郡占冠村字上トマムまで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野　　から
北海道勇払郡占冠村字上トマム　　まで

（ロ） 延　　長　　26. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
北海道勇払郡占冠村 字シムカプ原野　から 北海道勇払郡占冠村字上トマム　まで	100	26. 2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野 から 北海道勇払郡占冠村字上トマム まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
道道占冠インター線	北海道勇払郡 占冠村字シムカプ原野	立体接続	占冠インターチェンジ
道道夕張新得線	北海道勇払郡 占冠村字上トマム	立体接続	トマムインターチェンジ

（4） 工事予算

53，916 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　24 日　（供用開始）

平成　25 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

54，282 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　54，282 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｅ－７

北海道横断自動車道黒松内釧路線
（北海道勇払郡占冠村字上トマムから北海道上川郡清水町字清水まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道勇払郡占冠村字上トマム　　から
北海道上川郡清水町字清水　　まで

（ロ） 延　　長　　20. 9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
北海道勇払郡占冠村字上トマム　から 北海道上川郡清水町字清水　まで	100	20. 9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道勇払郡占冠村字上トマム から 北海道上川郡清水町字清水 まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
道道夕張新得線	北海道勇払郡 占冠村字上トマム	立体接続	トマムインターチェンジ
一般国道274号	北海道上川郡 清水町字清水	立体接続	十勝清水インターチェンジ

（4） 工事予算

47，179 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成年月日　　平成　19 年　10 月　21 日　（供用開始）

平成　22 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

35，386 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　35，386 百万円）（消費税込み）

日本海沿岸東北自動車道

（新潟県胎内市弥彦岡から新潟県村上市南新保まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　新潟県胎内市弥彦岡　から
新潟県村上市南新保　まで

（ロ） 延　　長　　9．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
新潟県胎内市弥彦岡 から 新潟県村上市南新保 まで	100	9．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
新潟県胎内市 弥彦岡　から 新潟県村上市 南新保　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道中条インター線	新潟県胎内市弥彦岡	立体接続	中条インターチェンジ
一般国道113号	新潟県村上市南新保	立体接続	荒川胎内インターチェンジ
日本海沿岸東北自動車道	新潟県村上市南新保	平面接続	本線（新直轄）

（4） 工事予算

23，470 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　4 月　17 日
②工事の完成年月日　　平成　21 年　7 月　18 日　（供用開始）

平成　22 年　7 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

16，583 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　16，583 百万円）（消費税込み）

東北中央自動車道相馬尾花沢線
（山形県東置賜郡高畠町大字深沼から山形県上山市金瓶まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山形県東置賜郡高畠町大字深沼　　から
山形県上山市金瓶　　まで

（ロ） 延　　長　　24．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
山形県東置賜郡高畠町大字深沼 から 山形県上山市金瓶 まで	100	24．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245 kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県東置賜郡 高畠町大字深沼　から 山形県上山市金瓶　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル　（土工部）
—　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道13号 （米沢南陽道路）	山形県東置賜郡 高畠町大字深沼	平面接続	本線
一般国道13号	山形県東置賜郡 高畠町大字深沼	立体接続	南陽高畠インターチェンジ
一般国道13号	山形県上山市藤吾	立体接続	上山インターチェンジ（仮称）
一般国道13号	山形県上山市金瓶	立体接続	山形上山インターチェンジ

（4） 工事予算

107，900 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

131，844 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　126，434 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道

（福島県双葉郡富岡町大字上手岡から福島県相馬市粟津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県双葉郡富岡町大字上手岡　　から
福島県相馬市粟津　　まで

（ロ） 延　　長　　47．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福島県双葉郡富岡町大字上手岡 から 福島県相馬市粟津 まで	100	47．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県双葉郡 富岡町大字上手岡　から 福島県相馬市 粟津　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道　小野富岡線	福島県双葉郡 富岡町大字上手岡	立体接続	常磐富岡インターチェンジ
一般国道114号	福島県双葉郡 浪江町大字室原	立体接続	浪江インターチェンジ（仮称）
県道　原町川俣線	福島県南相馬市 原町区	立体接続	原町インターチェンジ（仮称）
一般国道115号	福島県相馬市 粟津	立体接続	相馬インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

102，465 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

92，160 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　91，160 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道

（福島県相馬市粟津から福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県相馬市粟津　　から
福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺　　まで

（ロ） 延　　長　　8．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福島県相馬市粟津 から 福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺 まで	100	8．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県相馬市 粟津　から 福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道115号	福島県相馬市粟津	立体接続	相馬インターチェンジ（仮称）
一般国道113号	福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺	立体接続	新地インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

22，841 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

25，482 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，662 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道

（福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺から宮城県亘理郡山元町大平まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺　　から
宮城県亘理郡山元町大平　　まで

（ロ） 延　　長　　14．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺 から 宮城県亘理郡山元町大平 まで	100	14．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　から 宮城県亘理郡 山元町大平　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道113号	福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺	立体接続	新地インターチェンジ（仮称）
一般国道6号	宮城県亘理郡 山元町大平	立体接続	山元インターチェンジ

（4） 工事予算

46，757 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

55，480 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　53，430 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道

（宮城県亘理郡山元町大平から宮城県亘理郡亘理町逢隈まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮城県亘理郡山元町大平　　から
宮城県亘理郡亘理町逢隈　　まで

（ロ） 延　　長　　11．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
宮城県亘理郡山元町大平 から 宮城県亘理郡亘理町逢隈 まで	100	11．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
宮城県亘理郡山元町大平 から 宮城県亘理郡亘理町逢隈 まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道6号	宮城県亘理郡 山元町大平	立体接続	山元インターチェンジ
県道亘理インター線	宮城県亘理郡 亘理町逢隈	立体接続	亘理インターチェンジ
一般国道6号 （仙台東部道路）	宮城県亘理郡 亘理町逢隈	平面接続	本線

（4） 工事予算

27，257 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　4 月　17 日
②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　6 月　23 日　（亘理ICランプ切替）

平成　21 年　9 月　12 日　（供用開始）

平成　23 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

12，139 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　12，139 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道千葉富津線

（千葉県君津市三直から千葉県富津市鶴岡まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道千葉富津線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県君津市三直　　から
千葉県富津市鶴岡　　まで

（ロ） 延　　長　　9．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
千葉県君津市三直 から 千葉県富津市鶴岡 まで	100	9．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
千葉県君津市三直　から 千葉県富津市鶴岡　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道君津鴨川線	千葉県君津市三直	立体接続	君津インターチェンジ
一般国道127号	千葉県富津市鶴岡	立体接続	富津中央インターチェンジ

（4） 工事予算

44，610 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　18 年　11 月　30 日　（君津ICランプ切替）

平成　19 年　4 月　13 日　（君津ICランプ切替）

平成　19 年　7 月　4 日　（供用開始）

平成　24 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

17，450 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　17，450 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市鷹野三丁目から千葉県松戸市三矢小台二丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県三郷市鷹野三丁目　　から
千葉県松戸市三矢小台二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　5．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
埼玉県三郷市鷹野三丁目 から 千葉県松戸市三矢小台二丁目 まで	80	5．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
埼玉県三郷市鷹野三丁目　から 千葉県松戸市三矢小台二丁目　まで	4 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道298号	埼玉県三郷市 鷹野三丁目	立体接続	三郷南インターチェンジ
一般国道298号	千葉県松戸市 三矢小台二丁目	立体接続	松戸インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

131，070 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　12 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

129，106 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　125，881 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線

（千葉県松戸市三矢小台二丁目から千葉県市川市高谷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県松戸市三矢小台二丁目　　から
千葉県市川市高谷　　まで

（ロ） 延　　長　　10．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
千葉県松戸市三矢小台二丁目 から 千葉県市川市高谷 まで	80	10．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
千葉県松戸市 三矢小台二丁目　から 千葉県市川市高谷　まで	4 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

３．００　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道298号	千葉県松戸市三矢小台二丁目	立体接続	松戸インターチェンジ（仮称）
一般国道298号	千葉県市川市国分	立体接続	市川北インターチェンジ（仮称）
一般国道298号	千葉県市川市平田	立体接続	市川南インターチェンジ（仮称）
一般国道14号（京葉道路）	千葉県市川市稲荷木	立体接続	京葉ジャンクション（仮称）
一般国道298号	千葉県市川市高谷	立体接続	高谷インターチェンジ（仮称）
県道高速湾岸線	千葉県市川市高谷	立体接続	高谷ジャンクション（仮称）
東関東自動車道	千葉県市川市高谷	立体接続	高谷ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

756，455 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　13 日　（京葉JCT施工に伴う京葉道路切替）

平成　28 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

735，993 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　713，512 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線

（茨城県鉾田市飯名から茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県鉾田市飯名　　から
茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田　　まで

（ロ） 延　　長　　8．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
茨城県鉾田市飯名 から 茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田 まで	100	8．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
茨城県鉾田市飯名 から 茨城県東茨城郡茨城町 大字鳥羽田 まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	—	—	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）
—　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道小川鉾田線	茨城県鉾田市飯名	立体接続	鉾田インターチェンジ（仮称）
県道茨城鹿島線	茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田	立体接続	茨城空港北インターチェンジ

（4） 工事予算

24，290 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

30，524 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　29，312 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線

（茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田から茨城県東茨城郡茨城町大字小鶴まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田　　から
茨城県東茨城郡茨城町大字小鶴　　まで

（ロ） 延　　長　　8．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田 から 茨城県東茨城郡茨城町大字小鶴 まで	100	8．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
茨城県東茨城郡茨城町 大字鳥羽田　から 茨城県東茨城郡茨城町 大字小鶴　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道茨城鹿島線	茨城県東茨城郡 茨城町大字鳥羽田	立体接続	茨城空港北インターチェンジ
北関東自動車道	茨城県東茨城郡 茨城町大字小鶴	立体接続	茨城町ジャンクション

（4） 工事予算

24，143 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　 3 月　 6 日　（供用開始）

平成　24 年　 3 月　31 日　（残事業完了）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

23，412 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　23，412 百万円）（消費税込み）

北関東自動車道

（群馬県伊勢崎市三和町から群馬県太田市東今泉町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　群馬県伊勢崎市三和町　　から
群馬県太田市東今泉町　　まで

（ロ） 延　　長　　16．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
群馬県伊勢崎市三和町 から 群馬県太田市東今泉町 まで	100	16．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
群馬県伊勢崎市三和町　から 群馬県太田市東今泉町　まで	4 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道17号	群馬県伊勢崎市三和町	立体接続	伊勢崎インターチェンジ
一般県道大原境三ツ木線	群馬県太田市大原町	立体接続	太田藪塚インターチェンジ
一般国道122号	群馬県太田市東今泉町	立体接続	太田桐生インターチェンジ

（4） 工事予算

86，909 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　19 年　12 月　 5 日　（伊勢崎ICランプ切替）

平成　20 年　 3 月　 8 日　（供用開始）

平成　27 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

34，676 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　34，676 百万円）（消費税込み）

北関東自動車道

（群馬県太田市東今泉町から栃木県足利市菅田町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　群馬県太田市東今泉町　　から
栃木県足利市菅田町　　まで

（ロ） 延　　長　　10．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
群馬県太田市東今泉町 から 栃木県足利市菅田町 まで	100	10．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
群馬県太田市東今泉町　から 栃木県足利市菅田町　まで	4 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	―	―	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道122号	群馬県太田市 東今泉町	立体接続	太田桐生インターチェンジ
一般国道293号	栃木県足利市 菅田町	立体接続	足利インターチェンジ

（4） 工事予算

53，401 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 4 月　17 日
②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　 3 月　19 日　（供用開始）

平成　26 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

46，583 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　46，583 百万円）（消費税込み）

北関東自動車道

（栃木県足利市菅田町から栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　栃木県足利市菅田町　　から
栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺　　まで

（ロ） 延　　長　　13．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
栃木県足利市菅田町 から 栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺 まで	100	13．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
栃木県足利市菅田町　から 栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	―	―	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道293号	栃木県足利市菅田町	立体接続	足利インターチェンジ
県道佐野田沼線	栃木県佐野市小見町	立体接続	佐野田沼インターチェンジ
東北縦貫自動車道弘前線	栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺	立体接続	岩舟ジャンクション

（4） 工事予算

76，144 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	10 年	1 月	20 日	
②工事の完成予定年月日	平成	19 年	9 月	5 日	（岩舟JCT施工に伴う東北道の切替）
	平成	22 年	4 月	17 日	（佐野田沼IC～岩舟JCT供用開始）
	平成	23 年	3 月	19 日	（足利IC～佐野田沼IC供用開始）
	平成	28 年	3 月	31 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

68，006 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　68，006 百万円）（消費税込み）

北関東自動車道

（栃木県河内郡上三川町大字磯岡から栃木県真岡市長田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　栃木県河内郡上三川町大字磯岡　　から
栃木県真岡市長田　　まで

（ロ） 延　　長　　7．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
栃木県河内郡上三川町大字磯岡 から 栃木県真岡市長田 まで	100	7．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
栃木県河内郡上三川町 大字磯岡　から 栃木県真岡市長田　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道4号	栃木県河内郡 上三川町大字磯岡	立体接続	宇都宮上三川インターチェンジ
一般国道408号	栃木県真岡市 長田	立体接続	真岡インターチェンジ

（4） 工事予算

32，170 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成年月日　　平成　20 年　 3 月　15 日　（供用開始）

平成　22 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，976 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，976 百万円）（消費税込み）

北関東自動車道

（栃木県真岡市長田から茨城県桜川市長方まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　栃木県真岡市長田　　から
茨城県桜川市長方　　まで

（ロ） 延　　長　　14．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
栃木県真岡市長田 から 茨城県桜川市長方 まで	100	14．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
栃木県真岡市長田　から 茨城県桜川市長方　まで	4 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道408号	栃木県真岡市長田	立体接続	真岡インターチェンジ
一般国道50号	茨城県桜川市長方	立体接続	桜川筑西インターチェンジ

（4） 工事予算

49，186 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 4 月　17 日
②工事の完成予定年月日　　平成　20 年　12 月　20 日　（供用開始）

平成　24 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

33，339 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　33，339 百万円）（消費税込み）

北関東自動車道

（茨城県桜川市長方から茨城県笠間市福原まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県桜川市長方　　から
茨城県笠間市福原　　まで

（ロ） 延　　長　　8．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
茨城県桜川市長方 から 茨城県笠間市福原 まで	100	8．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
茨城県桜川市長方　から 茨城県笠間市福原　まで	4 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道50号	茨城県桜川市長方	立体接続	桜川筑西インターチェンジ
県道土浦笠間線	茨城県笠間市福原	立体接続	笠間西インターチェンジ

（4） 工事予算

38，017 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　20 年　 4 月　12 日　（供用開始）

平成　23 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

25，118 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　25，118 百万円）（消費税込み）

北関東自動車道

（茨城県笠間市福原から茨城県笠間市平町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県笠間市福原　　から
茨城県笠間市平町　　まで

（ロ） 延　　長　　9．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
茨城県笠間市福原 から 茨城県笠間市平町 まで	100	9．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
茨城県笠間市福原　から 茨城県笠間市平町　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道土浦笠間線	茨城県笠間市福原	立体接続	笠間西インターチェンジ
一般国道355号	茨城県笠間市平町	立体接続	友部インターチェンジ

（4） 工事予算

27，464 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成年月日　　平成　19 年　11 月　14 日　（供用開始）

平成　22 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，283 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，283 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（八雲PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道二海郡八雲町

別　紙　1

（3） 工事予算

955 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　10 日　（供用開始）

平成　33 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，222 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，222 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（黒松内JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道寿都郡黒松内町字東川

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道5号	北海道寿都郡 黒松内町字東川	立体接続	黒松内ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

1，966 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　11 月　 7 日　（供用開始）

平成　25 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，574 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，574 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（虻田洞爺湖IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道虻田郡洞爺湖町三豊

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道230号	北海道虻田郡 洞爺湖町三豊	立体接続	虻田洞爺湖インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，996 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　14 年　 4 月　 9 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　12 月　21 日　（供用開始）

平成　22 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，150 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，150 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（剣淵PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道上川郡剣淵町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，304 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，708 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，642 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（銭函IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道小樽市星野町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道銭函インター線	北海道小樽市 星野町	立体接続	銭函インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

5，455 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，785 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，630 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（手稲IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道札幌市手稲区富丘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道手稲インター線	北海道札幌市 手稲区富丘	立体接続	手稲インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

873 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，187 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，148 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（由仁PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道夕張郡由仁町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，196 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，337 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，286 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（占冠PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道勇払郡占冠村

別　紙　1

（3） 工事予算

1，227 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，356 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，302 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内北見線（本別JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内北見線

（2） 工事の箇所

北海道中川郡本別町勇足

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
北海道横断自動車道 黒松内釧路線	北海道中川郡 本別町勇足	立体接続	本別ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

1，346 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，719 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，650 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（本別IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道中川郡本別町共栄

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道本別インター線	北海道中川郡 本別町共栄	立体接続	本別インターチェンジ
北海道横断自動車道 黒松内釧路線	北海道中川郡 本別町共栄	平面接続	本線（新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

443 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　11 月　21 日　（供用開始）

平成　24 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

528 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　528 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内北見線（足寄IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内北見線

（2） 工事の箇所

北海道足寄郡足寄町郊南

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道242号	北海道足寄郡 足寄町郊南	立体接続	足寄インターチェンジ
北海道横断自動車道 黒松内北見線	北海道足寄郡 足寄町郊南	平面接続	本線（新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，116 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，642 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，586 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線

（東京都練馬区大泉町五丁目から埼玉県川口市赤芝新田まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

東京都練馬区大泉町五丁目　　から
埼玉県川口市赤芝新田　　まで

（3） 工事予算

12，565 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，738 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，467 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（久喜白岡JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

埼玉県久喜市下早見

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	埼玉県久喜市 下早見	立体接続	久喜白岡ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

11，910 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　5 月　29 日　（供用開始）

平成　25 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

12，858 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　12，858 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（久喜白岡JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

埼玉県久喜市下早見

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	埼玉県久喜市 下早見	立体接続	久喜白岡ジャンクション

（4） 工事予算

9，811 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

10，688 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，688 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線

（栃木県矢板市大槻から栃木県矢板市片岡まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　栃木県矢板市大槻　　から
栃木県矢板市片岡　　まで

（ロ） 延　　長　　1．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
栃木県矢板市大槻　から 栃木県矢板市片岡　まで	100	1．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
栃木県矢板市大槻 から 栃木県矢板市片岡 まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50	2．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

1，709 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　7 月　16 日　（供用開始）

平成　25 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，204 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，204 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（黒磯板室IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

栃木県那須塩原市中内

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道大田原高林線	栃木県那須塩原市 鹿野崎	立体接続	黒磯板室インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，093 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成年月日　　平成　21 年　3 月　29 日　（供用開始）

平成　22 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，251 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，251 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線(福島JCT)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

福島県福島市笹谷

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東北中央自動車道 相馬尾花沢線	福島県福島市笹谷	平面接続	福島ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

5，300 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　29 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，948 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　6，681 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線
（宮城県白石市福岡深谷から宮城県仙台市太白区茂庭まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県白石市福岡深谷　　から

宮城県仙台市太白区茂庭　まで

別　紙　1

（3）工事予算

2，100 百万円（消費税込み）

（4）工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6　月 29 日

②工事の完成予定年月日　平成　22 年　7　月 16 日　（供用開始）

平成　25 年　3　月 31 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，431 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　2，431百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（富谷JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県黒川郡富谷町穀田

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道47号 （仙台北部道路）	宮城県黒川郡 富谷町穀田	立体接続	富谷ジャンクション

（4） 工事予算

2，927 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　平成　22 年　3 月　27 日　（供用開始）

平成　23 年　9 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，650 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　3，650 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（小坂JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

秋田県鹿角郡小坂町小坂

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
日本海沿岸東北自動車道	秋田県鹿角郡 小坂町小坂	平面接続	小坂ジャンクション(仮称)

（4） 工事予算

5，942 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

7，034 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，003 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道八戸線（八戸JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道八戸線

（2） 工事の箇所

青森県八戸市坂牛

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道45号	青森県八戸市坂牛	立体接続	八戸ジャンクション

（4） 工事予算

1，408 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　6 年　9 月　20 日

②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，753 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，687 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道釜石秋田線（東和IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道釜石秋田線

（2） 工事の箇所

岩手県花巻市東和町安俵

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道北上東和線	岩手県花巻市東和町安俵	立体接続	東和インターチェンジ
東北横断自動車道釜石秋田線	岩手県花巻市東和町安俵	平面接続	本線 （新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

1,468 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，107 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，072 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道酒田線（鶴岡JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道酒田線

（2） 工事の箇所

山形県鶴岡市山田

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
日本海沿岸東北自動車道	山形県鶴岡市山田	平面接続	鶴岡ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

6，885 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成18年　4月19日

②工事の完成予定年月日　平成24年　3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

7，940 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，919 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道いわき新潟線
（福島県いわき市好間町榊小屋から福島県いわき市三和町合戸まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道いわき新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県いわき市好間町榊小屋　　から
福島県いわき市三和町合戸　　まで

（ロ） 延　　長　　4．1　キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県いわき市 好間町榊小屋　から 福島県いわき市 三和町合戸　まで	80	4．1	

（ハ） 設計自動車荷重　　245 kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県いわき市 好間町榊小屋　から 福島県いわき市 三和町合戸　まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

別　紙　1

（4） 工事予算

5，396 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　　1 月　18　日

②工事の完成年月日　　平成　20 年　10 月　　2 日　（外外運用）

平成　20 年　11 月　30 日　（供用開始）

平成　21 年　11 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

5，705 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　5，705 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道いわき新潟線
（福島県田村郡小野町大字夏井から福島県田村郡小野町大字小野赤沼まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道いわき新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県田村郡小野町大字夏井　　から
福島県田村郡小野町大字小野赤沼　　まで

（ロ） 延　　長　　7．2　キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県田村郡 小野町大字夏井　から 福島県田村郡 小野町大字小野赤沼　まで	80	7．2	

（ハ） 設計自動車荷重　　245 kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県田村郡 小野町大字夏井　から 福島県田村郡 小野町大字小野赤沼　まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	－

別　紙　1

（4） 工事予算

4，748 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　18 日

②工事の完成年月日　　平成　20 年　 9 月　 5 日　（外外運用）

平成　20 年　11 月　30 日　（供用開始）

平成　21 年　11 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，002 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，002 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道いわき新潟線
（福島県田村郡小野町大字飯豊から福島県田村郡小野町大字吉野辺まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道いわき新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県田村郡小野町大字飯豊　　から
福島県田村郡小野町大字吉野辺　　まで

（ロ） 延　　長　　4. 8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県田村郡小野町大字飯豊 から 福島県田村郡小野町大字吉野辺 まで	80	4．8	

（ハ） 設計自動車荷重　　245 kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県田村郡小野町大字飯豊 から 福島県田村郡小野町大字吉野辺 まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1.25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	―

別　紙　1

（4） 工事予算

2，599 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　18 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 7 月　19 日　（外外運用）

平成　18 年　11 月　22 日　（供用開始）

平成　19 年　11 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，755 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，755 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道いわき新潟線
（福島県田村市船引町堀越から福島県田村市船引町春山まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道いわき新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県田村市船引町堀越　　から
福島県田村市船引町春山　　まで

（ロ） 延　　長　　6. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県田村市船引町堀越　から 福島県田村市船引町春山　まで	80	6．3	

（ハ） 設計自動車荷重　　245 kN （B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県田村市船引町堀越　から 福島県田村市船引町春山　まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1.25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	―

別　紙　1

（4） 工事予算

3，413 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　18 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　 8 月　 1 日　（外外運用）

平成　19 年　11 月　17 日　（供用開始）

平成　20 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，888 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，888 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道いわき新潟線
（福島県田村郡三春町大字芹ケ沢から福島県郡山市西田町大田まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道いわき新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県田村郡三春町大字芹ケ沢　　から
福島県郡山市西田町大田　　まで

（ロ） 延　　長　　4. 9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福島県田村郡三春町大字芹ケ沢 から 福島県郡山市西田町大田 まで	80	4．9	

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県田村郡三春町大字芹ケ沢 から 福島県郡山市西田町大田 まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1.25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	―

別　紙　1

（4） 工事予算

2，801 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　18 日

②工事の完成年月日　　平成　20 年　11 月　14 日　（外外運用）

平成　20 年　11 月　14 日　（供用開始）

平成　22 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，282 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，282 百万円）（消費税込み）

日本海沿岸東北自動車道（豊栄SA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

新潟県新潟市

（3） 工事予算

400 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

653 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　632 百万円）（消費税込み）

日本海沿岸東北自動車道（岩城IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

秋田県由利本荘市岩城内道川

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道雄和岩城線	秋田県由利本荘市 岩城内道川	立体接続	岩城インターチェンジ

（4） 工事予算

1，147 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　7 月　2 日　（岩城ICランプ切替）
平成　19 年　9 月　17 日　（供用開始）
平成　20 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

305 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　305 百万円）（消費税込み）

日本海沿岸東北自動車道（雄和PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

秋田県秋田市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，260 百万円　（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　4 月　30 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，411 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，359 百万円）（消費税込み）

東北中央自動車道相馬尾花沢線（山形PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の箇所

山形県山形市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，786 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　15 年　12 月　 4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，369 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，317 百万円）（消費税込み）

東北中央自動車道相馬尾花沢線
（山形県天童市大字大町から山形県東根市大字羽入まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山形県天童市大字大町　　から
山形県東根市大字羽入　　まで

（ロ） 延　　長　　1．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
山形県天童市大字大町 から 山形県東根市大字羽入 まで	100	1．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県天童市 大字大町　から 山形県東根市 大字羽入　まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50	2．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75	1．75	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 中央帯の標準幅員

ー　メートル

（チ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
国道287号	山形県東根市大字羽入	立体接続	東根インターチェンジ
東北中央自動車道相馬尾花沢線	山形県東根市大字羽入	平面接続	本線 （新直轄）

（4） 工事予算

3，659 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年 12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成 28 年　3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，177 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，992 百万円）（消費税込み）

関越自動車道新潟線（鶴ヶ島JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の箇所

埼玉県鶴ヶ島市大字藤金

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号	埼玉県鶴ヶ島市 大字藤金	立体接続	鶴ヶ島ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，913 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	昭和	62 年	1 月	20 日	
②工事の完成予定年月日	平成	20 年	3 月	29 日	（供用開始）
	平成	25 年	3 月	31 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，284 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　3，284 百万円）（消費税込み）

関越自動車道新潟線

（埼玉県坂戸市大字戸口から埼玉県坂戸市大字中里まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県坂戸市大字戸口　　から
埼玉県坂戸市大字中里　　まで

（ロ） 延　　長　　1．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県坂戸市大字戸口　から 埼玉県坂戸市大字中里　まで	120	1．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．00 メートル（登坂車線）

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県坂戸市大字戸口 から 埼玉県坂戸市大字中里 まで	6 車線	6 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75	1．75	―	―	―	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75	1．75	―	―	―	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	―	―	―	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

2，900 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　 6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，583 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，463 百万円）（消費税込み）

関越自動車道新潟線

（埼玉県深谷市畠山から群馬県渋川市八木原まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間

Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から
	埼玉県深谷市黒田	まで
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から
	群馬県渋川市八木原	まで

（ロ） 延　　長

Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から	2．6　キロメートル
	埼玉県深谷市黒田	まで	
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から	1．7　キロメートル
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで	
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から	1．8　キロメートル
	群馬県渋川市八木原	まで	

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間			設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から	120	2．6	
	埼玉県深谷市黒田	まで			
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から	120	1．7	
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで			
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から	120	1．8	
	群馬県渋川市八木原	まで			

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50 メートル　（ただし、Ⅰ埼玉県深谷市本田から埼玉県深谷市黒田までは3．00メートル（登坂車線））

（ホ） 車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
Ⅰ	埼玉県深谷市本田 から 埼玉県深谷市黒田 まで	6 車線	6 車線	付加車線事業
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関 から 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美 まで	6 車線	6 車線	付加車線事業
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田 から 群馬県渋川市八木原 まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		摘要
	左側	計	左側	計	左側	計	
土工（掘割）部分	1．75	1．75	2．50	2．50	2．50	2．50	
トンネル部分	－	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75	1．75	－	－	2．50	2．50	
橋梁高架部分（長大橋）	1．50	1．50	2．50	2．50	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

7，100 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　 6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　12 月　17 日　（本庄児玉IC　供用開始）

平成　23 年　 3 月　17 日　（花園IC、渋川伊香保IC　供用開始）

平成　28 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，360 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　9，134 百万円）（消費税込み）

関越自動車道上越線（佐久小諸JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道上越線

（2） 工事の箇所

長野県小諸市御影新田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中部横断自動車道	長野県小諸市 御影新田	平面接続	佐久小諸ジャンクション （新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

7，628 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　23 年　3 月　26 日　（供用開始）

平成　24 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，240 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，240 百万円）（消費税込み）

関越自動車道上越線

（長野県中野市大字永江から長野県上水内郡信濃町大字富濃まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　上越線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長野県中野市大字永江　　から
長野県上水内郡信濃町大字富濃　　まで

（ロ） 延　　長　　8．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長野県中野市大字永江　から 長野県上水内郡信濃町大字富濃　まで	80	8．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
長野県中野市大字永江 から 長野県上水内郡信濃町大字富濃 まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．25	1．00	2．25	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

23，862 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成年月日　　平成　21 年　 8 月　24 日　（外外運用）

平成　21 年　11 月　19 日　（供用開始）

平成　22 年　11 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

25，230 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　25，230 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道

（埼玉県川口市赤芝新田から埼玉県三郷市番匠免二丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県川口市赤芝新田　　から
埼玉県三郷市番匠免二丁目　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

9，030 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，596 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，506 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（八潮PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県八潮市

別　紙　1

（3） 工事予算

24，724 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

27，092 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　25，827 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（つくばJCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

茨城県つくば市梶内

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	茨城県つくば市 梶内	立体接続	つくばジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，045 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　4 月　24 日　（供用開始）

平成　23 年　3 月　30 日　（残事業完了）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，219 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，219 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（楢葉PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡楢葉町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，411 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，205 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，160 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道(鹿島SA)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県南相馬市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，836 百万円　（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　10 年　4 月　17 日

②工事の完成予定年月日　平成　27 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，185 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　2，095 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（亘理PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

宮城県亘理郡亘理町

別　紙　1

（3） 工事予算

1,500 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，932 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，865 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道千葉富津線（木更津JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道千葉富津線

（2） 工事の箇所

千葉県木更津市犬成犬成笹子両村新田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	千葉県木更津市 犬成犬成笹子両村新田	立体接続	木更津ジャンクション

（4） 工事予算

3，658 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　平成　14 年　4 月　9 日
②工事の完成年月日　平成　19 年　3 月　21 日　（供用開始）

平成　21 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，576 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　3，576 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道千葉富津線

（千葉県木更津市羽鳥野一丁目から千葉県木更津市羽鳥野二丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道千葉富津線

（2） 工事の箇所

千葉県木更津市羽鳥野一丁目　　から
千葉県木更津市羽鳥野二丁目　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

150 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	18 年	4 月	1 日	
②工事の完成年月日	平成	19 年	4 月	13 日	（供用開始）
	平成	19 年	9 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

155 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　155 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市番匠免二丁目から埼玉県三郷市鷹野三丁目まで）（一次改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県三郷市番匠免二丁目　　から
埼玉県三郷市鷹野三丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　4．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
埼玉県三郷市番匠免二丁目 から 埼玉県三郷市鷹野三丁目 まで	80	4．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
埼玉県三郷市番匠免二丁目　から 埼玉県三郷市鷹野三丁目　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
常磐自動車道 一般国道298号 県道高速足立三郷線	埼玉県三郷市 番匠免二丁目	立体接続	三郷ジャンクション
一般国道298号	埼玉県三郷市 鷹野三丁目	立体接続	三郷南インターチェンジ

（4） 工事予算

495 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日

②工事の完成年月日　　平成　22 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

732 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　732 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市番匠免二丁目から埼玉県三郷市鷹野三丁目まで）（二次改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市番匠免二丁目　　から
埼玉県三郷市鷹野三丁目　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

1，704 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　1 月　20 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，171 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，090 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（三郷JCT（一次改築））に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市番匠免二丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
常磐自動車道 一般国道298号 県道高速足立三郷線	埼玉県三郷市 番匠免二丁目	立体接続	三郷ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

596 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　12 日

②工事の完成年月日　　平成　23 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

684 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　684 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（三郷JCT（ 二次改築））に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市番匠免二丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
常磐自動車道 一般国道298号 県道高速足立三郷線	埼玉県三郷市 番匠免二丁目	立体接続	三郷ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

19，668 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　12 日

②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

22，810 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　21，951 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（三郷第二IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市谷口

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道298号	埼玉県三郷市谷口	立体接続	三郷第二インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，201 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　12 日

②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，739 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，628 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（谷津船橋IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県習志野市谷津

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道357号	千葉県習志野市谷津	立体接続	谷津船橋インターチェンジ（仮称）
県道千葉船橋海浜線	千葉県習志野市谷津	立体接続	谷津船橋インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，334 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　4 月　13 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，761 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，673 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（酒々井IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県印旛郡酒々井町尾上

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道富里酒々井線	千葉県印旛郡酒々井町 尾上	立体接続	酒々井インターチェンジ(仮称)

別　紙　1

（4） 工事予算

1，396 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，703 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，643 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（大栄JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県成田市吉岡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション(仮称)

別　紙　1

（4） 工事予算

4，347 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

5，100 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，942 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（大栄JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県成田市吉岡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション(仮称)

別　紙　1

（4） 工事予算

2，158 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，980 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，869 百万円）（消費税込み）

北関東自動車道（波志江PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の箇所

群馬県伊勢崎市

別　紙　1

（3） 工事予算

2，902 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　4 月　30 日

②工事の完成年月日　　平成　20 年　3 月　1 日　（供用開始）

平成　21 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，127 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，127 百万円）（消費税込み）

北関東自動車道（壬生PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の箇所

栃木県下都賀郡壬生町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，454 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 4 月　30 日
②工事の完成年月日　　平成　20 年　12 月　20 日　（供用開始）

平成　22 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，551 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，551 百万円）（消費税込み）

北関東自動車道（笠間PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の箇所

茨城県笠間市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，541 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	10 年	1 月	20 日	
②工事の完成年月日	平成	20 年	12 月	20 日	（供用開始）
	平成	22 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

984 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　984 百万円）（消費税込み）

北陸自動車道

（新潟県糸魚川市大字歌から新潟県糸魚川市大字外波まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　新潟県糸魚川市大字歌　　から
新潟県糸魚川市大字外波　　まで

（3） 工事予算

8，437 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14 年　 4 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，825 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，662 百万円）（消費税込み）

一般国道１６号（横浜横須賀道路）

（神奈川県横須賀市馬堀海岸四丁目から神奈川県横須賀市佐原一丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道16号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横須賀市馬堀海岸四丁目　　から
神奈川県横須賀市佐原一丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　4．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県横須賀市 馬堀海岸四丁目　から 神奈川県横須賀市 佐原一丁目　まで	80	4．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県横須賀市 馬堀海岸四丁目　から 神奈川県横須賀市 佐原一丁目　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	２．５０×２	５．００	－	－	－	
トンネル部分	１．２５×２	２．５０	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道16号	神奈川県横須賀市 馬堀海岸四丁目	平面接続	馬堀海岸インターチェンジ
県道浦賀港線	神奈川県横須賀市 浦賀町一丁目	立体接続	浦賀インターチェンジ
県道横須賀葉山線	神奈川県横須賀市 佐原一丁目	立体接続	佐原インターチェンジ

（4） 工事予算

71，821 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　7　年　4　月　13　日

②工事の完成予定年月日　　平成　21　年　3　月　20　日　（供用開始）

平成　24　年　3　月　31　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

24，468 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，468 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（横浜横須賀道路）

（神奈川県横浜市金沢区釜利谷町から神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市金沢区釜利谷町　　から
神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　8．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町　から 神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目　まで	80	8．7	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町　から 神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目　まで	6 車線	6 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	２．５０×２	５．００	－	－	－	
トンネル部分	０．７５×２	１．５０	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

３．００　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道16号（横浜横須賀道路）	神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町	立体接続	釜利谷ジャンクション
都市計画道路 上郷公田線	神奈川県横浜市 栄区公田町	立体接続	公田インターチェンジ（仮称）
一般国道468号（横浜湘南道路） 及び都市計画道路　横浜藤沢線	神奈川県横浜市 栄区田谷町	立体接続	栄インター・ジャンクション（仮称）
一般国道1号	神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目	立体接続	戸塚インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

249，201 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA0＋00）から神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA2＋40）まで
平成 13 年 3 月 10 日

ロ 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA2＋40）から神奈川県横浜市栄区飯島町（STA59＋30）まで
平成 13 年 8 月 14 日

ハ 神奈川県横浜市栄区飯島町（STA59＋30）から神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目（STA87＋00）まで
平成 27 年 4 月 1 日

・ なお、合併施行方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成 28 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

271，153 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　258，925 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都あきる野市牛沼から東京都あきる野市下代継まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都あきる野市牛沼　　から
東京都あきる野市下代継　　まで

（ロ） 延　　長　　0.4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
東京都あきる野市牛沼　から 東京都あきる野市下代継　まで	80	0．4	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
東京都あきる野市牛沼　から 東京都あきる野市下代継　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	１．７５	１．００	２．７５	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道411号	東京都あきる野市牛沼	立体接続	あきる野インターチェンジ

（4） 工事予算

828 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　17　年　9　月　1　日

②工事の完成年月日　　平成　19　年　6　月　23　日　（供用開始）

平成　20　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

924 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　924 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県鶴ヶ島市大字藤金から埼玉県比企郡川島町大字中山まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県鶴ヶ島市大字藤金　　から
埼玉県比企郡川島町大字中山　　まで

（ロ） 延　　長　　7．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県鶴ヶ島市大字藤金　から 埼玉県比企郡川島町大字中山　まで	80	7．7	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県鶴ヶ島市大字藤金　から 埼玉県比企郡川島町大字中山　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
関越自動車道　新潟線	埼玉県鶴ヶ島市大字藤金	立体接続	鶴ヶ島ジャンクション
都市計画道路坂戸東川越線	埼玉県坂戸市大字小沼	立体接続	坂戸インターチェンジ
一般国道254号	埼玉県比企郡川島町 大字中山	立体接続	川島インターチェンジ

（4） 工事予算

8，949 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ	埼玉県鶴ヶ島市大字藤金（STA-8-30）から埼玉県鶴ヶ島市大字藤金（STA0+00）まで	平成　7　年　10　月　20　日
ロ	埼玉県鶴ヶ島市大字藤金（STA0+00）から埼玉県川越市大字上広谷（STA8+79）まで	平成　19　年　6　月　1　日
ハ	埼玉県川越市大字上広谷（STA8+79）から埼玉県川越市大字下広谷（STA27+17)まで	平成　19　年　6　月　30　日
ニ	埼玉県川越市大字下広谷（STA27+17）から埼玉県川越市大字下広谷字天神前（STA29+14）まで	平成　19　年　11　月　1　日
ホ	埼玉県川越市大字下広谷字天神前（STA29+14）から埼玉県川越市大字下広谷（STA29+92）まで	平成　19　年　12　月　28　日
ヘ	埼玉県川越市大字下広谷（STA29+92）から埼玉県川越市大字下広谷（STA33+76）まで	平成　19　年　12　月　1　日
ト	埼玉県川越市大字下広谷（STA33+76）から埼玉県川越市大字下広谷（STA34+06）まで	平成　19　年　12　月　15　日
チ	埼玉県川越市大字下広谷（STA34+06）から埼玉県坂戸市大字横沼（STA42+34）まで	平成　19　年　9　月　29　日
リ	埼玉県坂戸市大字横沼（STA42+34）から埼玉県坂戸市大字青木（STA44+24）まで	平成　19　年　12　月　28　日
ヌ	埼玉県坂戸市大字青木（STA44+24）から埼玉県坂戸市大字横沼（STA49+34）まで	平成　19　年　6　月　30　日
ル	埼玉県坂戸市大字横沼（STA49+34）から埼玉県坂戸市大字小沼（STA54+40）まで	平成　19　年　9　月　1　日

別　紙　1

ヲ	埼玉県坂戸市大字小沼(STA54+40)から埼玉県坂戸市大字小沼(STA55+60)まで	平成 19 年 11 月 15 日
ワ	埼玉県坂戸市大字小沼(STA55+60)から埼玉県坂戸市大字小沼(STA56+25)まで	平成 19 年 9 月 1 日
カ	埼玉県坂戸市大字小沼(STA56+25)から埼玉県坂戸市大字小沼(STA58+56)まで	平成 19 年 12 月 1 日
ヨ	埼玉県坂戸市大字小沼(STA58+56)から埼玉県比企郡川島町大字上伊草(STA67+29)まで	平成 20 年 2 月 1 日
タ	埼玉県比企郡川島町大字上伊草(STA67+29)から埼玉県比企郡川島町大字上井草字堂地(STA69+73.6)まで	平成 19 年 12 月 15 日
レ	埼玉県比企郡川島町大字上伊草字堂地(STA69+73.6)から埼玉県比企郡川島町大字上井草字天神(STA71+89)まで	平成 19 年 3 月 31 日
ソ	埼玉県比企郡川島町大字上伊草字天神(STA71+89)から埼玉県比企郡川島町大字中山字蛭田(STA76+60)まで	平成 19 年 4 月 28 日
坂戸IC料金所部		
ツ	埼玉県坂戸市大字小沼(STA0+78(B))から埼玉県坂戸市大字小沼(STA0+16(E))まで	平成 19 年 9 月 1 日
ネ	埼玉県坂戸市大字小沼(STA0+16(E))から埼玉県坂戸市大字小沼(STA0+89(E))まで	平成 19 年 12 月 1 日
坂戸ICランプ部		
ナ	埼玉県坂戸市大字横沼(STA6+3(D))から埼玉県坂戸市大字小沼(STA0+78(B))まで	平成 19 年 9 月 1 日
ラ	埼玉県坂戸市大字小沼(STA0+16(E))から埼玉県坂戸市大字小沼(STA0+89(E))まで	平成 19 年 9 月 29 日

別　紙　1

ム　埼玉県坂戸市大字小沼（STA0+89（E））から埼玉県坂戸市大字小沼（STA1+72（E））まで　平成　19　年　9　月　1　日

ウ　埼玉県坂戸市大字小沼（STA1+72（E））から埼玉県坂戸市大字小沼（STA3+36（E））まで　平成　19　年　12　月　1　日

川島IC料金所部

ヰ　埼玉県比企郡川島町大字中山字蛭田（STA0+85（A））から埼玉県比企郡川島町大字中山字蛭田（STA2+00（G））まで　平成　19　年　3　月　31　日

川島ICランプ部

ノ　埼玉県比企郡川島町大字中山字金ヶ谷戸（STA4+86（G））から埼玉県比企郡川島町大字上井草字天神（STA4+16（A））まで　平成　19　年　6　月　1　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成年月日　平成　20　年　3　月　29　日　（供用開始）

平成　22　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，258 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，258 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県比企郡川島町大字中山から埼玉県桶川市大字川田谷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県比企郡川島町大字中山　　から
埼玉県桶川市大字川田谷　　まで

（ロ） 延　　長　　5．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　埼玉県比企郡川島町大字中山から埼玉県比企郡川島町大字平沼まで　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

埼玉県比企郡川島町大字平沼から埼玉県桶川市大字川田谷まで　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県比企郡川島町大字中山　から 埼玉県比企郡川島町大字平沼　まで	80	0．4	

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県比企郡川島町大字平沼　から 埼玉県桶川市大字川田谷　まで	100	5．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員

3．50 メートル

別　紙　1

（へ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県比企郡川島町大字中山 から 埼玉県桶川市大字川田谷 まで	4 車線	4 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

埼玉県比企郡川島町大字中山から埼玉県比企郡川島町大字平沼まで　（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	－	－	－	

別　紙　1

埼玉県比企郡川島町大字平沼から埼玉県桶川市大字川田谷まで　（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

（チ）　付加車線の標準幅員　　－　　メートル

（リ）　中央帯の標準幅員

埼玉県比企郡川島町大字中山から埼玉県比企郡川島町大字平沼まで　　3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

埼玉県比企郡川島町大字平沼から埼玉県桶川市大字川田谷まで　　4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道254号	埼玉県比企郡川島町 大字中山	立体接続	川島インターチェンジ
一般国道17号	埼玉県桶川市大字川田谷	立体接続	桶川北本インターチェンジ

（4） 工事予算

5，249 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　埼玉県比企郡川島町大字中山（STA76+60）から埼玉県比企郡川島町大字白井沼（STA92+95）まで
平成　21　年　4　月　1　日

ロ　埼玉県比企郡川島町大字白井沼（STA92+95）から埼玉県比企郡川島町大字三保谷宿（STA112+69）まで
平成　21　年　7　月　1　日

ハ　埼玉県比企郡川島町大字三保谷宿（STA112+69）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA122+40）まで
平成　21　年　11　月　1　日

ニ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA122+40）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA123+70)まで
平成　22　年　2　月　15　日

ホ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA123+70）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA124+12)まで
平成　21　年　6　月　1　日

ヘ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA124+12）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA125+81)まで
平成　21　年　6　月　1　日

ト　埼玉県桶川市大字川田谷（STA125+81）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA130+24)まで
平成　21　年　4　月　1　日

別　紙　1

チ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA130+24）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA131+20)まで
平成　21　年　11　月　1　日

リ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA131+20）から埼玉県桶川市大字川田谷（STA133+43)まで
平成　22　年　2　月　1　日

ヌ　埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA0+0）から埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA1+30)まで
平成　21　年　10　月　1　日

ル　埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA1+30）から埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA9+20)まで
平成　22　年　2　月　1　日

ヲ　埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA9+20）から埼玉県桶川市大字川田谷（A-STA10+13)まで
平成　21　年　11　月　1　日

ワ　埼玉県桶川市大字川田谷（D-STA3+20）から埼玉県桶川市大字川田谷（D-STA5+80)まで
平成　21　年　11　月　1　日

カ　埼玉県桶川市大字川田谷（D-STA5+80）から埼玉県桶川市大字川田谷（D-STA8+64)まで
平成　21　年　10　月　1　日

ヨ　埼玉県桶川市大字川田谷
平成　21　年　12　月　1　日

タ　埼玉県桶川市大字川田谷
平成　21　年　10　月　1　日

別　紙　1

・ なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、
会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　 3 月　28 日　（供用開始）

平成　24 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

5，808 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　5，808 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県桶川市大字川田谷から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県桶川市大字川田谷　　から
埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　　まで

（ロ） 延　　長　　10．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県桶川市大字川田谷　から 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　まで	100	10．8	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県桶川市大字川田谷　から 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道17号	埼玉県桶川市大字川田谷	立体接続	桶川北本インターチェンジ
県道川越栗橋線	埼玉県桶川市大字加納	立体接続	桶川インターチェンジ（仮称）
一般国道122号	埼玉県久喜市菖蒲町台	立体接続	白岡菖蒲インターチェンジ

（4） 工事予算

68，868 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

イ　埼玉県桶川市大字川田谷（STA133+43）から埼玉県桶川市大字加納（STA180+84）まで
平成　25　年　4　月　1　日

ロ　埼玉県桶川市大字加納（STA180+84）から埼玉県桶川市大字加納（STA183+50）まで
平成　24　年　4　月　1　日

ハ　埼玉県桶川市大字加納（STA183+50）から埼玉県桶川市大字加納（STA187+47）まで
平成　23　年　7　月　1　日

ニ　埼玉県桶川市大字加納（STA187+47）から埼玉県桶川市大字加納（STA187+88）まで
平成　24　年　4　月　1　日

ホ　埼玉県桶川市大字加納（STA187+88）から埼玉県桶川市大字五町台（STA196+70）まで
平成　23　年　7　月　1　日

ヘ　埼玉県桶川市大字五町台（STA196+70）から埼玉県桶川市大字五町台（STA197+84）まで
平成　24　年　4　月　1　日

ト　埼玉県桶川市大字五町台（STA197+84）から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA207+88）まで
平成　23　年　7　月　1　日

別　紙　1

チ　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA207+88）から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎（STA241+72）まで
平成　25　年　4　月　1　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

73，467 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　72，002 百万円）（消費税込み）

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県久喜市菖蒲町上大崎から埼玉県久喜市下早見まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　　から
埼玉県久喜市下早見　　まで

（ロ） 延　　長　　3．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　から 埼玉県久喜市下早見　まで	100	3．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　から 埼玉県久喜市下早見　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	２．５０×２	５．００	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
４．５０　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道122号	埼玉県久喜市菖蒲町台	立体接続	白岡菖蒲インターチェンジ
東北縦貫自動車道弘前線	埼玉県久喜市下早見	立体接続	久喜白岡ジャンクション

（4） 工事予算

16，311 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字下大崎
平成　22　年　6　月　1　日

ロ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字下大崎(STA0+35)から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA1+62)まで
平成　18　年　9　月　1　日

ハ　埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA1+62)から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA1+76)まで
平成　22　年　10　月　1　日

ニ　埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA1+76)から埼玉県久喜市菖蒲町台(STA4+77)まで
平成　22　年　4　月　1　日

ホ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字下大崎(STA0+35)から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA5+90)まで
平成　22　年　8　月　1　日

ヘ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字下大崎(STA0+48)から埼玉県久喜市菖蒲町台(STA2+33)まで
平成　22　年　8　月　1　日

ト　埼玉県久喜市菖蒲町上大崎(STA241+72)から埼玉県久喜市原字大谷(STA269+22)まで
平成　22　年　4　月　1　日

別　紙　1

チ　埼玉県久喜市原字大谷（STA12+80）から埼玉県久喜市下早見字内谷（STA8+4）まで
平成　18　年　9　月　1　日

リ　埼玉県久喜市下早見字内谷（STA8+4）から埼玉県久喜市下早見字内谷（STA7+70）まで
平成　19　年　4　月　1　日

ヌ　埼玉県久喜市下早見字内谷（STA7+70）から埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字北谷（STA4+16）まで
平成　18　年　9　月　1　日

ル　埼玉県久喜市下早見字内谷（STA10+16）から埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字南谷（STA5+94）まで
平成　18　年　9　月　1　日

ヲ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字南谷（STA5+94）から埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字南谷（STA5+44）まで
平成　19　年　4　月　1　日

ワ　埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字南谷（STA5+44）から埼玉県南埼玉郡白岡町大字野牛字南谷（STA2+60）まで
平成　18　年　9　月　1　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、
会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　23　年　5　月　29　日　（供用開始）

平成　24　年　3　月　31　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

17，384 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　17，384 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（茨城県つくば市新井から茨城県つくば市梶内まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県つくば市新井　から
茨城県つくば市梶内　まで

（ロ） 延　長　4．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県つくば市新井　から 茨城県つくば市梶内　まで	100	4．3	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
茨城県つくば市新井　から 茨城県つくば市梶内　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	１．７５×２	３．５０	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員

３．５０ メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）

—　メートル（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道 取手つくば線	茨城県つくば市 柳橋	立体接続	つくば中央インターチェンジ
常磐自動車道	茨城県つくば市 梶内	立体接続	つくばジャンクション

（4） 工事予算

2，043 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ-1 茨城県つくば市新井から茨城県つくば市柳橋（E-STA0＋0～E-STA1＋47）
平成 21 年 5 月 1 日

イ-2 茨城県つくば市新井（つくば中央料金所）
平成 21 年 5 月 1 日

ロ 茨城県つくば市新井（D-STA0+0）から茨城県つくば市手代木（STA374-0）まで
平成 21 年 12 月 1 日

別　紙　1

ハ　茨城県つくば市手代木（STA374-0）から茨城県つくば市手代木（STA376＋0）まで
　平成　22　年　3　月　1　日

ニ　茨城県つくば市手代木（STA376＋0）から茨城県つくば市手代木（STA383＋0）まで
　平成　21　年　12　月　1　日

ホ　茨城県つくば市手代木（STA383＋0）から茨城県つくば市西大沼（STA384＋60）まで
　平成　22　年　2　月　20　日

ヘ　茨城県つくば市西大沼（STA384＋60）から茨城県つくば市西館野（STA398＋85）まで
　平成　21　年　10　月　1　日

ト　茨城県つくば市西館野（STA398＋85）から茨城県つくば市西館野（STA401＋4）まで
　平成　22　年　2　月　20　日

チ　茨城県つくば市西館野（STA401＋4）から茨城県つくば市南中妻（STA406＋60）まで
　平成　22　年　3　月　20　日

リ　茨城県つくば市南中妻（STA406＋60）から茨城県つくば市梶内（STA0－07）まで
　平成　21　年　10　月　1　日

・　なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　22　年　4　月　24　日　（供用開始）

　　平成　24　年　3　月　31　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，349 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，349 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（茨城県つくば市市之台から茨城県牛久市桂町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県つくば市市之台　から
茨城県牛久市桂町　まで

（ロ） 延　長　12．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県つくば市 市之台　から 茨城県牛久市 桂町　まで	100	12．0	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
茨城県つくば市 市之台　から 茨城県牛久市 桂町　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	１．７５×２	３．５０	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員

—　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）

—　メートル（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道6号 牛久土浦バイパス	茨城県つくば市 稲岡	立体接続	つくば牛久インターチェンジ
県道 土浦竜ケ崎線	茨城県稲敷郡 阿見町大字小池	立体接続	牛久阿見インターチェンジ
県道 竜ケ崎阿見線バイパス	茨城県稲敷郡 阿見町大字吉原	立体接続	阿見東インターチェンジ

（4） 工事予算

2，869 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 茨城県つくば市市之台(STA15+22)から茨城県牛久市下根町（STA65+00）まで
平成　18　年　9　月　1　日

ロ 茨城県牛久市下根町（STA65+00）から茨城県牛久市桂町（STA135+50）まで
平成　18　年　10　月　1　日

別　紙　1

ハ　茨城県稲敷郡阿見町大字小池（牛久阿見料金所）
平成　18　年　4　月　19　日

ニ　茨城県稲敷郡阿見町大字吉原（阿見東料金所）
平成　18　年　4　月　19　日

・　なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　19　年　3　月　10　日　（供用開始）

平成　24　年　3　月　31　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，203 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，203 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（茨城県牛久市桂町から茨城県稲敷市沼田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県牛久市桂町　から
茨城県稲敷市沼田　まで

（ロ） 延　　長　6．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県牛久市桂町　から 茨城県稲敷市沼田　まで	100	6．0	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
茨城県牛久市桂町　から 茨城県稲敷市沼田　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	１．７５×２	３．５０	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	１．７５×２	３．５０	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員

—　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）

—　メートル（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道 竜ケ崎阿見線バイパス	茨城県稲敷郡 阿見町大字吉原	立体接続	阿見東インターチェンジ
県道 江戸崎新利根線バイパス	茨城県稲敷市 沼田	立体接続	稲敷インターチェンジ

（4） 工事予算

1，588 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 茨城県牛久市桂町（STA135+50）から茨城県稲敷市月出里（STA159+10）まで
平成 20 年 12 月 24 日

ロ 茨城県稲敷市月出里（STA159+10）から茨城県稲敷市沼田（STA195+38）まで
平成 21 年 1 月 26 日

ハ 茨城県稲敷市沼田（稲敷料金所）
平成 20 年 4 月 1 日

ニ　茨城県牛久市桂町から茨城県稲敷郡阿見町まで（阿見東IC　Aランプ部）
平成　20　年　10　月　27　日

・　なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　20　年　12　月　16　日　（阿見東ICランプ切替）

平成　21　年　3　月　21　日　（供用開始）

平成　24　年　3　月　31　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，839 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，839 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（東京湾横断・木更津東金道路）

（千葉県東金市丹尾から千葉県茂原市石神まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断・木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県東金市丹尾　　から
千葉県茂原市石神　　まで

（ロ） 延　　長　　21．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県東金市丹尾　から 千葉県茂原市石神　まで	100	21．6	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県東金市丹尾　から 千葉県茂原市石神　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
トンネル部分	１．００×２	２．００	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道126号	千葉県東金市丹尾	立体接続	東金インター・ジャンクション （仮称）
市道5164号線	千葉県東金市山台	立体接続	東金インター・ジャンクション （仮称）
県道五井本納線	千葉県茂原市上太田	立体接続	茂原北インターチェンジ（仮称）
一般国道409号 （茂原・一宮・大原道路）	千葉県長生郡長南町坂本	立体接続	茂原長南インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

23，390 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 千葉県東金市丹尾（STA0－01）から千葉県大網白里町養安寺（STA20＋82）まで
平成　23 年 10 月 1 日

ロ 千葉県大網白里町養安寺（STA20＋82）から千葉県大網白里町養安寺（STA21＋40）まで
平成　24 年 7 月 1 日

ハ 千葉県大網白里町養安寺（STA21＋40）から千葉県大網白里町大竹（STA56＋01）まで
平成　23 年 10 月 1 日

ニ 千葉県大網白里町大竹（STA56＋01）から千葉県大網白里町大竹（STA56＋56）まで
平成　24 年 7 月 1 日

ホ 千葉県大網白里町大竹（STA56＋56）から千葉県大網白里町南玉（STA57＋23）まで
平成　23 年 10 月 1 日

ヘ 千葉県大網白里町南玉（STA57＋23）から千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋40）まで
平成　21 年 8 月 1 日

ト 千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋40）から千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋70）まで
平成　24 年 5 月 1 日

別　紙　1

チ　千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋70）から千葉県大網白里町小中（STA80＋00）まで
平成　21　年　8　月　1　日

リ　千葉県大網白里町小中（STA80＋00）から千葉県大網白里町神房（STA86＋00）まで
平成　19　年　12　月　1　日

ヌ　千葉県大網白里町神房（STA86＋00）から千葉県茂原市柴名（STA106＋94）まで
平成　21　年　8　月　1　日

ル　千葉県茂原市柴名（STA106＋94）から千葉県茂原市柴名（STA109＋20）まで
平成　19　年　12　月　1　日

ヲ　千葉県茂原市柴名（STA109＋20）から千葉県茂原市真名（STA146＋60）まで
平成　23　年　10　月　1　日

ワ　千葉県茂原市真名（STA146＋60）から千葉県茂原市真名（STA146＋80）まで
平成　24　年　7　月　1　日

カ　千葉県茂原市真名（STA146＋80）から千葉県茂原市真名（STA147＋80）まで
平成　23　年　10　月　1　日

ヨ　千葉県茂原市真名（STA147＋80）から千葉県茂原市真名（STA150＋20）まで
平成　24　年　8　月　1　日

別　紙　1

タ　千葉県茂原市真名（STA150＋20）から千葉県茂原市国府関（STA156＋20）まで
　平成　23 年 10 月 1 日

レ　千葉県茂原市国府関（STA156＋20）から千葉県茂原市国府関（STA157＋60）まで
　平成　24 年 3 月 1 日

ソ　千葉県茂原市国府関（STA157＋60）から千葉県長柄町榎本（STA185＋00）まで
　平成　23 年 10 月 1 日

ツ　千葉県長柄町榎本（STA185＋00）から千葉県長柄町榎本（STA186＋00）まで
　平成　24 年 2 月 1 日

ネ　千葉県長柄町榎本（STA186＋00）から千葉県茂原市石神（STA216＋20）まで
　平成　23 年 10 月 1 日

茂原北IC　ランプ部
ナ　千葉県茂原市柴名（STA4＋20）から千葉県茂原市上太田（STA0＋60）まで
　平成　19 年 12 月 1 日

ラ　千葉県茂原市上太田（STA0＋60）から千葉県茂原市上太田（STA0＋20）まで
　平成　20 年 10 月 1 日

ム　千葉県茂原市上太田（STA0＋20）から千葉県茂原市上太田（STA2＋10）まで
　平成　19 年 12 月 1 日

別　紙　1

・ なお、合併施行方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

25，443 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　24，881 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（東京湾横断・木更津東金道路）

（千葉県茂原市石神から千葉県木更津市下郡まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断・木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県茂原市石神　　から
千葉県木更津市下郡　　まで

（ロ） 延　　長　　21．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県茂原市石神　から 千葉県木更津市下郡　まで	100	21．3	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県茂原市石神　から 千葉県木更津市下郡　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
トンネル部分	１．００×２	２．００	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道409号 （茂原・一宮・大原道路）	千葉県長生郡長南町坂本	立体接続	茂原長南インターチェンジ（仮称）
一般国道297号	千葉県市原市田尾	立体接続	市原南インターチェンジ（仮称）
一般国道410号バイパス	千葉県木更津市下郡	立体接続	木更津東インターチェンジ

（4） 工事予算

13，974 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 千葉県茂原市石神（STA216＋20）から千葉県長生郡長南町報恩寺（STA241＋92）まで
平成 23 年 8 月 1 日

ロ 千葉県長生郡長南町報恩寺（STA241＋92）から千葉県長生郡長南町竹林（STA261＋60）まで
平成 24 年 5 月 1 日

ハ 千葉県長生郡長南町竹林（STA261＋60）から千葉県市原市田尾（STA298＋29）まで
平成 24 年 1 月 1 日

ニ 千葉県市原市田尾（STA298＋29）から千葉県市原市田尾（STA301＋16）まで
平成 23 年 11 月 1 日

ホ 千葉県市原市田尾（STA301＋16）から千葉県市原市大和田（STA316＋67）まで
平成 24 年 1 月 1 日

ヘ 千葉県市原市大和田（STA316＋67）から千葉県市原市大和田（STA322＋00）まで
平成 24 年 5 月 1 日

ト 千葉県市原市大和田（STA322＋20）から千葉県市原市養老（STA335＋65）まで
平成 24 年 6 月 1 日

別　紙　1

チ　千葉県市原市養老（STA335＋65）から千葉県市原市山口（STA350＋17）まで
　平成　23　年　12　月　1　日

リ　千葉県市原市山口（STA350＋17）から千葉県市原市山口（STA360＋80）まで
　平成　24　年　1　月　1　日

ヌ　千葉県市原市山口（STA360＋80）から千葉県木更津市真里谷（STA367＋62）まで
　平成　24　年　2　月　1　日

ル　千葉県木更津市真里谷（STA367＋62）から千葉県木更津市茅野（STA415＋00）まで
　平成　23　年　10　月　1　日

ヲ　千葉県木更津市茅野（STA415＋00）から千葉県木更津市茅野（STA416＋80）まで
　平成　24　年　6　月　1　日

ワ　千葉県木更津市茅野（STA416＋80）から千葉県木更津市下郡（STA429＋17）まで
　平成　24　年　2　月　1　日

・　なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，949 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，703 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（東京湾横断・木更津東金道路）

（千葉県木更津市下郡から千葉県木更津市犬成犬成笹子両村新田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断・木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県木更津市下郡　　から
千葉県木更津市犬成犬成笹子両村新田　　まで

（ロ） 延　　長　　7．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県木更津市下郡 から 千葉県木更津市犬成犬成笹子両村新田 まで	100	7．1	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県木更津市下郡 から 千葉県木更津市犬成犬成笹子両村新田 まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道410号バイパス	千葉県木更津市下郡	立体接続	木更津東インターチェンジ
東関東自動車道千葉富津線	千葉県木更津市犬成犬成 笹子両村新田	平面接続 立体接続	木更津ジャンクション

（4） 工事予算

9，302 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日

イ　千葉県木更津市下郡今間前上川原から千葉県木更津市下郡今間前まで
平成　18　年　4　月　18　日

ロ　千葉県木更津市下郡（STA429＋17）から千葉県木更津市下郡（STA431＋92）まで
平成　18　年　4　月　18　日

ハ　千葉県木更津市下郡今間前（STA431＋92）から千葉県木更津市上根岸（STA448＋00）まで
平成　18　年　7　月　13　日

別　紙　1

ニ　千葉県木更津市上根岸（STA448＋00）から千葉県袖ヶ浦市上宮田（STA452＋00）まで
平成　18　年　9　月　1　日

ホ　千葉県袖ヶ浦市上宮田（STA452＋00）から千葉県袖ヶ浦市上宮田（STA453＋00）まで
平成　18　年　9　月　1　日

ヘ　千葉県袖ヶ浦市上宮田（STA453＋00）から千葉県袖ヶ浦市上宮田（STA453＋50）まで
平成　18　年　9　月　1　日

ト　千葉県袖ヶ浦市上宮田（STA453＋50）から千葉県木更津市下宮田（STA467＋00）まで
平成　18　年　7　月　11　日

チ　千葉県袖ヶ浦市下宮田（STA467＋00）から千葉県袖ヶ浦市下宮田（STA469＋00）まで
平成　18　年　9　月　1　日

リ　千葉県袖ヶ浦市下宮田（STA469＋00）から千葉県袖ヶ浦市下宮田（STA469＋80）まで
平成　18　年　9　月　1　日

ヌ　千葉県袖ヶ浦市下宮田（STA469＋80）から千葉県木更津市伊豆島（STA478＋60）まで
平成　18　年　7　月　13　日

ル　千葉県木更津市伊豆島（STA478＋60）から千葉県木更津市笹子（STA482＋00）まで
平成　18　年　4　月　18　日

ヲ　千葉県木更津市笹子（STA482＋00）から千葉県木更津市犬成（STA492＋40）まで
平成　16　年　7　月　12　日

別　紙　1

ワ　千葉県木更津市犬成（STA492＋00）から千葉県木更津市犬成犬成笹子両村新田（STA500＋03）まで
平成　16　年　1　月　26　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、
会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成年月日

平成　19　年　3　月　21　日　（供用開始）

平成　21　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，678 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，678 百万円）（消費税込み）

一般国道１４号（京葉道路）（市川IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道14号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県市川市稲荷木

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道市川浦安線	千葉県市川市稲荷木	立体接続	市川インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，461 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　28　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，963 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，927 百万円）（消費税込み）

一般国道１４号（京葉道路）（市川PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道14号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県市川市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

別　紙　1

（4） 工事予算

16，657 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　28　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

19，080 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　18，199 百万円）（消費税込み）

一般国道14号（京葉道路）（幕張PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道14号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県千葉市花見川区

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（4） 工事予算

6，515 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成 12 年 7 月 3 日	
②工事の完成年月日	平成 19 年 12 月 5 日	（下り線切替）
	平成 20 年 2 月 10 日	（上り線切替）
	平成 20 年 3 月 20 日	（上下線建築物）
	平成 20 年 12 月 6 日	（上下線駐車場部）
	平成 22 年 3 月 30 日	（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，027 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，027 百万円）（消費税込み）

一般国道１６号（横浜横須賀道路）

（神奈川県横浜市金沢区並木三丁目から神奈川県横浜市金沢区釜利谷町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道16号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市金沢区並木三丁目　　から
神奈川県横浜市金沢区釜利谷町　　まで

（ロ） 延　　長　　4．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目　から 神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町　まで	80	4．2	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目　から 神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町　まで	6 車線	6 車線	6車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道長浜第56号	神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目	立体接続	並木インターチェンジ
市道長浜第99号	神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目	立体接続	並木インターチェンジ
県道高速湾岸線 （首都高速道路湾岸線）	神奈川県横浜市 金沢区並木三丁目	平面接続	並木インターチェンジ
市道堀口第531号	神奈川県横浜市 金沢区能見台東	立体接続	堀口能見台インターチェンジ

（4） 工事予算

168 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　3 年 12 月 17 日

②工事の完成予定年月日　　平成 28 年　3 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

315 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　306 百万円）（消費税込み）

一般国道１６号（京葉道路）（蘇我IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道16号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県千葉市中央区生実町

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道16号	千葉県千葉市中央区生実町	立体接続	蘇我インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

4，424 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　7　年　3　月　31　日
②工事の完成年月日　　平成　19　年　5　月　30　日　（供用開始）

平成　21　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，472 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，472 百万円）（消費税込み）

一般国道４７号（仙台北部道路）（利府JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道47号

（有料道路名 ： 仙台北部道路）

（2） 工事の箇所

宮城県多賀城市市川

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道45号	宮城県宮城郡利府町加瀬	立体接続	利府ジャンクション

（4） 工事予算

1，700 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　25　年　4　月　1　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，273 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，186 百万円）（消費税込み）

一般国道１２６号（千葉東金道路）

（千葉県東金市丹尾から千葉県山武市松尾町谷津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道126号

（有料道路名 ： 千葉東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県東金市丹尾　　から
千葉県山武市松尾町谷津　　まで

（ロ） 延　　長　　15. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県東金市丹尾　から 千葉県山武市松尾町谷津　まで	100	15．7	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県東金市丹尾　から 千葉県山武市松尾町谷津　まで	4 車線	4 車線	4車線化事業

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （東京湾横断・木更津東金道路）	千葉県東金市丹尾	平面接続 立体接続	東金インター・ジャンクション（仮称）
東金市道5146号線	千葉県東金市山台	立体接続	
県道成東酒々井線	千葉県山武市矢部	立体接続	山武成東インターチェンジ
一般国道126号 （銚子連絡道路）	千葉県山武市松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ
県道成田松尾線	千葉県山武市松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ

（4） 工事予算

17，738 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

21，701 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，796 百万円）（消費税込み）

一般国道１２７号（富津館山道路）
（千葉県南房総市高崎から千葉県南房総市検儀谷まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道127号

（有料道路名 ： 富津館山道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県南房総市高崎　　から
千葉県南房総市検儀谷　　まで

（ロ） 延　　長　　2. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県 南房総市高崎　から 千葉県 南房総市検儀谷　まで	80	2．2	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県 南房総市高崎　から 千葉県 南房総市検儀谷　まで	2 車線	4 車線	付加車線事業

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	0．75×2 1．50×2	1．50 3．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

—　メートル　（土工部）

—　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

135 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日

イ　千葉県南房総市高崎(STA58+25）から千葉県南房総市高崎(STA63+27）まで
平成　14　年　9　月　2　日

ロ　千葉県南房総市高崎(STA63+27）から千葉県南房総市高崎(STA63+52）まで
平成　19　年　10　月　12　日

ハ　千葉県南房総市高崎(STA63+52）から千葉県南房総市市部(STA65+90）まで
平成　14　年　9　月　2　日

別　紙　1

二　千葉県南房総市市部(STA65+90)から千葉県南房総市合戸(STA68+83)まで
平成　19　年　10　月　12　日

ホ　千葉県南房総市合戸(STA68+83)から千葉県南房総市検儀谷(STA79+66)まで
平成　14　年　9　月　2　日

ヘ　千葉県南房総市検儀谷(STA79+66)から千葉県南房総市検儀谷(STA79+72)まで
平成　19　年　10　月　12　日

ト　千葉県南房総市検儀谷(STA79+72)から千葉県南房総市検儀谷(STA80+50)まで
平成　14　年　9　月　2　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成年月日　　平成　19　年　10　月　31　日　（外外運用）

平成　20　年　4　月　24　日　（供用開始）

平成　21　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

176 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　176 百万円）（消費税込み）

一般国道１２７号（富津館山道路）（富山PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道127号

（有料道路名 ： 富津館山道路）

（2） 工事の箇所

千葉県南房総市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（4） 工事予算

949 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14　年　9　月　2　日

②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，131 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，111 百万円）（消費税込み）

一般国道４６６号（第三京浜道路）（野川IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道466号

（有料道路名 ： 第三京浜道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県川崎市宮前区野川

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道尻手黒川線	神奈川県川崎市宮前区野川	立体接続	野川インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

17，266 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　63　年　1　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

13，403 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　12，927 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都西多摩郡日の出町平井から埼玉県鶴ヶ島市大字藤金まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

東京都西多摩郡日の出町平井　　から

埼玉県鶴ヶ島市大字藤金　　まで

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

別　紙　1

（4） 工事予算

1，572 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　61　年　12　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，751 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，672 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（狭山PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

埼玉県狭山市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

別　紙　1

（4） 工事予算

3，190 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　17　年　2　月　25　日
②工事の完成年月日　　平成　20　年　7　月　18　日　（供用開始）

平成　21　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，879 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，879 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（久喜白岡JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

埼玉県久喜市下早見

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	埼玉県久喜市下早見	平面接続	本線

別　紙　1

（4） 工事予算

13，463 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　埼玉県久喜市大字原字大谷（STA269+22）から埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA273+50）まで
平成　18 年　 9 月　 1 日

ロ　埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA273+50）から埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA274+34）まで
平成　19 年　 3 月　31 日

ハ　埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA274+34）から埼玉県久喜市大字下早見字内谷（STA275+20）まで
平成　18 年　 9 月　 1 日

・ なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、
会社が公共事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，522 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，077 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（江戸崎PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

茨城県稲敷市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（4） 工事予算

1，202 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

イ 茨城県稲敷市月出里(STA164+70)から茨城県稲敷市蒲ヶ山（STA174+24）まで
平成 24 年 4 月 1 日

ロ 茨城県稲敷市沼田（STA184+30）から茨城県稲敷市沼田（STA195+38）まで
平成 24 年 10 月 1 日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日
平成 25 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，385 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，325 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（福島松川スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

福島県福島市松川町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　土湯温泉線 及び 市道　池田・小池線	福島県福島市 松川町	立体接続	福島松川PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東北縦貫自動車道弘前線（長者原スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県大崎市古川宮沢

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　東宮沢3号線 及び 市道　西宮沢2号線	宮城県大崎市 古川宮沢	立体接続	長者原SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東北横断自動車道酒田線（寒河江SAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道　酒田線

（2） 工事の箇所

山形県寒河江市大字寒河江

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　山西線	山形県寒河江市 大字寒河江	立体接続	寒河江SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

関越自動車道新潟線（三芳スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　新潟線

（2） 工事の箇所

埼玉県入間郡三芳町大字上富

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道上富82号線 及び町道上富69号線	埼玉県入間郡 三芳町大字上富	立体接続	三芳PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

関越自動車道新潟線（駒寄スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　新潟線

（2） 工事の箇所

群馬県北群馬郡吉岡町大字大久保

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道七日市・長久保線 及び町道七日市・吉開戸線	群馬県北群馬郡 吉岡町大字大久保	立体接続	駒寄PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

関越自動車道新潟線（大和スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　新潟線

（2） 工事の箇所

新潟県南魚沼市大字茗荷沢

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道茗荷沢18号線 及び 市道大和インター 1号線	新潟県南魚沼市 大字茗荷沢	立体接続	大和PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

関越自動車道上越線（小布施スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　上越線

（2） 工事の箇所

長野県上高井郡小布施町大字大島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道小布施総合公園1号線（仮称）	長野県上高井郡小布施町大字大島	立体接続	小布施PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

関越自動車道上越線（新井スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　上越線

（2） 工事の箇所

新潟県妙高市大字猪野山

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道新井インター上り線及び市道新井インター下り線	新潟県妙高市大字猪野山	立体接続	新井PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

常磐自動車道（友部ＳＡスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

茨城県笠間市長兎路

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道（友）4075号線 及び市道（友）4159号線	茨城県笠間市長兎路	立体接続	友部SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

中央自動車道長野線（姨捨スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　長野線

（2） 工事の箇所

長野県千曲市大字八幡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道9487号線 及び市道9486号線	長野県千曲市大字八幡	立体接続	姨捨SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

北陸自動車道（黒埼スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

新潟県新潟市木場

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道黒埼2-96号線 及び 市道黒埼2-100号線	新潟県新潟市木場	立体接続	黒埼PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東北縦貫自動車道弘前線（上河内スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦断自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

栃木県河内郡上河内町大字今里

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道前田原宿線	栃木県河内郡 上河内町大字今里	立体接続	上河内SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東北縦貫自動車道弘前線（那須高原スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦断自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

栃木県那須郡那須町大字豊原丙

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道逊室田島線	栃木県那須郡那須町大字豊原丙	立体接続	那須高原SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東北縦貫自動車道弘前線（泉ＰＡスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県仙台市泉区野村

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道泉塩釜線及び 市道松林下筒岫線	宮城県仙台市泉区 野村	立体接続	泉PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東北横断自動車道いわき新潟線（新鶴スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道 いわき新潟線

（2） 工事の箇所

福島県大沼郡会津美里町和田目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道新田・上新田線	福島県大沼郡会津美里町和田目	立体接続	新鶴PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

日本海沿岸東北自動車道（豊栄スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

新潟県新潟市高森

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道豊栄2－359号線 及び市道豊栄2－360号線	新潟県新潟市高森	立体接続	豊栄SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

関越自動車道上越線（佐久平スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　上越線

（2） 工事の箇所

長野県佐久市上平尾

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道7－104号線	長野県佐久市上平尾	立体接続	佐久平PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

北陸自動車道（大潟スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

新潟県上越市大潟区蜘ヶ池

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道大潟1012号線 及び市道大潟1013号線	新潟県上越市大潟区 蜘ヶ池	立体接続	大潟PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

61，115 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

61，632 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

（イ）路線名	（ロ）工事の箇所	（ハ）工事方法			（ニ）工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ）工事予算（消費税込み）	（ヘ）債務引受限度額（消費税込み）		備考
		他の道路との接続位置及び接続の方法								
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手予定年月日	工事の完成予定年月日			うち助成対象基準額（消費税込み）	
東北縦貫自動車道弘前線	栃木県佐野市関川町及び黒袴町	県道佐野環状線	栃木県佐野市関川町及び黒袴町	立体接続	平成21年9月11日	平成24年3月31日	1,296百万円	1,473百万円	―	佐野SA
東北縦貫自動車道弘前線	栃木県宇都宮市今里町	県道上河内スマートインター線	栃木県宇都宮市今里町	立体接続	平成21年9月11日	平成22年12月18日（供用開始） 平成24年3月31日（残事業完成）	341百万円	366百万円	―	上河内SA

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 予定年月日	工事の完成 予定年月日				
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県 那須郡 那須町 豊原丙	県道 那須高原 スマート インター線	栃木県 那須郡 那須町 豊原丙	立体接続	平成21年9月11日	平成22年12月18日 （供用開始） 平成24年3月31日 （残事業完成）	452百万円	483百万円	—	那須 高原 SA
東北横断自動車道 釜石秋田線	秋田県 大仙市 強首及び 九升田	市道 赤坂強首線	秋田県 大仙市 強首及び 九升田	立体接続	平成21年9月11日	平成23年3月26日 （供用開始） 平成24年3月31日 （残事業完成）	130百万円	140百万円	—	西仙北 SA
東北横断自動車道 いわき新潟線	新潟県 新潟市 秋葉区福島	市道新津 1－90号線 及び 市道新津 1－91号線	新潟県 新潟市 秋葉区福島	立体接続	平成21年9月11日	平成24年3月31日	1,791百万円	1,921百万円	—	本線 直結 型
関越自動車道 新潟線	埼玉県 坂戸市塚崎 及び粟生田	市道3979 号路線及び 市道6919 号路線	埼玉県 坂戸市塚崎 及び粟生田	立体接続	平成21年9月11日	平成24年3月31日	2,081百万円	2,208百万円	—	本線 直結 型
関越自動車道 新潟線	群馬県高崎 市上滝町及 び佐波郡玉 村町上新田	市道 G680号線 及び 市道 G681号線	群馬県高崎 市上滝町及 び佐波郡玉 村町上新田	立体接続	平成21年9月11日	平成24年3月31日	4,072百万円	4,332百万円	—	本線 直結 型
常磐自動車道	茨城県 石岡市 正上内	市道 A2485号線	茨城県 石岡市 正上内	立体接続	平成21年9月11日	平成23年3月24日 （供用開始） 平成24年3月31日 （残事業完成）	3,922百万円	4,177百万円	—	本線 直結 型
北陸自動車道	新潟県 三条市 福島新田	市道岡野 新田1号線 及び 市道岡野 新田2号線	新潟県 三条市 福島新田	立体接続	平成21年9月11日	平成24年9月30日	1,132百万円	1,218百万円	—	栄PA

北海道縦貫自動車道函館名寄線（輪厚スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道　函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道北広島市輪厚

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道高速東2号線　及び 市道高速西1号線	北海道北広島市輪厚	立体接続	輪厚PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 6 月　19 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 6 月　27 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東北縦貫自動車道弘前線（蓮田スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

埼玉県蓮田市大字黒浜

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道蓮田白岡久喜線　及び 市道1260号線	埼玉県蓮田市大字黒浜	立体接続	蓮田SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　24 年　3 月　20 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東北縦貫自動車道弘前線（白河中央スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

福島県白河市豊地

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道白河中央インターチェンジ南線　及び 市道白河中央インターチェンジ北線	福島県白河市豊地	立体接続	

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　7 月　31 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　8 月　7 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東北縦貫自動車道弘前線（鏡石スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

福島県岩瀬郡鏡石町大字鏡田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道仁井田・笠石線　及び 町道鏡田121号線	福島県岩瀬郡鏡石町 大字鏡田	立体接続	鏡石PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東北縦貫自動車道弘前線（三本木スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県大崎市三本木蟻ヶ袋地内

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道蟻ヶ袋自動車道東線　及び 市道蟻ヶ袋自動車道西線	宮城県大崎市三本木 蟻ヶ袋地内	立体接続	三本木PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　9 月　20 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　9 月　17 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

関越自動車道新潟線（長岡南越路スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　新潟線

（2） 工事の箇所

新潟県長岡市浦地先

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道越路121号線 及び市道越路429号線	新潟県長岡市浦地先	立体接続	

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　9 月　20 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　9 月　19 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

常磐自動車道（三郷料金所スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市小谷堀

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道1321号線　及び 市道1313号線	埼玉県三郷市小谷堀	立体接続	

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

常磐自動車道（水戸北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

茨城県水戸市飯富町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道123号	茨城県水戸市飯富町	立体接続	

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

常磐自動車道（東海スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

茨城県那珂郡東海村石神外宿

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
村道1415号線　及び 村道1411号線	茨城県那珂郡東海村 石神外宿	立体接続	東海PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　28 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東関東自動車道千葉富津線（君津PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道千葉富津線

（2） 工事の箇所

千葉県君津市大山野

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道大山野・曲作線　及び 市道大山野・五埴線	千葉県君津市大山野	立体接続	君津PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　28 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

北関東自動車道（波志江スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の箇所

群馬県伊勢崎市波志江町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道1－504号線	群馬県伊勢崎市 波志江町	立体接続	波志江PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

成田国際空港線（成田スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

成田国際空港線

（2） 工事の箇所

千葉県成田市小菅

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道295号	千葉県成田市小菅	立体接続	

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　28 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

一般国道47号（仙台北部道路）

（宮城県宮城郡利府町沢乙から宮城県黒川郡富谷町穀田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道47号

（有料道路名 ： 仙台北部道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮城県宮城郡利府町沢乙　　から
宮城県黒川郡富谷町穀田　　まで

（ロ） 延　　長　　6．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
宮城県宮城郡利府町沢乙 から 宮城県黒川郡富谷町穀田 まで	100	6．6	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
宮城県宮城郡利府町沢乙 から 宮城県黒川郡富谷町穀田 まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50 1．75	4．25	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．50×2	3．00	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道塩竈吉岡線	宮城県宮城郡利府町沢乙	立体接続	利府しらかし台インターチェンジ
東北縦貫自動車道弘前線	宮城県黒川郡富谷町穀田	立体接続	富谷ジャンクション

（4） 工事予算

2，100 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　宮城県宮城郡利府町沢乙（No177+0.00）～宮城県宮城郡利府町沢乙（D－No2+10.00）まで
平成　21　年　11　月　25　日

ロ　宮城県宮城郡利府町沢乙（No228+11.62）～宮城県黒川郡富谷町穀田（No.502+00）まで
平成　21　年　12　月　18　日

ハ　宮城県黒川郡富谷町穀田（No502+00）～宮城県黒川郡富谷町穀田（No.558+4.061）まで
平成　21　年　9　月　11　日

・なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　平成　21　年　12　月　16　日　（利府しらかし台ICランプ切替）

平成　22　年　3　月　27　日　（供用開始）

平成　23　年　9　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，259 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　2，259 百万円）（消費税込み）

一般国道47号（仙台北部道路）

（宮城県黒川郡富谷町穀田から宮城県黒川郡富谷町富谷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道47号

（有料道路名 ： 仙台北部道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮城県黒川郡富谷町穀田　　から
宮城県黒川郡富谷町富谷　　まで

（ロ） 延　　長　　1．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
宮城県黒川郡富谷町穀田　から 宮城県黒川郡富谷町富谷　まで	80	1．7	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
宮城県黒川郡富谷町穀田　から 宮城県黒川郡富谷町富谷　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	２．５０×２	５．００	―	―	―	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分（中小橋）	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	―	―	―	

（チ） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

―　メートル　（土工部）
―　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東北縦貫自動車道弘前線	宮城県黒川郡富谷町穀田	立体接続	富谷ジャンクション
一般国道4号	宮城県黒川郡富谷町富谷	平面接続	富谷インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2，044 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　23 年　 4 月　 1 日

・なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　 3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，375 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，273 百万円）（消費税込み）

一般国道４７号（仙台北部道路）（利府JCT改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道47号

（有料道路名 ： 仙台北部道路）

（2） 工事の箇所

宮城県宮城郡利府町加瀬

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道45号	宮城県宮城郡利府町加瀬	立体接続	利府ジャンクション

（4） 工事予算

908 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　22 年　4 月　1 日

・なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　9 月　2 日　（利府JCTランプ切替）

平成　22 年　10 月　22 日　（供用開始）

平成　24 年　3 月　31 日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，068 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，068 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（新千歳空港IC）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道千歳市泉沢

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道　新千歳空港インター線	北海道千歳市 泉沢	立体接続	新千歳空港インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

747 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 9 月　11 日

②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

865 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　828 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（大衡IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県黒川郡大衡村奥田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道大衡落合線	宮城県黒川郡大衡村 松の平	立体接続	大衡インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

850 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 9 月　11 日

②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　12 月　18 日　（供用開始）

平成　24 年　 3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

984 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　984 百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道酒田線（酒田中央JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道酒田線

（2） 工事の箇所

山形県酒田市遊摺部

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道47号	山形県酒田市遊摺部	立体接続	酒田中央ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　25 年　 4 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

関越自動車道上越線

（長野県上水内郡信濃町大字野尻から新潟県上越市大字中屋敷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

本別紙に係る工事については、当該区間の整備に必要な予算の見直しが決定されたことに伴い、工事を一旦停止している

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道上越線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　長野県上水内郡信濃町大字野尻　から
新潟県上越市大字中屋敷　まで

（ロ） 延　長　37. 5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

設 計 区 間	道路の区分	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 から 新潟県上越市中郷区二本木 まで	第1種第3級	道路構造令
新潟県上越市中郷区二本木 から 新潟県上越市大字中屋敷 まで	第1種第2級	道路構造令

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 から 新潟県上越市中郷区二本木 まで	80	17．6	
新潟県上越市中郷区二本木 から 新潟県上越市大字中屋敷 まで	100	19．9	

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 から 新潟県上越市大字中屋敷 まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設計区間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左　側	計	左　側	右　側	計	
長野県上水内郡信濃町大字野尻 から 新潟県上越市中郷区二本木 まで	土工（掘割）部分	1．75	1．75	－	－	－	
	トンネル部分	－	－	－	－	－	
	橋梁高架部分（中小橋）	1．75	1．75	－	－	－	
	橋梁高架部分（長大橋）	1．25	1．25	－	－	－	
新潟県上越市中郷区二本木 から 新潟県上越市大字中屋敷 まで	土工（掘割）部分	2．50	2．50	2．50	1．25	3．75	
	トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
	橋梁高架部分（中小橋）	2．50	2．50	2．50	1．25	3．75	
	橋梁高架部分（長大橋）	1．75	1．75	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間	幅　員	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 から 新潟県上越市中郷区二本木 まで	3．00メートル（土工部） 3．00メートル（橋梁部）	
新潟県上越市中郷区二本木 から 新潟県上越市大字中屋敷 まで	4．50メートル（土工部） 4．50メートル（橋梁部）	

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

51，000　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　21　年　9　月　5　日
②工事の完成予定年月日　　―

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

－

本別紙に係る工事については、一旦停止しているため、
改めて工事を再開することとなった際に債務引受限度額を
記載する予定である。

東関東自動車道千葉富津線

（千葉県木更津市中烏田から千葉県富津市竹岡まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

本別紙に係る工事については、当該区間の整備に必要な予算の見直しが決定されたことに伴い、工事を一旦停止している

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道千葉富津線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県木更津市中烏田　　から
千葉県富津市竹岡　　まで

（ロ） 延　　長　　20．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
千葉県木更津市中烏田 から 千葉県富津市竹岡 まで	100	20．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
千葉県木更津市中烏田　から 千葉県富津市竹岡　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

28，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　21　年　9　月　5　日
②工事の完成予定年月日　　—

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

–

本別紙に係る工事については、一旦停止しているため、
改めて工事を再開することとなった際に債務引受限度額を
記載する予定である。

東関東自動車道水戸線（潮来ICの（改築））に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

茨城県潮来市福島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般県道水戸神栖線	茨城県潮来市福島	立体接続	潮来インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3，829 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　23 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，517 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，322 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（鉾田IC（改築））に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

茨城県鉾田市秋山

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道小川鉾田線	茨城県鉾田市飯名	立体接続	鉾田インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，434 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　23 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，913 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，839 百万円）（消費税込み）

一般国道6号（仙台東部道路）（仙台港IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道6号

（有料道路名 ： 仙台東部道路）

（2） 工事の箇所

宮城県仙台市宮城野区福室

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道塩釜亘理線	宮城県仙台市宮城野区蒲生	立体接続	仙台港インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

1，117 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　23 年　10 月　 1 日

・なお、工事の着手予定年月日とは、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　 3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，184 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，128 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－１

東海北陸自動車道

（岐阜県高山市清見町夏厩から岐阜県大野郡白川村大字鳩谷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県高山市清見町夏厩　　から
岐阜県大野郡白川村大字鳩谷　　まで

（ロ） 延　　長　　25．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
岐阜県高山市清見町夏厩 から 岐阜県大野郡白川村大字鳩谷 まで	80	25．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県高山市清見町夏厩 から 岐阜県大野郡白川村大字鳩谷 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

※ 土工部については、左側路肩を二次除雪作業に必要な作業幅員3．0mを確保する。

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　―　メートル　（土工部）
　　―　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道156号	岐阜県大野郡白川村大字鳩谷	立体接続	白川郷インターチェンジ
一般国道158号（中部縦貫自動車道）	岐阜県高山市清見町夏厩	立体接続	飛騨清見インターチェンジ

（4） 工事予算

185，807　百万円（消費税込み）
※超過相当額を含む

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日

②工事の完成年月日　　平成　20　年　7　月　5　日　（供用開始）
　　平成　21　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

77，296 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　77，296 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県厚木市下津古久まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市門沢橋　　から
神奈川県厚木市下津古久　　まで

（ロ） 延　　長　　1．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市門沢橋 から 神奈川県厚木市下津古久 まで	120	1．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県厚木市 下津古久　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション（仮称）
第一東海自動車道	神奈川県海老名市門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション（仮称）
一般国道129号	神奈川県厚木市下津古久	立体接続	厚木南インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

119，500 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

111，741 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　107，605 百万円）（消費税込み）

第二東海自動車道横浜名古屋線
（神奈川県厚木市下津古久から神奈川県伊勢原市上粕屋まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県厚木市下津古久　　から
神奈川県伊勢原市上粕屋　　まで

（ロ） 延　　長　　6．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県厚木市 下津古久　から 神奈川県伊勢原市 上粕屋　まで	120	6．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県厚木市 下津古久　から 神奈川県伊勢原市 上粕屋　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．5 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道129号	神奈川県厚木市 下津古久	立体接続	厚木南インターチェンジ（仮称）
第一東海自動車道	神奈川県伊勢原市 東富岡	立体接続	伊勢原ジャンクション（仮称）
一般国道246号 （厚木秦野道路）	神奈川県伊勢原市 上粕屋	立体接続	伊勢原北インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

269，859 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

310，077 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　299，143 百万円）（消費税込み）

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県伊勢原市上粕屋から神奈川県秦野市柳川まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県伊勢原市上粕屋　　から
神奈川県秦野市柳川　　まで

（ロ） 延　　長　　12．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県伊勢原市上粕屋　から 神奈川県秦野市柳川　まで	120	12．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県伊勢原市上粕屋 から 神奈川県秦野市柳川 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道246号（厚木秦野道路）	神奈川県伊勢原市上粕屋	立体接続	伊勢原北インターチェンジ（仮称）
一般国道246号	神奈川県秦野市菖蒲	立体接続	秦野インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

331，835 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　1　月　12　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

416，962 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　396，919 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県秦野市柳川から静岡県御殿場市駒門まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県秦野市柳川　　から
静岡県御殿場市駒門　　まで

（ロ） 延　　長　　32. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県秦野市柳川　から 静岡県御殿場市駒門　まで	120	32. 3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県秦野市柳川 から 静岡県御殿場市駒門 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	――――	――――	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―――　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道138号及び県道仁杉柴怒田線	静岡県御殿場市柴怒田	立体接続	御殿場インターチェンジ（仮称）
第一東海自動車道	静岡県御殿場市駒門	立体接続	御殿場ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

504，921 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

638，188 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　609，435 百万円）（消費税込み）

第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県御殿場市駒門から静岡県駿東郡長泉町大字元長窪まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県御殿場市駒門　　から
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　まで

（ロ） 延　　長　　13．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県御殿場市駒門　から 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　まで	120	13．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3.50 メートル 及び 3.75 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県御殿場市駒門 から 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	3．00	1．25	4．25	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
第一東海自動車道	静岡県御殿場市駒門	立体接続	御殿場ジャンクション（仮称）
一般国道1号（伊豆縦貫自動車道）及び県道大岡元長窪線	静岡県駿東郡長泉町大字元長窪	立体接続	長泉沼津インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

229，874 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　1　月　20　日
②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

151，620 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　151，498 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－７

第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から静岡県浜松市北区引佐町東黒田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　から
静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　まで

（ロ） 延　　長　　131．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　から 静岡県浜松市北区引佐町東黒田　まで	120	131．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル および　3．75 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪　から 静岡県浜松市 北区引佐町東黒田　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	3．00	1．75	4．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	3．00	1．25	4．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道1号（伊豆縦貫自動車道）及び県道大岡元長窪線	静岡県駿東郡長泉町大字元長窪	立体接続	長泉沼津インターチェンジ（仮称）
一般国道139号（西富士道路）及び県道一色久沢線	静岡県富士市厚原	立体接続	富士インターチェンジ（仮称）
一般国道52号	静岡県静岡市清水区宍原	立体接続	清水インターチェンジ（仮称）
中部横断自動車道	静岡県静岡市清水区吉原	立体接続	吉原ジャンクション（仮称）
県道清水富士宮線	静岡県静岡市清水区杉山	立体接続	伊佐布インターチェンジ（仮称）
第一東海自動車道	静岡県静岡市清水区草ヶ谷	立体接続	尾羽ジャンクション（仮称）
県道井川湖御幸線及び県道山脇大谷線	静岡県静岡市葵区下	立体接続	静岡インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

一般国道1号 及び県道静岡朝比奈藤枝線	静岡県藤枝市 岡部町入野	立体接続	藤枝岡部インターチェンジ（仮称）
一般国道473号	静岡県島田市 横岡新田	立体接続	金谷インターチェンジ（仮称）
県道掛川天竜線	静岡県周智郡 森町睦実	立体接続	森掛川インターチェンジ（仮称）
一般国道152号	静岡県浜松市 浜北区中瀬	立体接続	浜北インターチェンジ（仮称）
一般国道474号 （三遠南信自動車道）	静岡県浜松市 北区引佐町東黒田	立体接続	引佐ジャンクション（仮称）
一般国道257号	静岡県浜松市 北区引佐町東黒田	立体接続	引佐インターチェンジ（仮称）
第一東海自動車道	静岡県浜松市 北区三ケ日町福長	立体接続	三ケ日ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

2，341，078 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日
②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，033，235 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，029，522 百万円）（消費税込み）

第二東海自動車道横浜名古屋線
（静岡県浜松市北区引佐町東黒田から愛知県豊田市岩倉町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　から
愛知県豊田市岩倉町　　まで

（ロ） 延　　長　　55. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県浜松市北区引佐町東黒田　から 愛知県豊田市岩倉町　まで	120	55. 2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県浜松市北区引佐町東黒田 から 愛知県豊田市岩倉町 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50メートル(土工部)
4．50メートル(橋梁部)

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道474号（三遠南信自動車道）	静岡県浜松市北区引佐町東黒田	立体接続	引佐ジャンクション（仮称）
一般国道151号	愛知県新城市八束穂	立体接続	新城インターチェンジ（仮称）
一般国道473号	愛知県岡崎市樫山町	立体接続	額田インターチェンジ（仮称）
一般国道475号（東海環状自動車道）	愛知県豊田市岩倉町	立体接続	豊田東ジャンクション

（4） 工事予算

581，733 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日
②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

623，714 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　622，183 百万円）（消費税込み）

中部横断自動車道

（静岡県静岡市清水区吉原から山梨県南巨摩郡南部町福士まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県静岡市清水区吉原　　から
山梨県南巨摩郡南部町福士　　まで

（ロ） 延　　長　　20. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県静岡市 清水区吉原　から 山梨県南巨摩郡 南部町福士　まで	80	20. 7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
静岡県静岡市 清水区吉原　から 山梨県南巨摩郡 南部町福士　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
第二東海自動車道横浜名古屋線	静岡県静岡市清水区吉原	立体接続	吉原ジャンクション（仮称）
一般国道52号	山梨県南巨摩郡南部町福士	立体接続	富沢インターチェンジ（仮称）
中部横断自動車道	山梨県南巨摩郡南部町福士	平面接続	本線（新直轄）

（4） 工事予算

154，148 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

187，924 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　180，835 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－１０

中部横断自動車道

（山梨県西八代郡市川三郷町宮原から山梨県南巨摩郡富士川町大椚まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山梨県西八代郡市川三郷町宮原　　から
山梨県南巨摩郡富士川町大椚　　まで

（ロ） 延　　長　　9．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
山梨県西八代郡市川三郷町宮原 から 山梨県南巨摩郡富士川町大椚 まで	80	9．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
山梨県西八代郡 市川三郷町宮原　から 山梨県南巨摩郡 富士川町大椚　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル
　　－　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中部横断自動車道	山梨県西八代郡 市川三郷町宮原	平面接続	本線（新直轄）
県道市川三郷身延線	山梨県西八代郡 市川三郷町宮原	立体接続	六郷インターチェンジ（仮称）
一般国道52号	山梨県南巨摩郡 富士川町青柳町	立体接続	増穂インターチェンジ

（4） 工事予算

65，779 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

78，480 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　75，715 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－１１

中部横断自動車道

（山梨県南巨摩郡富士川町大椚から山梨県南アルプス市吉田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山梨県南巨摩郡富士川町大椚　　から
山梨県南アルプス市吉田　　まで

（ロ） 延　　長　　6．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
山梨県南巨摩郡富士川町大椚 から 山梨県南アルプス市吉田 まで	80	6．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
山梨県南巨摩郡 富士川町大椚　から 山梨県南アルプス市 吉田　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道52号	山梨県南巨摩郡富士川町大椚	立体接続	増穂インターチェンジ
県道韮崎南アルプス中央線	山梨県南アルプス市吉田	立体接続	南アルプスインターチェンジ

（4） 工事予算

28，524 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成年月日　　平成　18 年　12 月　16 日（供用開始）
　　平成　21 年　11 月　30 日（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

10，853 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，853 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋亀山線

（愛知県名古屋市緑区大高町から愛知県名古屋市名東区貴船まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋亀山線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　愛知県名古屋市緑区大高町　　から
愛知県名古屋市名東区貴船　　まで

（ロ） 延　　長　　12. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
愛知県名古屋市緑区大高町　から 愛知県名古屋市名東区貴船　まで	60	12. 7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
愛知県名古屋市緑区大高町 から 愛知県名古屋市名東区貴船 まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

2．25　メートル　（土工部）
2．25　メートル　（橋梁部）
2．50　メートル　（掘割部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
市道高速2号（名古屋高速道路）	愛知県名古屋市緑区大高町字茨谷山	立体接続	名古屋南ジャンクション
一般国道302号	愛知県名古屋市緑区大高町字北平部	立体接続	有松インターチェンジ
一般国道302号	愛知県名古屋市緑区黒沢台	立体接続	鳴海インターチェンジ
一般国道302号及び一般国道153号	愛知県名古屋市天白区梅ヶ丘	立体接続	植田インターチェンジ
市道高速1号四谷高針線（名古屋高速道路）	愛知県名古屋市名東区猪高町大字高針	立体接続	高針ジャンクション
一般国道302号	愛知県名古屋市名東区貴船	立体接続	上社南インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

199，561 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　1　月　12　日
②工事の完成予定年月日　　平成　23　年　3　月　20　日　（供用開始）
　　平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

140，253 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　140，253 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県四日市市伊坂町から三重県四日市市北山町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市伊坂町　　から
三重県四日市市北山町　　まで

（ロ） 延　　長　　4．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
三重県四日市市伊坂町 から 三重県四日市市北山町 まで	100	4．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
三重県四日市市伊坂町　から 三重県四日市市北山町　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
近畿自動車道　名古屋亀山線	三重県四日市市伊坂町	立体接続	四日市ジャンクション
一般国道475号（東海環状自動車道）	三重県四日市市北山町	立体接続	四日市北ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

50，327 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成 11 年 1 月 8 日
②工事の完成予定年月日　平成 28 年 3 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

59，098 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　58，864 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県四日市市北山町から三重県三重郡菰野町大字潤田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市北山町　　から
三重県三重郡菰野町大字潤田　　まで

（ロ） 延　　長　　8．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
三重県四日市市北山町 から 三重県三重郡菰野町大字潤田 まで	120	8．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県四日市市北山町 から 三重県三重郡菰野町大字潤田 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道477号	三重県三重郡菰野町大字潤田	立体接続	菰野インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

94，362　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

115，553 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　110，343 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線
（三重県三重郡菰野町大字潤田から三重県亀山市安坂山町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県三重郡菰野町大字潤田　　から
三重県亀山市安坂山町　　まで

（ロ） 延　　長　　15．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
三重県三重郡菰野町大字潤田 から 三重県亀山市安坂山町 まで	120	15．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県三重郡菰野町大字潤田 から 三重県亀山市安坂山町 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

179，217 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成 18 年 4 月 19 日
②工事の完成予定年月日　平成 31 年 3 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

216，435 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　205，958 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県亀山市安坂山町から滋賀県甲賀市甲賀町岩室まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県亀山市安坂山町　　から
滋賀県甲賀市甲賀町岩室　　まで

（ロ） 延　　長　　13．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県亀山市安坂山町　から 滋賀県甲賀市甲賀町岩室　まで	120	13．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル　及び　3．75メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
三重県亀山市安坂山町　　から 滋賀県甲賀市甲賀町岩室　　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	—	—	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	3．125	1．25	4．375	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル（土工部）
ー　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
近畿自動車道　名古屋亀山線（東名阪自動車道）	三重県亀山市辺法寺町	立体接続	亀山ジャンクション

（4） 工事予算

175，942 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日

②工事の完成年月日　　平成　20　年　2　月　23　日　（供用開始）
平成　22　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

41，816 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　41，816 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道尾鷲多気線

（三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島から三重県度会郡大紀町崎まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　尾鷲多気線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島　から
三重県度会郡大紀町崎　まで

（ロ） 延　　長　　10．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県北牟婁郡紀北町 紀伊長島区東長島　から 三重県度会郡大紀町崎　まで	80	10．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県北牟婁郡紀北町 紀伊長島区東長島　から 三重県度会郡大紀町崎　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
近畿自動車道尾鷲多気線	三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島	平面接続	本線（新直轄）
一般国道422号	三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島	立体接続	紀伊長島インターチェンジ（仮称）
県道紀勢インター線	三重県度会郡大紀町崎	立体接続	紀勢大内山インターチェンジ

（4） 工事予算

48，561 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

52，692 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　52，343 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道尾鷲多気線

（三重県度会郡大紀町崎から三重県多気郡大台町大字菅合まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　尾鷲多気線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県度会郡大紀町崎　　から
三重県多気郡大台町大字菅合　　まで

（ロ） 延　　長　　10．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
三重県度会郡大紀町崎 から 三重県多気郡大台町大字菅合 まで	80	10．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県度会郡大紀町崎 から 三重県多気郡大台町大字菅合 まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道紀勢インター線	三重県度会郡大紀町崎	立体接続	紀勢大内山インターチェンジ
一般国道42号	三重県多気郡大台町大字菅合	立体接続	大宮大台インターチェンジ

（4） 工事予算

38，799 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日

②工事の完成予定年月日　　平成　21　年　2　月　7　日　（供用開始）
平成　23　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

27，677 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　27，677 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線

（福井県小浜市府中から福井県敦賀市高野まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福井県小浜市府中　　から
福井県敦賀市高野　　まで

（ロ） 延　　長　　39．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福井県小浜市府中　から 福井県敦賀市高野　まで	80	39．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福井県小浜市府中 から 福井県敦賀市高野 まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

※ 土工部については、左側路肩を二次除雪作業に必要な作業幅員2．50mを確保する。

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　―　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道上中田烏線	福井県三方上中郡若狭町上黒田	立体接続	上中インターチェンジ（仮称）
一般国道27号	福井県三方上中郡若狭町気山	立体接続	三方インターチェンジ（仮称）
一般国道27号	福井県三方郡美浜町太田	立体接続	美浜インターチェンジ（仮称）
北陸自動車道	福井県敦賀市高野	立体接続	敦賀ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

203，229 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

220，000　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　218，962　百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（高井戸IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都杉並区上高井戸

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
都道環状放射5号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	浅間橋ONランプ
都道環状放射5号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	高井戸OFFランプ
主要地方道環状8号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	中之橋ONランプ

別　紙　1

（4） 工事予算

42，100 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　37 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

58，809 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額 56，702 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２１

中央自動車道富士吉田線

（東京都八王子市元八王子一丁目から東京都八王子市元八王子二丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都八王子市元八王子一丁目　　から
東京都八王子市元八王子二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　1．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
東京都八王子市元八王子一丁目 から 東京都八王子市元八王子二丁目 まで	80	1．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
東京都八王子市 元八王子一丁目　から 東京都八王子市 元八王子二丁目　まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．30　メートル　（土工部）
4．30　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

2，100 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16　年　6　月　29　日
②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，537 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，501 百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（元八王子IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都八王子市元八王子町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
都道山田宮ノ前線	東京都八王子市 元八王子町	立体接続	元八王子インターチェンジ （仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

55 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　28 年　 4 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日
当該インターチェンジは、接続道路管理者が高速自動車国道法第11条の2第1項の連結許可を受けていないため、今後の検討に必要な当面の設計費用のみを計上することとする。着手予定年月日は、さしあたり平成28年4月1日とし、完成予定年月日は、現行整備計画区間が全て完成すると想定している時期とした。なお、連結許可が出された時点で必要な協定変更を行う。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

90 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　— 百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（八王子JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都八王子市裏高尾町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	東京都八王子市 裏高尾町	立体接続	八王子ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

30，700 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　2 年　4 月　3 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　6 月　23 日（供用開始）
平成　21 年　3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

10，231 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，231 百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（八王子JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都八王子市裏高尾町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	東京都八王子市 裏高尾町	立体接続	八王子ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

9，180 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　2 年　4 月　3 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，540 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，530 百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（都留IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

山梨県都留市つる

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道都留インター線	山梨県都留市つる	立体接続	都留インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

900 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，054 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，043 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（諏訪IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県諏訪市中洲

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道20号	長野県諏訪市 中洲	立体接続	諏訪インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　41 年　10 月　25 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，186 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，135 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（飯田山本IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県飯田市山本

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道　474号 （三遠南信自動車道）	長野県飯田市山本	立体接続	飯田山本インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，637 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　16　年　6　月　29　日

②工事の完成年月日　　平成　20　年　4　月　13　日（供用開始）

平成　21　年　3　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，805 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，805 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（養老JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

岐阜県養老郡養老町飯積

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県養老郡養老町飯積	立体接続	養老ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

10，873 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

12，339 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　12，329 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（養老JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

岐阜県養老郡養老町飯積

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県養老郡養老町飯積	立体接続	養老ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，200 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，848 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，838 百万円）（消費税込み）

中央自動車道長野線（松本JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　長野線

（2） 工事の箇所

長野県松本市島立

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道158号 （中部縦貫自動車道）	長野県松本市島立	立体接続	松本ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

3，300 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，580 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，411　百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市大谷から神奈川県海老名市杉久保まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市大谷　　から
神奈川県海老名市杉久保　　まで

（ロ） 延　　長　　0．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市大谷 から 神奈川県海老名市杉久保 まで	120	0．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．60 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 大谷　から 神奈川県海老名市 杉久保　まで	6 車線	6 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

2，614 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　14　年　4　月　9　日

②工事の完成年月日　　平成　20　年　7　月　18　日　（供用開始）

平成　22　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，942 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，942 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市大谷から神奈川県海老名市今里まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市大谷　　から
神奈川県海老名市今里　　まで

（ロ） 延　　長　　2. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 大谷　から 神奈川県海老名市 今里　まで	120	2. 3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．60 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県海老名市 大谷　から 神奈川県海老名市 今里　まで	6 車線	6 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

12，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14　年　4　月　9　日
②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，152 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　13，554 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市社家まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市門沢橋　　から
神奈川県海老名市社家　　まで

（ロ） 延　　長　　1．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市門沢橋 から 神奈川県海老名市社家 まで	80	1．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県海老名市 社家　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）

３．００　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市門沢橋	平面接続	本線
第二東海自動車道横浜名古屋線	神奈川県海老名市門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション（仮称）
第一東海自動車道	神奈川県海老名市社家	立体接続	海老名ジャンクション

（4） 工事予算

41，294 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

28，841 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　28，806 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市社家から神奈川県海老名市中新田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市社家　　から
神奈川県海老名市中新田　　まで

（ロ） 延　　長　　1．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　海老名市社家から海老名市中新田まで
第 1 種 第 3 級（道路構造令）

海老名市中新田から海老名市中新田まで
第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 社家　から 神奈川県海老名市 中新田　まで	80	1．2	
神奈川県海老名市 中新田　から 神奈川県海老名市 中新田　まで	100	0．7	

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 社家　から 神奈川県海老名市 中新田　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	上段（第1種第3級） 海老名市社家から 海老名市中新田まで 下段（第1種第2級） 海老名市中新田から 海老名市中新田まで
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	１．７５×２ ２．５０×２	３．５０ ５．００	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－

（チ） 中央帯の標準幅員

海老名市社家から海老名市中新田まで
　　－　　メートル　（土工部）
　３．００　　メートル　（橋梁部）

海老名市中新田から海老名市中新田まで
　　－　　メートル　（土工部）
　４．５０　　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 社家	立体接続	海老名ジャンクション
県道藤沢厚木	神奈川県海老名市 中新田	立体接続	海老名インターチェンジ
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市 中新田	平面接続	本線

（4） 工事予算

78，585 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　22　年　2　月　27　日　（供用開始）
　　平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

41，096 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　40，909 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道（沼津IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

静岡県沼津市足高

（3） 工事方法

他の道路との接続位置

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号（伊豆縦貫自動車道） 及び県道沼津インター線	静岡県沼津市足高	立体接続	沼津インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，144 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　1 月　16 日

②工事の完成年月日　　平成　20 年　7 月　22 日（供用開始）

平成　21 年　7 月　26 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，115 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，115 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道（日進IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県日進市岩崎町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道日進瀬戸道路 （名古屋瀬戸道路）	愛知県日進市岩崎町	立体接続	日進インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，800 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，209 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，117 百万円）（消費税込み）

東海北陸自動車道（美濃関JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の箇所

岐阜県関市下有知

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県関市下有知	立体接続	美濃関ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

805 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　1　月　18　日

②工事の完成予定年月日　　平成　21　年　4　月　18　日　（供用開始）
平成　22　年　9　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

936 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　936 百万円）（消費税込み）

東海北陸自動車道
（岐阜県郡上市美並町山田から岐阜県郡上市八幡町有坂まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市美並町山田　　から
岐阜県郡上市八幡町有坂　　まで

（ロ） 延　　長　　8．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県郡上市美並町山田　から 岐阜県郡上市八幡町有坂　まで	80	8．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県郡上市美並町山田 から 岐阜県郡上市八幡町有坂 まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	—	—	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	—	—	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	1．25	1．00	2．25	

※ 切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として0．5m拡幅する。

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

―

（4） 工事予算

26，515 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54　年　3　月　18　日

②工事の完成予定年月日　　平成　20　年　10　月　16　日　（供用開始）
平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

27，740 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　27，740 百万円）（消費税込み）

東海北陸自動車道

（岐阜県郡上市八幡町有坂から岐阜県郡上市大和町島まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市八幡町有坂　　から
岐阜県郡上市大和町島　　まで

（ロ） 延　　長　　4．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
岐阜県郡上市八幡町有坂　から 岐阜県郡上市大和町島　まで	80	4．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県郡上市八幡町有坂 から 岐阜県郡上市大和町島 まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	—	—	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	—	—	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	1．25	1．00	2．25	

※ 切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として1．0m拡幅する。

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

―

（4） 工事予算

12，509 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54　年　3　月　18　日

②工事の完成予定年月日　　平成　21　年　5　月　26　日　（供用開始）
平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

13，490　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　13，490 百万円）（消費税込み）

東海北陸自動車道

（岐阜県郡上市大和町島から岐阜県郡上市大和町万場まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市大和町島　　から
岐阜県郡上市大和町万場　　まで

（ロ） 延　　長　　4．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
岐阜県郡上市大和町島 から 岐阜県郡上市大和町万場 まで	80	4．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県郡上市大和町島 から 岐阜県郡上市大和町万場 まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	—	—	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	—	—	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	1．25	1．00	2．25	

※ 切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として2．0m拡幅する。

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

―

（4） 工事予算

10，461 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54　年　3　月　18　日

②工事の完成予定年月日　　平成　21　年　3　月　13　日　（供用開始）
平成　25　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

10，761 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，761 百万円）（消費税込み）

東海北陸自動車道

（岐阜県高山市清見町夏厩から岐阜県大野郡白川村大字鳩谷まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

岐阜県高山市清見町夏厩　から
岐阜県大野郡白川村大字鳩谷　まで

（3） 工事予算

439 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成年月日　平成　22 年　3 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

489 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　489 百万円）（消費税込み）

第二東海自動車道横浜名古屋線（東海JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

愛知県東海市新宝町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道高速名古屋新宝線 （名古屋高速道路）	愛知県東海市新宝町	立体接続	東海ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

7，688 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，618 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，608 百万円）（消費税込み）

北陸自動車道（福井北JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

福井県福井市玄正島町18字

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道158号 （中部縦貫自動車道）	福井県福井市玄正島町 18字	立体接続	福井北ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，500 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，928 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，800 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋亀山線（勝川IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋亀山線

（2） 工事の箇所

愛知県春日井市勝川

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道302号	愛知県春日井市勝川	平面接続	勝川インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

800 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　58 年　8 月　16 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

947 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　939 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋亀山線（清洲JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋亀山線

（2） 工事の箇所

愛知県清須市朝日

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道高速名古屋朝日線 （名古屋高速道路）	愛知県清須市朝日	立体接続	清洲ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

4，474 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日

②工事の完成年月日　　平成　19　年　12　月　9　日　（供用開始）
平成　21　年　4　月　30　日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

582 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　582 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道 名古屋亀山線

（三重県四日市市中村町から三重県亀山市川崎町まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋亀山線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市中村町　　から
三重県亀山市川崎町　　まで

（ロ） 延　　長　　5．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
三重県四日市市中村町　から 三重県亀山市川崎町　まで	80	5．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県四日市市中村町 から 三重県亀山市川崎町 まで	1 車線	1 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50	2．50	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50	2．50	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

5，812 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　平成 18 年 4 月 19 日

②工事の完成年月日　平成 20 年 12 月 19 日　（供用開始）
平成 22 年 3 月 30 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，560 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　6，560 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県亀山市安坂山町から滋賀県甲賀市甲賀町岩室まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

三重県亀山市安坂山町　から
滋賀県甲賀市甲賀町岩室　まで

（3） 工事予算

1，625 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成年月日　平成　22 年　3 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，772 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，772 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道尾鷲多気線
（三重県多気郡大台町大字菅合から三重県多気郡多気町丹生まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　尾鷲多気線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県多気郡大台町大字菅合　　から
三重県多気郡多気町丹生　　まで

（3） 工事予算

255 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日
②工事の完成年月日　　平成　20　年　3　月　30　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

327 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　327 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道尾鷲多気線（奥伊勢PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　尾鷲多気線

（2） 工事の箇所

三重県多気郡大台町

（3） 工事予算

1，106　百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　平成　5　年　12　月　4　日

②工事の完成年月日　平成　21　年　2　月　5　日　（供用開始）
平成　21　年　7　月　31　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

731 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　731 百万円）（消費税込み）

一般国道１号（新湘南バイパス）

（神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号

（有料道路名 ： 新湘南バイパス）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　神奈川県茅ヶ崎市柳島　から
神奈川県中郡大磯町東町　まで

（ロ） 延　長　5．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県茅ヶ崎市 柳島　から 神奈川県中郡 大磯町東町　まで	80	5．6	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 柳島　から 神奈川県中郡 大磯町東町　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．２５×２	２．５	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道相模原茅ヶ崎線	神奈川県茅ヶ崎市 柳島	立体接続	茅ヶ崎海岸インターチェンジ
一般国道134号	神奈川県 平塚市高浜台	立体接続	平塚インターチェンジ （仮称）
一般国道134号	神奈川県中郡 大磯町東町	立体接続	大磯インターチェンジ （仮称）
一般国道1号 （西湘バイパス）	神奈川県中郡 大磯町東町	平面接続	本線

（4） 工事予算

4，910 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

イ 神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県茅ヶ崎市柳島まで

平成　30　年　4　月　1　日

別　紙　1

ロ　神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで

平成　32　年　4　月　1　日

・　なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，364 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，113 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県海老名市中新田から神奈川県厚木市上依知まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市中新田　　から
神奈川県厚木市上依知　　まで

（ロ） 延　　長　　10．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 中新田　から 神奈川県厚木市 上依知　まで	100	10．1	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 中新田　から 神奈川県厚木市 上依知　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　—　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 中新田	平面接続	本線
県道藤沢厚木線	神奈川県海老名市 中新田	立体接続	海老名インターチェンジ
一般国道246号 （厚木秦野道路）	神奈川県厚木市 中依知	立体接続	圏央厚木インターチェンジ（仮称）
一般国道129号	神奈川県厚木市 中依知	立体接続	圏央厚木インターチェンジ（仮称）
一般国道129号	神奈川県相模原市 南区当麻	立体接続	相模原インターチェンジ（仮称）
県道相模原町田線	神奈川県相模原市 南区当麻	立体接続	相模原インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

103，253 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名中新田まで　（STA110+52～STA113+40）
平成 16 年 6 月 29 日

ロ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名市河原口まで（STA113+40～STA114+60）
平成 21 年 5 月 11 日

ハ 神奈川県海老名市河原口から神奈川県厚木市金田まで　（STA114+60～STA128+40）
平成 16 年 6 月 29 日

ニ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA128+40～STA129+20）
平成 23 年 2 月 1 日

ホ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA129+20～STA130+00）
平成 23 年 6 月 1 日

ヘ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA130+00～STA131+20）
平成 23 年 1 月 1 日

ト 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA131+20～STA132+91）
平成 23 年 1 月 1 日

チ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA132+91～STA138+00）
平成 18 年 6 月 30 日

別　紙　1

リ　神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA138+00～STA139+00）
　平成　23　年　1　月　1　日

ヌ　神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市下依知まで　（STA139+00～STA146+05）
　平成　18　年　6　月　30　日

ル　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで　（STA146+05～STA151+50）
　平成　20　年　7　月　1　日

ヲ　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで　（STA151+50～STA152+50）
　平成　21　年　12　月　1　日

ワ　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市中依知まで　（STA152+50～STA160+93.5）
　平成　20　年　7　月　1　日

カ　神奈川県厚木市中依知から神奈川県厚木市関口まで　（STA160+93.5～STA164+85）
　平成　20　年　7　月　1　日

ヨ　神奈川県厚木市下依知　（圏央厚木IC取り付け部）
　平成　24　年　7　月　1　日

タ　神奈川県厚木市関口から神奈川県厚木市山際まで　（STA164+85～STA176+50）
　平成　19　年　2　月　1　日

レ　神奈川県厚木市山際から神奈川県厚木市山際まで　（STA176+50～STA190+12.5）
　平成　24　年　6　月　1　日

ソ　神奈川県厚木市山際から神奈川県厚木市上依知まで　（STA190+12.5～STA193+32）
平成　23　年　10　月　1　日

ツ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA193+32～STA207+54）
平成　24　年　10　月　1　日

ネ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA207+54～STA211+44）
平成　23　年　10　月　1　日

ナ　神奈川県相模原市南区当麻　（相模原IC料金所部）
平成　24　年　4　月　1　日

・　なお、合併施行方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　25　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

104，172 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　101，674 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県厚木市上依知から東京都八王子市南浅川町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県厚木市上依知　　から
東京都八王子市南浅川町　　まで

（ロ） 延　　長　　14．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県厚木市上依知　から 東京都八王子市南浅川町　まで	100	14．8	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県厚木市上依知　から 東京都八王子市南浅川町　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	1．00×2	2．00	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
津久井広域道路 県道510号（長竹川尻）	神奈川県相模原市 緑区城山町小倉	立体接続	城山インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

38，370 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

イ 神奈川県厚木市上依知から東京都八王子市南浅川町まで（STA211+44～STA145+00）
平成 24 年 4 月 1 日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成 25 年 3 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

40，277 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　39，287 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市裏高尾町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都八王子市南浅川町　　から
東京都八王子市裏高尾町　　まで

（ロ） 延　　長　　2．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
東京都八王子市南浅川町 から 東京都八王子市裏高尾町 まで	80	2．0	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
東京都八王子市南浅川町 から 東京都八王子市裏高尾町 まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道20号	東京都八王子市 南浅川町	立体接続	八王子南インターチェンジ（仮称）
中央自動車道 富士吉田線	東京都八王子市 裏高尾町	立体接続	八王子ジャンクション

（4） 工事予算

32，676 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（STA-1-40～STA0+00）
平成 23 年 10 月 1 日

ロ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（料金所）
平成 23 年 4 月 1 日

ハ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（Aランプ）（STA0+00～STA3+97）
平成 23 年 10 月 1 日

別　紙　1

二　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（Cランプ）（STA3+97～STA7+78）
平成　23　年　8　月　1　日

ホ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（Bランプ）（STA0+00～STA3+29）
平成　23　年　10　月　1　日

ヘ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（Bランプ）（STA3+29～STA4+93）
平成　23　年　8　月　1　日

ト　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（電気室）
平成　23　年　4　月　1　日

チ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（上り線）（STA145+87～STA147+00）
平成　23　年　8　月　1　日

リ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（上り線）（STA147+00～STA147+52）
平成　23　年　12　月　1　日

ヌ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（下り線）（STA146+30～STA147+38）
平成　23　年　10　月　1　日

ル　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（下り線）（STA147+38～STA147+60）
平成　24　年　2　月　1　日

ヲ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで　（STA147+52～STA155+00）
平成　23　年　9　月　1　日

ワ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで　（STA155+00～STA161+10）
平成　23　年　12　月　1　日

カ　東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで　（STA160+89～STA0+06）
平成　18　年　8　月　1　日

・　なお、合併施行方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　24　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

34，809 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　34，792 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都八王子市裏高尾町から東京都あきる野市牛沼まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都八王子市裏高尾町　　から
東京都あきる野市牛沼　　まで

（ロ） 延　　長　　9．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
東京都八王子市裏高尾町 から 東京都あきる野市牛沼 まで	80	9．2	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
東京都八王子市裏高尾町 から 東京都あきる野市牛沼 まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道 富士吉田線	東京都八王子市 裏高尾町	立体接続	八王子ジャンクション
都道山田宮の前線	東京都八王子市 美山町	立体接続	八王子西インターチェンジ

（4） 工事予算

14，113 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日

イ 東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで （STA0+06～STA3+80）
平成 18 年 10 月 1 日

ロ 東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで （STA3+80～STA11+0）
平成 19 年 3 月 1 日

ハ 東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで （STA11+0～STA12+0）
平成 19 年 3 月 17 日

別　紙　1

二　東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで（STA12+0～STA15+40）
　平成　18　年　12　月　1　日

ホ　東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市下恩方町まで（STA15+40～STA26+94）
　平成　19　年　1　月　4　日

ヘ　東京都八王子市下恩方町から東京都八王子市下恩方町まで（STA26+94～STA42+06）
　平成　18　年　12　月　1　日

ト　東京都八王子市下恩方町から東京都八王子市下恩方町まで　（STA42+06～STA42+26）
　平成　18　年　9　月　1　日

チ　東京都八王子市下恩方町から東京都八王子市下恩方町まで（STA42+26～STA44+50）
　平成　18　年　7　月　1　日

リ　東京都八王子市下恩方町から東京都八王子市下恩方町まで（STA44+50～STA45+10）
　平成　18　年　9　月　1　日

ヌ　東京都八王子市下恩方町から東京都八王子市美山町まで　（STA45+10～STA49+60）
　平成　18　年　7　月　1　日

ル　東京都八王子市美山町から東京都八王子市美山町まで　（STA49+60～STA52+05）
　平成　18　年　9　月　1　日

ヲ　東京都八王子市美山町から東京都八王子市川口町まで　（STA52+05～STA65+94）
　平成　18　年　9　月　1　日

ワ　東京都八王子市川口町から東京都八王子市川口町まで　　（STA65+94～STA68+77）
平成　18　年　1　月　16　日

カ　東京都八王子市川口町から東京都八王子市上川町まで　　（STA68+77～STA71+87）
平成　18　年　9　月　1　日

ヨ　東京都八王子市上川町から東京都あきる野市牛沼まで　　（STA71+87～STA92+43）
平成　18　年　1　月　16　日

・　なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成年月日

平成　19　年　6　月　23　日（供用開始）
平成　21　年　3　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，250 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，250 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県海老名市門沢橋まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県茅ヶ崎市西久保　　から

神奈川県海老名市門沢橋　　まで

（ロ） 延　　長　　7．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時）	延　長 （ｷﾛﾒｰﾄﾙ）	摘　要
神奈川県茅ヶ崎市 西久保　から 神奈川県海老名市 門沢橋　まで	80	7．9	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 西久保　から 神奈川県海老名市 門沢橋　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	１．７５	１．００	２．７５	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （新湘南ﾊﾞｲﾊﾟｽ）	神奈川県茅ケ崎市 西久保	立体接続	西久保ジャンクション（仮称）
県道 伊勢原藤沢線	神奈川県高座郡 寒川町田端	立体接続	寒川南インターチェンジ（仮称）
県道 相模原茅ヶ崎線	神奈川県高座郡 寒川町宮山	立体接続	寒川北インターチェンジ（仮称）
第二東海自動車道 横浜名古屋線	神奈川県海老名市 門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション（仮称）
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 門沢橋	平面接続	本線

（4） 工事予算

21，673 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

イ　神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県高座郡寒川町田端まで　（STA-1+86～STA9+27）
平成 23 年 10 月 1 日

ロ　神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町田端まで　（STA9+27～STA11+57）
平成 24 年 12 月 1 日

ハ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC料金所部）
平成 24 年 4 月 1 日

ニ　神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで（STA11+57～STA27+10）
平成 23 年 10 月 1 日

ホ　神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで（STA27+10～STA35+42）
平成 24 年 4 月 1 日

ヘ　神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町宮山まで（STA35+42～STA50+93.5）
平成 23 年 10 月 1 日

ト　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC料金所部）
平成 24 年 4 月 1 日

チ　神奈川県高座郡寒川町宮山から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA50+93.5～STA53+78）
平成 24 年 7 月 1 日

別　紙　１

リ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA53+78～STA59+30.5）
平成　24　年　12　月　１　日

ヌ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA59+30.5～STA61+26.5）
平成　23　年　７　月　１　日

ル　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA61+26.5～STA62+24.5）
平成　23　年　４　月　１　日

ヲ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA62+24.5～STA66+93）
平成　23　年　１　月　１　日

ワ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA66+93～STA72+09）
平成　22　年　８　月　１　日

カ　神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA72+09～STA73+39）
平成　23　年　３　月　１　日

ヨ　神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA73+39～STA76+23）
平成　22　年　８　月　１　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、
会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成予定年月日

神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県海老名市門沢橋まで

平成　25　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

23，179 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　22，230 百万円）（消費税込み）

一般国道２７１号（小田原厚木道路）（小田原西IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道271号

（有料道路名 ： 小田原厚木道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県小田原市風祭

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道　1号 （小田原箱根道路）	神奈川県小田原市 風祭	平面接続	小田原西IC

別　紙　1

（4） 工事予算

65 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　4　年　8　月　18　日
②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

75 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　73 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（厚木PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

神奈川県厚木市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

別　紙　1

（4） 工事予算

6，644 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　19　年　3　月　1　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，942 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，659 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）（豊田東JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

愛知県豊田市岩倉町

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第二東海自動車道 横浜名古屋線	愛知県豊田市岩倉町	立体接続	豊田東ジャンクション

（4） 工事予算

351 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　26　年　4　月　1　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　平成　27　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

414 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　404 百万円）（消費税込み）

一般国道475号（東海環状自動車道）（五斗蒔PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号
（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

岐阜県土岐市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業･有料道路事業　合併施行方式

別　紙　1

（4） 工事予算

818 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19　年　3　月　16　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成年月日　　平成　19　年　12　月　16　日　（供用開始）
平成　20　年　6　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

869 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　869 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）

（岐阜県可児市久々利柿下入会から岐阜県可児郡御嵩町比衣まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県可児市久々利柿下入会　　から
岐阜県可児郡御嵩町比衣　　まで

（ロ） 延　　長　　5．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県可児市久々利柿下入会 から 岐阜県可児郡御嵩町比衣 まで	100	5．3	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県可児市久々利柿下入会 から 岐阜県可児郡御嵩町比衣 まで	2 車線	4 車線	付加車線事業

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．75	1．25	3．00	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

28，892 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　28　年　4　月　1　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

34，326　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　32，855　百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）

（岐阜県関市下有知から岐阜県関市下有知まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県関市下有知　　から
岐阜県関市下有知　　まで

（ロ） 延　　長　　1．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県関市下有知　から 岐阜県関市下有知　まで	100	1．6	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県関市下有知　から 岐阜県関市下有知　まで	2 車線	4 車線	付加車線事業

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	—	—	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

522 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27　年　4　月　1　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　平成　28　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

665 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　657 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（双葉スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

山梨県甲斐市龍地

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道県道希望ヶ丘線	山梨県甲斐市龍地	立体接続	双葉SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

北陸自動車道（入善スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

富山県下新川郡入善町神林

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道入善インター北線 及び 町道入善インター南線	富山県下新川郡 入善町神林	立体接続	入善PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　10 月　 1 日　（供用開始）
平成　19 年　 6 月　30 日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

北陸自動車道（徳光スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

石川県白山市徳光町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道H9号線 及び 市道H83号線	石川県白山市徳光町	立体接続	徳光PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

第一東海自動車道（富士川スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

静岡県富士市岩淵

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道富士川身延線 市道上町小山線 及び 市道片羽東名線	静岡県富士市岩淵	立体接続	富士川SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　4 月　1 日　（供用開始）
平成　22 年　3 月　17 日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

第一東海自動車道（遠州豊田スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

静岡県磐田市高見丘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道高見丘東原1号線 及び 市道豊田東原線	静岡県磐田市高見丘	立体接続	遠州豊田PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　 3 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

北陸自動車道（白山IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

石川県白山市中新保町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道松任宇ノ気線	石川県白山市 中新保町	立体接続	白山インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

956 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，205 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，181 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋亀山線（亀山PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋亀山線

（2） 工事の箇所

三重県亀山市布気町高塚　　から
三重県亀山市布気町大岨　　まで

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道道野太岡寺側道3号線 及び 市道道野太岡寺側道1号線	三重県亀山市布気町高塚 及び 三重県亀山市布気町大岨	立体接続	亀山PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　 3 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

中央自動車道西宮線（双葉スマートIC）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

山梨県甲斐市龍地

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道県道希望ヶ丘線	山梨県甲斐市龍地	立体接続	双葉SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　20 年　12 月　 1 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　11 月　20 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

一般国道４７５号（東海環状自動車道）（関広見IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　岐阜県関市下有知　から
岐阜県関市池尻　まで

（ロ） 延　長　2. 9キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時）	延　長 （ｷﾛﾒｰﾄﾙ）	摘　要
岐阜県関市下有知　から 岐阜県関市池尻　まで	100	2．9	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県関市下有知　から 岐阜県関市池尻　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
トンネル部分	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　ー　メートル　（土工部）
　　ー　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東海北陸自動車道	岐阜県関市下有知	立体接続	美濃関ジャンクション
一般国道418号	岐阜県関市池尻	立体接続	関広見インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

968　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　岐阜県関市下有知　から　岐阜県美濃市志摩まで
平成　21年　1月　7日

ロ　岐阜県美濃市志摩　から　岐阜県美濃市笠神　まで
平成　21年　2月12日

ハ　岐阜県美濃市笠神　から　岐阜県美濃市笠神　まで
平成　21年　1月　7日

ニ　岐阜県美濃市笠神　から　岐阜県関市池尻　まで
平成　21年　2月12日

ホ　岐阜県関市池尻　から　岐阜県関市池尻　まで
平成　20年　8月26日

別　紙　1

へ　岐阜県関市池尻　から　岐阜県関市池尻　まで
平成　21年　2月12日

・ なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、
会社が公共事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　4 月　18 日　（供用開始）
平成　22 年　9 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，067 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，067 百万円）（消費税込み）

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

61，625 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

61，933 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手予定年月日	工事の完成予定年月日				
中央自動車道 富士吉田線	東京都府中市小柳町から 東京都府中市是政まで	都道川崎府中線及び市道中央道側道	東京都府中市小柳町及び東京都府中市是政	立体接続	平成21年 9月29日	平成24年 7月31日	1,808百万円	2,051百万円	―	本線 直結型
中央自動車道 西宮線	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺	県道湖東三山インター線	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺	立体接続	平成21年 9月29日	平成26年 3月31日	1,193百万円	1,390百万円	―	秦荘 PA
中央自動車道 長野線	長野県松本市島内から長野県安曇野市豊科高家まで	市道8087号線及び市道豊科1級2号線	長野県松本市島内及び長野県安曇野市豊科高家	立体接続	平成21年 9月29日	平成23年 1月31日	496百万円	548百万円	―	梓川 SA
第一東海自動車道	愛知県名古屋市守山区下志段味から愛知県名古屋市守山区深沢まで	市道守山パーキングエリア線	愛知県名古屋市守山区下志段味	立体接続	平成21年 9月29日	平成26年 9月30日	3,219百万円	3,636百万円	―	守山 PA
中央自動車道 富士吉田線	山梨県富士吉田市上暮地	県道富士吉田西桂線	山梨県富士吉田市上暮地	立体接続	平成23年 4月1日	平成27年 3月31日	3,431百万円	3,780百万円	―	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県焼津市上新田	市道0105号線	静岡県焼津市上新田	立体接続	平成23年 4月1日	平成28年 3月31日	2,913百万円	3,364百万円	―	本線 直結型
東海北陸自動車道	富山県南砺市上川崎から富山県南砺市上津	（仮称） 市道南砺スマートインター線	富山県南砺市柴田屋	立体接続	平成23年 4月1日	平成27年 3月31日	1,726百万円	1,907百万円	―	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 予定年月日	工事の完成 予定年月日				
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県静岡市葵区小瀬戸から静岡県静岡市葵区飯間	市道小瀬戸飯間線及び市道飯間本線	静岡県静岡市葵区小瀬戸及び静岡県静岡市葵区飯間	立体接続	平成23年 4月1日	平成25年 3月31日	630百万円	735百万円	―	静岡 SA （仮称）
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県浜松市浜北区四大地から静岡県浜松市北区都田町	市道浜北灰木大平1号線及び市道須部灰の木線	静岡県浜松市浜北区四大地及び静岡県浜松市北区都田町	立体接続	平成23年 4月1日	平成25年 3月31日	618百万円	723百万円	―	浜松浜 北SA （仮称）
北陸自動車道	富山県砺波市下中条	市道（仮称）高岡砺波インター線	富山県砺波市下中条	立体接続	平成23年 4月1日	平成27年 3月31日	1,868百万円	2,065百万円	―	本線 直結型
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県土岐市泉町	市道81920号線、82525号線及び82526号線	岐阜県土岐市泉町	立体接続	平成23年 4月1日	平成25年 2月28日	542百万円	637百万円	―	五斗蒔 PA

東海北陸自動車道（ひるがの高原スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の箇所

岐阜県郡上市高鷲町鷲見

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道八背尾線 及び 市道SA西線	岐阜県郡上市高鷲町鷲見	立体接続	ひるがの高原SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

北陸自動車道（流杉スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

富山県富山市団子田割　　から
富山県富山市清水田割　　まで

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道流杉インター1号線 及び 市道流杉インター2号線	富山県富山市団子田割 及び 富山県富山市清水田割	立体接続	流杉PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　3 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

北陸自動車道（安宅スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

石川県小松市日末町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道日末海岸2号線 及び 県道小松加賀線	石川県小松市日末町	立体接続	安宅PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

北陸自動車道（南条スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

福井県南条郡南越前町牧谷　　から
福井県南条郡南越前町上野　　まで

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道鯖波エリア線 及び 町道鋳物師阿久和線	福井県南条郡 南越前町牧谷　及び 福井県南条郡 南越前町上野	立体接続	南条SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　3 月　26 日
②工事の完成年月日　　平成　21 年　4 月　1 日　（供用開始）
　　平成　22 年　3 月　27 日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

一般国道４７５号（東海環状自動車道）（鞍ヶ池スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号
（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

愛知県豊田市矢並町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道鞍ケ池スマートインター線	愛知県豊田市矢並町	立体接続	鞍ヶ池PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　30 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

東海北陸自動車道（飛騨白川PA）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の箇所

岐阜県大野郡白川村飯島

（3） 工事予算

－

（3） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21　年　9　月　29　日

②工事の完成年月日　　平成　22　年　3　月　30　日

2. 工事に要する費用に係わる債務引受限度額

－

東海北陸自動車道（西尾張IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県一宮市大和町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道岐阜稲沢線	愛知県一宮市 大和町	立体接続	西尾張インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

760　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 9 月　 5 日

②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

934　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　923　百万円）（消費税込み）

東海北陸自動車道

（岐阜県郡上市白鳥町那留から岐阜県高山市清見町夏厩まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

本別紙に係る工事については、当該区間の整備に必要な予算の見直しが決定されたことに伴い、工事を一旦停止している

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市白鳥町那留　　から
岐阜県高山市清見町夏厩　　まで

（ロ） 延　　長　　40. 9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
岐阜県郡上市白鳥町那留 から 岐阜県高山市清見町夏厩 まで	80	40. 9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県郡上市白鳥町那留 から 岐阜県高山市清見町夏厩 まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	—	—	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

※ 切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として白鳥～高鷲2．0m、高鷲～飛騨清見3．0m拡幅する。

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

89，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　21 年　 9 月　 5 日
②工事の完成予定年月日　　―

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

本別紙に係る工事については、一旦停止しているため、改めて工事を再開することとなった際に
債務引受限度額を記載する予定である。

別紙１－Ｗ－１

近畿自動車道名古屋神戸線

（滋賀県甲賀市甲賀町岩室から滋賀県大津市上田上牧町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　滋賀県甲賀市甲賀町岩室　　から
滋賀県大津市上田上牧町　　まで

（ロ） 延　　長　　28．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
滋賀県甲賀市 甲賀町岩室　から 滋賀県大津市 上田上牧町　まで	120	28．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル 、 3．75 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
滋賀県甲賀市 甲賀町岩室　から 滋賀県大津市 上田上牧町　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	3．00×2	6．00	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	－	－	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	3．00×2	6．00	3．00	1．75	4．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	3．125×2	6．25	3．125	1．25	4．375	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道甲賀土山線	滋賀県甲賀市甲賀町岩室	立体接続	甲賀土山インターチェンジ
一般国道307号	滋賀県甲賀市信楽町黄瀬	立体接続	信楽インターチェンジ
県道大津能登川長浜線	滋賀県草津市野路町	立体接続	草津田上インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

262，350 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年 12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成 20 年　2 月 23 日　（供用開始）
平成 23 年　9 月 29 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

109，507 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　109，507 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線

（滋賀県大津市上田上牧町から京都府城陽市寺田金尾まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

当該区間については、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めて事業の着工について判断することとし、それまでは着工しない。当該区間の扱いについては、次回以降の国幹会議に報告する。

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　滋賀県大津市上田上牧町　　から
京都府城陽市寺田金尾　　まで

（ロ） 延　　長　　25．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第1種第1級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
滋賀県大津市上田上牧町 から 京都府城陽市寺田金尾 まで	120	25．1	

別　紙　1

（ハ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
滋賀県大津市 上田上牧町　から 京都府城陽市 寺田金尾　まで	4 車線	6 車線	

（二） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道307号	京都府綴喜郡 宇治田原町大字郷之口	立体接続	宇治田原インターチェンジ（仮称）
一般国道24号 （京奈道路）	京都府城陽市 寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション（仮称）
一般国道24号	京都府城陽市 寺田金尾	立体接続	城陽インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

327，276 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

※当該区間については、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めて事業の着工について判断することとし、それまでは着工しない。

②工事の完成予定年月日

※当該区間については、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めて事業の着工について判断することとし、それまでは着工しない。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

371，173 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　354，071 百万円）（消費税込み）

※当該区間については、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めてその着工について判断することとしているが、当該区間を着工した場合における45年以内の債務返済を確認するため、当該区間の工事に要する費用に係る債務引受限度額を算出したものである。

別紙１－Ｗ－３

近畿自動車道名古屋神戸線

（京都府城陽市寺田金尾から京都府八幡市美濃山荒坂まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府城陽市寺田金尾　　から
京都府八幡市美濃山荒坂　　まで

（ロ） 延　　長　　3．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
京都府城陽市寺田金尾 から 京都府八幡市美濃山荒坂 まで	120	3．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
京都府城陽市 寺田金尾　から 京都府八幡市 美濃山荒坂　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道24号（京奈道路）	京都府城陽市寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション（仮称）
一般国道24号	京都府城陽市寺田金尾	立体接続	城陽インターチェンジ（仮称）
一般国道1号（第二京阪道路）	京都府八幡市美濃山荒坂	立体接続	八幡ジャンクション（仮称）
府道八幡インター線	京都府八幡市美濃山古寺	立体接続	八幡インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

106，786 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　 1　月　20　日
②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　 3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

110，450 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　105，843 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線

（京都府八幡市美濃山荒坂から大阪府高槻市原まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

当該区間については、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めて事業の着工について判断することとし、それまでは着工しない。当該区間の扱いについては、次回以降の国幹会議に報告する。

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府八幡市美濃山荒坂　　から
大阪府高槻市原　　まで

（ロ） 延　　長　　10．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第1種第1級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
京都府八幡市美濃山荒坂　から 大阪府高槻市原　まで	120	10．7	

別　紙　1

（ハ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
京都府八幡市 美濃山荒坂　から 大阪府高槻市 原　まで	4 車線	6 車線	

（二） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （第二京阪道路）	京都府八幡市 美濃山荒坂	立体接続	八幡ジャンクション（仮称）
府道八幡インター線	京都府八幡市 美濃山古寺	立体接続	八幡インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

354，683 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

※当該区間については、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めて事業の着工について判断することとし、それまでは着工しない。

②工事の完成予定年月日

※当該区間については、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めて事業の着工について判断することとし、それまでは着工しない。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

411，719 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　392，742 百万円）（消費税込み）

※当該区間については、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めてその着工について判断することとしているが、当該区間を着工した場合における45年以内の債務返済を確認するため、当該区間の工事に要する費用に係る債務引受限度額を算出したものである。

近畿自動車道名古屋神戸線

（大阪府高槻市原から大阪府箕面市下止々呂美まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府高槻市原　　から
大阪府箕面市下止々呂美　　まで

（ロ） 延　　長　　18．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府高槻市原 から 大阪府箕面市下止々呂美 まで	120	18．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大阪府高槻市原 から 大阪府箕面市下止々呂美 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道西宮線	大阪府高槻市成合南の町	立体接続	高槻第二ジャンクション（仮称）
府道伏見柳谷高槻線	大阪府高槻市成合	立体接続	高槻インターチェンジ（仮称）
府道茨木摂津線	大阪府茨木市千提寺	立体接続	茨木北インターチェンジ（仮称）
一般国道423号	大阪府箕面市下止々呂美	立体接続	箕面インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

375，744 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　 1　月　12　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　 3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

465，411 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　450，542 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－６

近畿自動車道名古屋神戸線

（大阪府箕面市下止々呂美から兵庫県神戸市北区八多町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府箕面市下止々呂美　　から
兵庫県神戸市北区八多町　　まで

（ロ） 延　　長　　22．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府箕面市下止々呂美 から 兵庫県神戸市北区八多町 まで	120	22．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大阪府箕面市 下止々呂美　から 兵庫県神戸市北区 八多町　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道423号	大阪府箕面市下止々呂美	立体接続	箕面インターチェンジ（仮称）
県道川西インター線	兵庫県川西市西畦野	立体接続	川西インターチェンジ（仮称）
中国縦貫自動車道	兵庫県神戸市北区八多町	立体接続	神戸ジャンクション
山陽自動車道　吹田山口線	兵庫県神戸市北区八多町	平面接続	神戸ジャンクション

（4） 工事予算

380，031 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　 1　月　 8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　 3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

475，963 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　466，366 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線
（和歌山県日高郡みなべ町徳蔵から和歌山県田辺市稲成町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県日高郡みなべ町徳蔵　　から
和歌山県田辺市稲成町　　まで

（ロ） 延　　長　　5．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設　計　区　間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
和歌山県日高郡 みなべ町徳蔵　から 和歌山県田辺市 稲成町　まで	80	5．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
和歌山県日高郡 みなべ町徳蔵　から 和歌山県田辺市 稲成町　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道424号	和歌山県日高郡みなべ町徳蔵	立体接続	みなべインターチェンジ
一般国道42号（田辺西バイパス）	和歌山県田辺市稲成町	平面接続	南紀田辺インターチェンジ
近畿自動車道松原那智勝浦線	和歌山県田辺市稲成町	平面接続	本線（新直轄）

（4） 工事予算

27，452 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　 1　月　20　日
②工事の完成年月日　　平成　19　年　11　月　11　日　（供用開始）
　　平成　21　年　 3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，461 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，461 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－８

近畿自動車道敦賀線

（福井県小浜市岡津から福井県小浜市府中まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　福井県小浜市岡津　から
福井県小浜市府中　まで

（ロ） 延　長　11．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福井県小浜市岡津 から 福井県小浜市府中 まで	80	11．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
福井県小浜市 岡津　から 福井県小浜市 府中　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
主要地方道小浜綾部線	福井県小浜市岡津	立体接続	小浜西インターチェンジ
県道小浜インター線	福井県小浜市府中	立体接続	小浜インターチェンジ

（4） 工事予算

45，589 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　 4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　 3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

36，839 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　36，722 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－９

中国横断自動車道姫路鳥取線

（兵庫県たつの市新宮町角亀から兵庫県宍粟市山崎町市場まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　姫路鳥取線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　兵庫県たつの市新宮町角亀　　から
兵庫県宍粟市山崎町市場　　まで

（ロ） 延　　長　　11．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
兵庫県たつの市 新宮町角亀　から 兵庫県宍粟市 山崎町市場　まで	80	11．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
兵庫県たつの市 新宮町角亀　から 兵庫県宍粟市 山崎町市場　まで	2 車線	4 車線	

用地買収については、現地条件等を勘案した上で、当面、暫定二車線施工に必要となる用地を取得するものとする。

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道播磨新宮インター線	兵庫県たつの市新宮町光都三丁目	立体接続	播磨新宮インターチェンジ
中国縦貫自動車道	兵庫県宍粟市山崎町市場	立体接続	山崎ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

59，098 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

75，712 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　72，460 百万円）（消費税込み）

山陰自動車道鳥取益田線

（島根県松江市宍道町伊志見から島根県簸川郡斐川町大字三絡まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陰自動車道　鳥取益田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　島根県松江市宍道町伊志見　　から
島根県簸川郡斐川町大字三絡　　まで

（ロ） 延　　長　　4．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
島根県松江市宍道町伊志見 から 島根県簸川郡斐川町大字三絡 まで	100	4．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
島根県松江市 宍道町伊志見　から 島根県簸川郡 斐川町大字三絡　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．50×2	3．00	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
中国横断自動車道尾道松江線	島根県松江市宍道町伊志見	立体接続	宍道ジャンクション
県道斐川上島線	島根県簸川郡斐川町大字三絡	平面接続	斐川インターチェンジ

（4） 工事予算

17，938 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成年月日　　平成　18 年　11 月　25 日　（供用開始）
　　平成　20 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

15，652 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　15，652 百万円）（消費税込み）

山陰自動車道鳥取益田線

（島根県簸川郡斐川町大字三絡から島根県出雲市知井宮町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陰自動車道　鳥取益田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　島根県簸川郡斐川町大字三絡　　から
島根県出雲市知井宮町　　まで

（ロ） 延　　長　　13．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
島根県簸川郡 斐川町大字三絡　から 島根県出雲市 知井宮町　まで	100	13．6	

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
島根県簸川郡 斐川町大字三絡　から 島根県出雲市 知井宮町　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
トンネル部分	１．２５×２	２．５０	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．２５×２	２．５０	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道斐川上島線	島根県簸川郡 斐川町三絡	立体接続	斐川インターチェンジ
県道出雲インター線	島根県出雲市 知井宮町	平面接続	出雲インターチェンジ

（4） 工事予算

43，102 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　平成　21 年　11 月　28 日　（供用開始）
　　平成　23 年　12 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

37，473 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　37，473 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１２

四国横断自動車道阿南四万十線

（徳島県徳島市北沖洲から徳島県徳島市川内町富久まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県徳島市北沖洲　　から
徳島県徳島市川内町富久　　まで

（ロ） 延　　長　　4．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第1種第2級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
徳島県徳島市北沖洲 から 徳島県徳島市川内町富久 まで	100	4．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
徳島県徳島市北沖洲 から 徳島県徳島市川内町富久 まで	2 車線	4 車線	

用地買収については、現地条件等を勘案した上で、当面、暫定二車線施工に必要となる用地を取得するものとする。

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）			－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
四国横断自動車道 阿南四万十線	徳島県 徳島市北沖洲	平面接続	本線（新直轄）
県道徳島東インター線	徳島県 徳島市北沖洲	立体接続	徳島東インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

59，398 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　32 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

76，012 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　72，613 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道阿南四万十線
（徳島県徳島市川内町鈴江東から徳島県鳴門市大津町大代まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県徳島市川内町鈴江東　　から
徳島県鳴門市大津町大代　　まで

（ロ） 延　　長　　10．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
徳島県徳島市川内町鈴江東　から 徳島県鳴門市大津町大代　まで	100	10．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
徳島県徳島市川内町鈴江東 から 徳島県鳴門市大津町大代 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
四国縦貫自動車道	徳島県 徳島市川内町鈴江東	平面接続	本線
一般国道11号	徳島県 徳島市川内町沖島	立体接続	徳島インターチェンジ

（4） 工事予算

95，249 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

110，212 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　106，525 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（福岡県京都郡苅田町大字雨窪から福岡県行橋市大字下検地まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福岡県京都郡苅田町大字雨窪　　から
福岡県行橋市大字下検地　　まで

（ロ） 延　　長　　8．6　キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福岡県京都郡苅田町大字雨窪　から 福岡県行橋市大字下検地　まで	100	8．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
福岡県京都郡 苅田町大字雨窪　から 福岡県行橋市 大字下検地　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造物による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道　新北九州空港線	福岡県京都郡 苅田町大字雨窪	立体接続	苅田北九州空港インターチェンジ
一般国道201号	福岡県行橋市大字吉国	平面接続	行橋インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

41，212　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

42，985 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　42，482 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（福岡県行橋市大字下検地から福岡県京都郡みやこ町下原まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福岡県行橋市大字下検地　　から
福岡県京都郡みやこ町下原　　まで

（ロ） 延　　長　　7．4　キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福岡県行橋市大字下検地　から 福岡県京都郡みやこ町下原　まで	100	7．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
福岡県行橋市 大字下検地　から 福岡県京都郡 みやこ町下原　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造物による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道201号	福岡県行橋市大字吉国	立体接続	行橋インターチェンジ（仮称）
一般国道10号(椎田道路)	福岡県京都郡みやこ町下原	立体接続	豊津インターチェンジ（仮称）
一般国道10号(椎田道路)	福岡県京都郡みやこ町下原	平面接続	本線

（4） 工事予算

45，379　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

53，378 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　52，856 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（福岡県築上郡築上町大字上ノ河内から大分県宇佐市大字山本まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福岡県築上郡築上町大字上ノ河内　　から
大分県宇佐市大字山本　　まで

（ロ） 延　　長　　28．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内　から 大分県宇佐市大字山本　まで	100	28．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内　から 大分県宇佐市大字山本　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造物による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道10号（椎田道路）	福岡県築上郡築上町 大字上ノ河内	立体接続	椎田南インターチェンジ （仮称）
一般国道10号（椎田道路）	福岡県築上郡築上町 大字上ノ河内	平面接続	本線
県道　犀川豊前線	福岡県豊前市 大字久路土	立体接続	豊前インターチェンジ （仮称）
一般国道212号	大分県中津市 三光西秣	立体接続	中津三光インターチェンジ（仮称）
一般国道10号（宇佐別府道路）	大分県宇佐市 大字山本	立体接続	宇佐インターチェンジ
一般国道10号（宇佐別府道路）	大分県宇佐市 大字山本	平面接続	本線

（4） 工事予算

95，760 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

119，543 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　117，121 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（大分県津久見市大字下青江から大分県佐伯市大字上岡まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大分県津久見市大字下青江　　から
大分県佐伯市大字上岡　　まで

（ロ） 延　　長　　13．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大分県津久見市大字下青江 から 大分県佐伯市大字上岡 まで	100	13．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
大分県津久見市 大字下青江　から 大分県佐伯市 大字上岡　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造物による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	1．25×2	2．50	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　津久見インター線	大分県津久見市 大字上青江	立体接続	津久見インターチェンジ
県道　佐伯津久見線	大分県佐伯市大字上岡	平面接続	佐伯インターチェンジ
東九州自動車道	大分県佐伯市大字上岡	平面接続	本線（新直轄）

（4） 工事予算

64，767　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成年月日　　平成　20 年　 6 月　28 日（供用開始）
　　平成　22 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

52，130 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　52，130 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（宮崎県東臼杵郡門川町大字加草から宮崎県日向市大字財光寺まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮崎県東臼杵郡門川町大字加草　　から
宮崎県日向市大字財光寺　　まで

（ロ） 延　　長　　13．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
宮崎県東臼杵郡門川町大字加草　から 宮崎県日向市大字財光寺　まで	100	13．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
宮崎県東臼杵郡門川町 大字加草　から 宮崎県日向市 大字財光寺　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道10号（延岡南道路）	宮崎県東臼杵郡門川町大字加草	平面接続	門川インターチェンジ
一般国道327号	宮崎県日向市大字財光寺	平面接続	日向インターチェンジ

（4） 工事予算

34，917　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　12 月　 4 日　（供用開始）
　　平成　24 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

35，402 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　35，402 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（宮崎県日向市大字財光寺から宮崎県児湯郡都農町大字川北まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮崎県日向市大字財光寺　　から
宮崎県児湯郡都農町大字川北　　まで

（ロ） 延　　長　　20．0　キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
宮崎県日向市大字財光寺　から 宮崎県児湯郡都農町大字川北　まで	100	20．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
宮崎県日向市 大字財光寺　から 宮崎県児湯郡 都農町大字川北　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道327号	宮崎県日向市大字財光寺	平面接続	日向インターチェンジ
県道　都農インター線	宮崎県児湯郡都農町大字川北	立体接続	都農インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

76,197　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

86，696 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　85，187 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－２０

東九州自動車道

（宮崎県児湯郡都農町大字川北から宮崎県児湯郡高鍋町大字上江まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮崎県児湯郡都農町大字川北　　から
宮崎県児湯郡高鍋町大字上江　　まで

（ロ） 延　　長　　12. 9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
宮崎県児湯郡 都農町大字川北 から 宮崎県児湯郡 高鍋町大字上江 まで	100	12. 9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
宮崎県児湯郡 都農町大字川北　から 宮崎県児湯郡 高鍋町大字上江　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道　都農インター線	宮崎県児湯郡 都農町大字川北	平面接続	都農インターチェンジ（仮称）
県道　高鍋インター線	宮崎県児湯郡 高鍋町大字上江	立体接続	高鍋インターチェンジ

（4） 工事予算

28,174 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

22，848 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　22，395 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（宮崎県児湯郡高鍋町大字上江から宮崎県西都市大字岡富まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮崎県児湯郡高鍋町大字上江　　から
宮崎県西都市大字岡富　　まで

（ロ） 延　　長　　12．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
宮崎県児湯郡高鍋町大字上江 から 宮崎県西都市大字岡富 まで	100	12．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
宮崎県児湯郡 高鍋町大字上江　から 宮崎県西都市 大字岡富　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道　高鍋インター線	宮崎県児湯郡 高鍋町大字上江	平面接続	高鍋インターチェンジ
県道　西都インター線	宮崎県西都市大字岡富	立体接続	西都インターチェンジ

（4） 工事予算

31，854　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　 7 月　17 日　（供用開始）
　　平成　24 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，549 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，549 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（栗東東JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

滋賀県栗東市六地蔵

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （栗東水口道路）	滋賀県栗東市 六地蔵	立体接続	栗東東ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，200 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，179 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，117 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線

（滋賀県大津市一里山六丁目から滋賀県大津市大江八丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　滋賀県大津市一里山六丁目　　から
滋賀県大津市大江八丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　1．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
滋賀県大津市一里山六丁目 から 滋賀県大津市大江八丁目 まで	120	1．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル 、 3．75 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
滋賀県大津市 一里山六丁目　から 滋賀県大津市 大江八丁目　まで	8 車線	8 車線	付加車線

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	3．00×2	6．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道1号（京滋バイパス）	滋賀県大津市大江八丁目	立体接続	瀬田東ジャンクション
県道大津能登川長浜線	滋賀県大津市大江八丁目	立体接続	瀬田東インターチェンジ

（4） 工事予算

1，862 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　昭和　62　年　3　月　24　日
②工事の完成年月日　　平成　21　年　3　月　20　日　（供用開始）
　　平成　22　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，324 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，324 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（瀬田東JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

滋賀県大津市大江八丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （京滋バイパス）	滋賀県大津市 大江八丁目	立体接続	瀬田東ジャンクション
県道大津能登川長浜線	滋賀県大津市 大江八丁目	立体接続	瀬田東インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

9，858 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　62 年　3 月　24 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

11，498 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，990 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（京都南JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

京都府京都市伏見区竹田田中殿町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道高速道路2号線	京都府京都市伏見区 竹田田中殿町	立体接続	京都南ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，100 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　23 年　4 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，433 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，377 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（大山崎JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

京都府乙訓郡大山崎町字円明寺

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道171号	京都府乙訓郡大山崎町 字円明寺	立体接続	大山崎インターチェンジ
一般国道478号 （京都縦貫自動車道）	京都府乙訓郡大山崎町 字円明寺	立体接続	大山崎ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

12，785 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　5 年　8 月　14 日
②工事の完成予定年月日　平成　25 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，385 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　14，311 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道天理吹田線（大和郡山JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

奈良県大和郡山市八条町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道24号 （京奈和自動車道）	奈良県大和郡山市 八条町	立体接続	大和郡山ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

23，840 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　18 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

26，153 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　25，516 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道天理吹田線（八尾PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

大阪府八尾市北久宝寺三丁目

別　紙　1

（3） 工事予算

5，503 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，381 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，259 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道天理吹田線（門真JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

大阪府門真市大字蓮島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （第二京阪道路）	大阪府門真市 大字蓮島	立体接続	門真ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

59，754 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	9 年	9 月	17 日	
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	3 月	20 日	（供用開始）
	平成	25 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

45，548 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　45，548 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道天理吹田線（守口JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

大阪府守口市大日町四丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
府道高速大阪守口線	大阪府守口市 大日町四丁目	立体接続	守口ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

14，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　20 年　2 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

17，100 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　16，780 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道天理吹田線

（大阪府摂津市三島一丁目から大阪府摂津市鶴野二丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府摂津市三島一丁目　　から
大阪府摂津市鶴野二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　1．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府摂津市三島一丁目 から 大阪府摂津市鶴野二丁目 まで	80	1．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
大阪府摂津市 三島一丁目　から 大阪府摂津市 鶴野二丁目　まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	0．75×2	1．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．00　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
1．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
ー	ー	ー	

（4） 工事予算

3，143 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　 6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，639 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，583 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線（甲南IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の箇所

滋賀県甲賀市甲南町新治

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道柑子塩野線	滋賀県甲賀市 甲南町新治	立体接続	甲南インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，002 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	16 年	6 月	29 日	
②工事の完成年月日	平成	21 年	3 月	20 日	（供用開始）
	平成	22 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，391 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，391 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線
（大阪府堺市深井畑山町から大阪府岸和田市積川町まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

大阪府堺市深井畑山町　から
大阪府岸和田市積川町　まで

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
堺泉北有料道路	大阪府堺市小阪	立体接続	堺ジャンクション
府道堺かつらぎ線	大阪府堺市小代	立体接続	堺インターチェンジ
府道岸和田牛滝山貝塚線	大阪府和泉市唐国町	立体接続	岸和田和泉インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

889 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	3 年	10 月	31 日	
②工事の完成年月日	平成	18 年	2 月	8 日	（供用開始）
	平成	18 年	9 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

989 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　989 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線（和歌山JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の箇所

和歌山県和歌山市上黒谷

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道24号 （紀北西道路）	和歌山県和歌山市 上黒谷	立体接続	和歌山ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

10，092 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

12，677 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　12，138 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線
（和歌山県海南市藤白から和歌山県有田郡有田川町天満まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県海南市藤白　　から
和歌山県有田郡有田川町天満　　まで

（ロ） 延　　長　　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
和歌山県海南市藤白 から 和歌山県有田郡有田川町天満 まで	80	9．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
和歌山県海南市 藤白　から 和歌山県有田郡 有田川町天満　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道42号	和歌山県海南市藤白	立体接続	海南インターチェンジ
県道興加茂郷停車場線	和歌山県海南市下津町橘本	立体接続	下津インターチェンジ
一般国道42号及び県道吉備金屋線	和歌山県有田郡有田川町天満	立体接続	有田インターチェンジ
一般国道42号（湯浅御坊道路）	和歌山県有田郡有田川町天満	平面接続	本線

（4） 工事予算

48，177 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　 1　月　 8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　22　年　7　月　7　日（供用開始）
　　平成　24　年　 3　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

50，463 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　50，463 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線
（和歌山県海南市藤白から和歌山県有田郡有田川町天満まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県海南市藤白　　から
和歌山県有田郡有田川町天満　　まで

（ロ） 延　　長　　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
和歌山県海南市藤白 から 和歌山県有田郡有田川町天満 まで	80	9．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
和歌山県海南市 藤白　から 和歌山県有田郡 有田川町天満　まで	4 車線	4 車線	4車線化に伴う Ⅰ期線改修

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道42号	和歌山県海南市藤白	立体接続	海南インターチェンジ
県道興加茂郷停車場線	和歌山県海南市下津町橋本	立体接続	下津インターチェンジ
一般国道42号及び県道吉備金屋線	和歌山県有田郡有田川町天満	立体接続	有田インターチェンジ
一般国道42号（湯浅御坊道路）	和歌山県有田郡有田川町天満	平面接続	本線

（4） 工事予算

7，709 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　 1　月　 8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　23　年　8　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，192 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　9，154 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線（南紀田辺IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の箇所

和歌山県田辺市稲成町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道42号 （田辺西バイパス）	和歌山県田辺市 稲成町	立体接続	南紀田辺インターチェンジ
近畿自動車道 松原那智勝浦線	和歌山県田辺市 稲成町	平面接続	本線（新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，772 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，150 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，056 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線
（和歌山県田辺市中芳養から和歌山県田辺市芳養町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県田辺市中芳養　　から
和歌山県田辺市芳養町　　まで

（ロ） 延　　長　　1．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
和歌山県田辺市中芳養 から 和歌山県田辺市芳養町 まで	80	1．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
和歌山県田辺市 中芳養　から 和歌山県田辺市 芳養町　まで	2 車線	―	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	―	―	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （中小橋）	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分 （長大橋）	―	―	1．25	1．00	2．25	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

900 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　 1　月　20　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　 3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，310 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，264 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線（春日JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の箇所

兵庫県丹波市春日町棚原

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道483号 （春日和田山道路）	兵庫県丹波市 春日町棚原	立体接続	春日ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

600 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

836 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　805 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線

（京都府福知山市長田野町三丁目から京都府綾部市有岡町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府福知山市長田野町三丁目　から
京都府綾部市有岡町　まで

（ロ） 延　長　10．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
京都府福知山市長田野町三丁目 から 京都府綾部市有岡町 まで	80	10．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府福知山市 長田野町三丁目　から 京都府綾部市 有岡町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

6，695 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54　年　 3　月　18　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　 3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，176 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，823 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線

（京都府綾部市上杉町から京都府舞鶴市字堀まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府綾部市上杉町　から
京都府舞鶴市字堀　まで

（ロ） 延　長　4．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
京都府綾部市上杉町 から 京都府舞鶴市字堀 まで	80	4．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府綾部市 上杉町　から 京都府舞鶴市 字堀　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

11，181 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　54　年　 3　月　18　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　 3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，047 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，629 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線（小浜IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の箇所

福井県小浜市府中

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道小浜インター線	福井県小浜市 府中	立体接続	小浜インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，120 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，603 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，501 百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（佐用JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

兵庫県佐用郡佐用町口金近

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中国横断自動車道 姫路鳥取線	兵庫県佐用郡 佐用町口金近	立体接続	佐用ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

14，063 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	18 年	4 月	19 日	
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	3 月	28 日	（供用開始）
	平成	23 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，723 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　14，723 百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（三次JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

広島県三次市四拾貫町字白鳥

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中国横断自動車道 尾道松江線	広島県三次市四拾貫町	立体接続	三次ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，756 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，627　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　3，549　百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（美祢東JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

山口県美祢市美東町小野

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道490号	山口県美祢市 美東町小野	立体接続	美祢東ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

699 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	16 年	6 月	29 日	
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	3 月	20 日	（供用開始）
	平成	22 年	8 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

790 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　790 百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（小郡JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

山口県山口市小郡上郷

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道山口宇部線	山口県山口市小郡上郷	立体接続	小郡ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

900 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，548 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，502 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（瀬戸JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

岡山県岡山市東区瀬戸町塩納

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道佐伯長船線	岡山県岡山市東区 瀬戸町塩納	立体接続	瀬戸ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，272 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，221 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（尾道JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

広島県尾道市木ノ庄町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中国横断自動車道 尾道松江線	広島県尾道市 木ノ庄町	立体接続	尾道ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

14，230 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	18 年	4 月	19 日		
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	11 月	27 日	（供用開始）	
	平成	23 年	9 月	29 日	（残事業完成）	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

15，772 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　15，772 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（高屋JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

広島県東広島市高屋町溝口

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道375号	広島県東広島市 高屋町溝口	立体接続	高屋ジャンクション
一般国道375号	広島県東広島市 高屋町溝口	立体接続	高屋インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3，458 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	3 月	14 日	（供用開始）
	平成	22 年	9 月	29 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，032 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，032 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（広島東IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

広島県広島市東区福田三丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道広島中島線　及び 県道広島東インター線	広島県広島市 東区福田三丁目	立体接続	広島東インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

350 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成年月日	平成	18 年	10 月	16 日	（供用開始）
	平成	19 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

323 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　323 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（五日市JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

広島県広島市佐伯区五日市町大字石内

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道佐伯1区380号線	広島県広島市佐伯区 五日市町大字石内	平面接続	五日市ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

900 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　23 年　4 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，269 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，223 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（山口JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

山口県山口市黒川

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中国縦貫自動車道	山口県山口市 黒川	立体接続	山口ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

4，648 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	8 年	7 月	31 日		
②工事の完成年月日	平成	20 年	11 月	11 日	（供用開始）	
	平成	22 年	3 月	30 日	（残事業完成）	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，275 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，275 百万円）（消費税込み）

中国横断自動車道岡山米子線

（岡山県加賀郡吉備中央町岨谷から岡山県加賀郡吉備中央町西まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　岡山米子線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岡山県加賀郡吉備中央町岨谷　　から
岡山県加賀郡吉備中央町西　　まで

（ロ） 延　　長　　4．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
岡山県加賀郡吉備中央町岨谷 から 岡山県加賀郡吉備中央町西 まで	80	4．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
岡山県加賀郡 吉備中央町岨谷　から 岡山県加賀郡 吉備中央町西　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

３．００　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

6，338 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	11 月	26 日	（供用開始）
	平成	23 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

7，160 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　7，160 百万円）（消費税込み）

中国横断自動車道岡山米子線
（岡山県真庭市中原から岡山県真庭市樫西まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　岡山米子線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岡山県真庭市中原　　から
岡山県真庭市樫西　　まで

（ロ） 延　　長　　3．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
岡山県真庭市中原 から 岡山県真庭市樫西 まで	80	3．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
岡山県真庭市 中原　から 岡山県真庭市 樫西　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

３．００　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

7，422 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，008 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，998 百万円）（消費税込み）

中国横断自動車道尾道松江線（三刀屋木次IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　尾道松江線

（2） 工事の箇所

島根県雲南市三刀屋町三刀屋

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道三刀屋インター線	島根県雲南市 三刀屋町下熊谷	立体接続	三刀屋木次インターチェンジ
中国横断自動車道 尾道松江線	島根県雲南市 三刀屋町三刀屋	平面接続	本線（新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

885 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

866 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　864 百万円）（消費税込み）

中国横断自動車道尾道松江線（加茂岩倉ＰＡ）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　尾道松江線

（2） 工事の箇所

島根県雲南市加茂町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，000 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　25 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，378 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，365 百万円）（消費税込み）

中国横断自動車道尾道松江線（宍道IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　尾道松江線

（2） 工事の箇所

島根県松江市宍道町佐々布

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道宍道インター線	島根県松江市 宍道町佐々布	立体接続	宍道インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

282 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	5 年	12 月	4 日		
②工事の完成年月日	平成	18 年	11 月	25 日	（供用開始）	
	平成	19 年	3 月	30 日	（残事業完成）	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

224 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　224 百万円）（消費税込み）

四国縦貫自動車道（松山IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

愛媛県松山市井門町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道33号	愛媛県松山市井門町	立体接続	松山インターチェンジ

（4） 工事予算

1，320 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，457 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，374 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道阿南四万十線（三豊鳥坂IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の箇所

香川県三豊市三野町

（3） 工事予算

8 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	16 年	6 月	29 日	
②工事の完成年月日	平成	18 年	3 月	24 日	（供用開始）
	平成	18 年	9 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

19 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　19 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道阿南四万十線
（愛媛県四国中央市新宮町馬立から高知県長岡郡大豊町川口まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　愛媛県四国中央市新宮町馬立　　から
高知県長岡郡大豊町川口　　まで

（ロ） 延　　長　　13. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
愛媛県四国中央市 新宮町馬立　から 高知県長岡郡 大豊町川口　まで	80	13. 7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
愛媛県四国中央市 新宮町馬立　から 高知県長岡郡 大豊町川口　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

42，838 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成年月日	平成	20 年	7 月	31 日	（供用開始）
	平成	21 年	9 月	29 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

18，984 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　18，984 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道阿南四万十線

（高知県南国市岡豊町蒲原から高知県高知市一宮まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　高知県南国市岡豊町蒲原　　から
高知県高知市一宮　　まで

（ロ） 延　　長　　2. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
高知県南国市岡豊町蒲原　から 高知県高知市一宮　まで	80	2. 3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
高知県南国市岡豊町蒲原 から 高知県高知市一宮 まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．25	1．00	2．25	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

5，484 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成年月日　　平成　20 年　 7 月　31 日　（供用開始）
　　平成　21 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

5，768 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　5，768 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道阿南四万十線（高知IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の箇所

高知県高知市一宮

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道55号	高知県高知市一宮	立体接続	高知インターチェンジ

（4） 工事予算

270 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　6 年　1 月　26 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

603 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　589 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道阿南四万十線（高知県須崎市吾井郷）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の箇所

高知県須崎市吾井郷

（3） 工事予算

787 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	16 年	6 月	29 日	
②工事の完成年月日	平成	19 年	7 月	31 日	（供用開始）
	平成	20 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

944 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　944 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道愛南大洲線（西予宇和IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　愛南大洲線

（2） 工事の箇所

愛媛県西予市宇和町稲生

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
四国横断自動車道 愛南大洲線	愛媛県西予市宇和町稲生	平面接続	本線（新直轄）
県道宇和野村線	愛媛県西予市宇和町稲生	立体接続	西予宇和インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

200 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

500 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　499 百万円）（消費税込み）

九州縦貫自動車道鹿児島線（鞍手IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道　鹿児島線

（2） 工事の箇所

福岡県鞍手郡鞍手町大字中山

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　直方鞍手線	福岡県鞍手郡 鞍手町大字中山	立体接続	鞍手インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，159　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	16 年	6 月	29 日	
②工事の完成予定年月日	平成	23 年	2 月	19 日	（供用開始）
	平成	23 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，421 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，421 百万円）　（消費税込み）

九州縦貫自動車道鹿児島線（みやま柳川IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道　鹿児島線

（2） 工事の箇所

福岡県みやま市瀬高町大字本吉

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　本吉小川線	福岡県みやま市 瀬高町大字本吉	立体接続	みやま柳川インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，369　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	16 年	6 月	29 日	
②工事の完成年月日	平成	21 年	3 月	29 日	（供用開始）
	平成	22 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，526 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，526 百万円）　（消費税込み）

九州縦貫自動車道鹿児島線（嘉島JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道　鹿児島線

（2） 工事の箇所

熊本県上益城郡嘉島町大字井寺

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
九州横断自動車道　延岡線	熊本県上益城郡 嘉島町大字井寺	立体接続	嘉島ジャンクション（仮称）
九州横断自動車道　延岡線	熊本県上益城郡 益城町大字小池	平面接続	本線（新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

6，938　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　26 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，049 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　7，969 百万円）　（消費税込み）

九州縦貫自動車道宮崎線（清武JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道　宮崎線

（2） 工事の箇所

宮崎県宮崎市清武町大字今泉

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東九州自動車道	宮崎県宮崎市 清武町大字今泉	立体接続	清武ジャンクション
東九州自動車道	宮崎県宮崎市 清武町大字今泉	平面接続	本線（新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

4，942　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　26 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，051 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　5，840 百万円）　（消費税込み）

九州横断自動車道長崎大分線（多久IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

佐賀県多久市北多久町大字多久原

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道203号	佐賀県多久市 北多久町大字多久原	立体接続	多久インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

582　　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　48 年　9 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

898 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　868 百万円）　（消費税込み）

九州横断自動車道長崎大分線（大分米良IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

大分県大分市大字片島

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道10号	大分県大分市大字片島	立体接続	大分米良インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

755　　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　2 年　5 月　15 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，241 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，202 百万円）　（消費税込み）

九州横断自動車道長崎大分線（大分光吉IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

大分県大分市大字光吉

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　下世利寒田線	大分県大分市大字光吉	立体接続	大分光吉インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，029　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日	平成	16 年	6 月	29 日	
②工事の完成年月日	平成	20 年	8 月	11 日	（供用開始）
	平成	21 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，121 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，121 百万円）　（消費税込み）

東九州自動車道

（福岡県北九州市小倉南区大字堀越から福岡県京都郡苅田町大字雨窪まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

福岡県北九州市小倉南区大字堀越　　から
福岡県京都郡苅田町大字雨窪　　まで

（3） 工事予算

338 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成年月日　　平成　19 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

420 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　420 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道（佐伯IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の箇所

大分県佐伯市大字上岡

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　佐伯津久見線	大分県佐伯市大字上岡	立体接続	佐伯インターチェンジ
東九州自動車道	大分県佐伯市大字上岡	平面接続	本線（新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，105　百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　10 年　1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　平成　29 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，597 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，541 百万円）　（消費税込み）

東九州自動車道（弥生PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の箇所

大分県佐伯市弥生大字床木

（3） 工事予算

1，417　百万円　（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，780 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，708 百万円）　（消費税込み）

東九州自動車道（末吉財部IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の箇所

鹿児島県曽於市末吉町深川

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道10号	鹿児島県曽於市 末吉町深川	立体接続	末吉財部インターチェンジ
東九州自動車道	鹿児島県曽於市 末吉町深川	平面接続	本線（新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

373 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	5 年	12 月	4 日		
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	3 月	14 日	（供用開始）	
	平成	22 年	9 月	29 日	（残事業完成）	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

453 百万円　（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　453 百万円）　（消費税込み）

一般国道１号（第二京阪道路）

（京都府京都市伏見区向島大黒から京都府久世郡久御山町東一口字大島先まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号

（有料道路名 ： 第二京阪道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府京都市伏見区向島大黒　から
京都府久世郡久御山町東一口字大島先　まで

（ロ） 延　長　０．９ キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）
第 2 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
京都府京都市伏見区 向島大黒　から 京都府京都市伏見区 向島黒坊　まで	60	0．5	
京都府京都市伏見区 向島黒坊　から 京都府久世郡 久御山町東一口字大島先　まで	80	0．4	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員

設 計 区 間	車線の幅員 （メートル）	摘　要
京都府京都市伏見区 向島大黒　から 京都府京都市伏見区 向島黒坊　まで	3．25	
京都府京都市伏見区 向島黒坊　から 京都府久世郡 久御山町東一口字大島先　まで	3．50	

別　紙　1

（へ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
京都府京都市伏見区 向島大黒　から 京都府久世郡 久御山町東一口字大島先　まで	4 車線	－	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（リ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間	土工部 （メートル）	橋梁部 （メートル）	摘　要
京都府京都市伏見区 向島大黒　から 京都府京都市伏見区 向島黒坊　まで	－	2．00	
京都府京都市伏見区 向島黒坊　から 京都府久世郡 久御山町東一口字大島先　まで	－	3．00	

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
京都市道高速道路2号線	京都府京都市伏見区 向島大黒	平面接続	本線

別　紙　1

（4） 工事予算

1，398 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日

イ 京都府久世郡久御山町東一口字大島先から京都府久世郡久御山町東一口大島先
平成19年12月3日

ロ 京都府久世郡久御山町東一口字大島先から京都府京都市伏見区向島黒坊
平成19年5月1日

ハ 京都府京都市伏見区向島黒坊から京都府京都市伏見区向島大黒
平成19年10月1日

②工事の完成年月日　　平成 20 年 1 月 19 日 （供用開始）
平成 20 年 9 月 29 日 （残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，619 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，619 百万円）（消費税込み）

一般国道1号（第二京阪道路）
（京都府京田辺市松井栂谷から大阪府門真市大字蕪島まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号

（有料道路名 ： 第二京阪道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府京田辺市松井栂谷　から
大阪府門真市大字蒔島　まで

（ロ） 延　長　19．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時）	延　長 （ｷﾛﾒｰﾄﾙ）	摘　要
京都府京田辺市 松井栂谷　から 大阪府門真市 大字蕪島　まで	80	19．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
京都府京田辺市 松井栂谷　から 大阪府枚方市 長尾台四丁目　まで	6 車線	6 車線	6車線化
大阪府枚方市 長尾台四丁目　から 大阪府門真市 大字蕪島　まで	6 車線	6 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

2．25　メートル　（橋梁部）
3．00　メートル　（土工部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号	京都府京田辺市松井	立体接続	京田辺松井インターチェンジ
一般国道1号	大阪府枚方市長尾台三丁目	立体接続	枚方東インターチェンジ
一般国道1号	大阪府枚方市大字津田	立体接続	枚方学研インターチェンジ
一般国道1号	大阪府交野市倉治一丁目	立体接続	交野北インターチェンジ
一般国道1号	大阪府枚方市茄子作南町	立体接続	交野南インターチェンジ
一般国道1号	大阪府寝屋川市大字寝屋	立体接続	寝屋川北インターチェンジ
一般国道1号	大阪府寝屋川市讃良西町	立体接続	寝屋川南インターチェンジ
一般国道1号	大阪府門真市大字三ツ島	立体接続	第二京阪門真インターチェンジ
近畿自動車道天理吹田線	大阪府門真市大字蒲島	立体接続	門真ジャンクション

（4） 工事予算

255，876 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　京都府京田辺市松井から大阪府枚方市長尾台四丁目まで
　　平成15年　3月　4日

ロ　京都府京田辺市松井から京都府京田辺市松井まで
　　平成13年11月12日

ハ　大阪府枚方市長尾台四丁目から大阪府枚方市長尾台三丁目まで
　　平成20年11月13日

ニ　大阪府枚方市長尾台三丁目から大阪府枚方市津田東町三丁目まで
　　平成19年　1月23日

ホ　大阪府枚方市津田東町三丁目から大阪府枚方市津田まで
　　平成 4年11月25日

ヘ　大阪府枚方市津田から大阪府交野市青山三丁目まで
　　平成21年11月27日

ト　大阪府交野市青山三丁目から大阪府交野市私部西三丁目まで
　　平成 4年11月25日

別　紙　1

チ　大阪府交野市私部西三丁目から大阪府交野市私部西五丁目まで
　　平成20年　9月22日

リ　大阪府交野市私部西五丁目から大阪府寝屋川市寝屋南二丁目まで
　　平成21年　3月25日

ヌ　大阪府寝屋川市寝屋南二丁目から大阪府寝屋川市寝屋南一丁目まで
　　平成21年　7月　3日

ル　大阪府寝屋川市寝屋南一丁目から大阪府寝屋川市高宮二丁目まで
　　平成21年12月21日

ヲ　大阪府寝屋川市高宮二丁目から大阪府四条畷市砂まで
　　平成21年　7月　3日

ワ　大阪府四条畷市砂から大阪府門真市北巣本まで
　　平成21年　3月25日

カ　大阪府門真市北巣本から大阪府門真市上馬伏まで
　　平成21年12月21日

ヨ　大阪府門真市上馬伏から大阪府門真市大字北島まで
　　平成20年11月13日

タ　大阪府門真市大字北島から大阪府門真市大字蒔島まで
　　平成 4年11月25日

・ なお、合併施行方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、
会社が公共事業者から事業引継ぎを受けた年月日をいう。

②工事の完成（予定）年月日

イ　京都府京田辺市松井栂谷から大阪府枚方市長尾台四丁目まで
平成15年　3月30日

ロ　京都府京田辺市松井栂谷から大阪府門真市大字稗島まで
平成22年　3月20日（供用開始）
平成25年　3月30日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

104，842 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　104，842 百万円）（消費税込み）

一般国道４７８号（京都縦貫自動車道）

（京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道478号

（有料道路名 ： 京都縦貫自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　京都府京都市西京区大枝沓掛町　から
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺　まで

（ロ） 延　長　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
京都府京都市西京区 大枝沓掛町　から 京都府乙訓郡 大山崎町字円明寺　まで	80	9．8	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
京都府京都市西京区 大枝沓掛町　から 京都府乙訓郡 大山崎町字円明寺　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道9号	京都府京都市西京区 大枝沓掛町	立体接続	沓掛インターチェンジ
都市計画道路沓掛上羽線	京都府京都市西京区 大枝西長町	立体接続	春日インターチェンジ（仮称）
都市計画道路石見納所線	京都府長岡京市 下海印寺岸ノ下	立体接続	長岡京インターチェンジ（仮称）
一般国道171号	京都府乙訓郡 大山崎町字円明寺	立体接続	大山崎インターチェンジ・ジャンクション
中央自動車道西宮線	京都府乙訓郡 大山崎町字円明寺	立体接続	大山崎インターチェンジ・ジャンクション
中央自動車道西宮線	京都府乙訓郡 大山崎町字円明寺	平面接続	本線

（4） 工事予算

54，469 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府京都市西京区大枝沓掛町まで
平成　21年　3月18日

ロ　京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府京都市西京区大枝西長町まで
平成　22年　3月31日

ハ　京都府京都市西京区大枝西長町から京都府京都市西京区大原野石作町まで
平成　24年　4月　1日

ニ　京都府京都市西京区大原野石作町から京都府長岡京市下海印寺岸ノ下まで
平成　22年　8月23日

ホ　京都府長岡京市下海印寺西条から京都府長岡京市下海印寺菩提寺まで
平成　21年11月18日

ヘ　京都府長岡京市下海印寺岸ノ下から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで
平成　24年　4月　1日

ト　京都府乙訓郡大山崎町字円明寺から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで
平成　13年　6月　7日

・ なお、合併施行方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成（予定）年月日

イ　京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで
平成　25年　3月　31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

57，621 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　56，849 百万円）（消費税込み）

一般国道４９７号（西九州自動車道（佐世保道路））

（長崎県佐世保市矢岳町から長崎県佐世保市干尽町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道497号

（有料道路名 ： 西九州自動車道（佐世保道路））

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長崎県佐世保市矢岳町　　から
長崎県佐世保市干尽町　　まで

（ロ） 延　　長　　2．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長崎県佐世保市 矢岳町　から 長崎県佐世保市 干尽町　まで	80	2．9	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
長崎県佐世保市 矢岳町　から 長崎県佐世保市 干尽町　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．２５ × ２	２．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道497号 （佐々佐世保道路）	長崎県佐世保市 矢岳町	平面接続	本線
主要地方道佐世保港線	長崎県佐世保市 矢岳町及び同市平瀬町	立体接続	佐世保中央インターチェンジ

（4） 工事予算

383 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　長崎県佐世保市平瀬町13番地から
長崎県佐世保市島地町43番地まで

長崎県佐世保市新港町233番地から
長崎県佐世保市新港町231番地まで

長崎県佐世保市千尽町1番地から
長崎県佐世保市千尽町まで

別　紙　1

平成　21　年　8　月　3　日

長崎県佐世保市矢岳町から
長崎県佐世保市干尽町まで

平成　22　年　1　月　4　日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成（予定）年月日　平成　22 年　3 月　20 日　（供用開始）
平成　23 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

497 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　497 百万円）（消費税込み）

一般国道1号（第二京阪道路）（京田辺PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号

（有料道路名 ： 第二京阪道路）

（2） 工事の箇所

京都府京田辺市山手中央

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

別　紙　1

（4） 工事予算

6，400 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　15 年　3 月　4 日
②工事の完成予定年月日　平成　22 年　3 月　20 日（供用開始）
平成　23 年　3 月　30 日（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，234 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　6，234 百万円）（消費税込み）

一般国道４７８号（京都縦貫自動車道）（篠IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道478号

（有料道路名 ： 京都縦貫自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　　京都府亀岡市篠町篠

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道向谷線 及び市道篠ランプ9号線	京都府亀岡市 篠町篠	立体接続	篠インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

530 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　13 年　 6 月　 7 日
②工事の完成予定年月日　平成　25 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

650 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　641 百万円）（消費税込み）

一般国道４９７号（西九州自動車道（佐世保道路））（佐世保大塔IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道497号

（有料道路名 ： 西九州自動車道（佐世保道路））

（2） 工事の箇所

長崎県佐世保市大塔町

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業　施行方式

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道205号	長崎県佐世保市大塔町	立体接続	佐世保大塔インターチェンジ
一般国道497号（武雄佐世保道路）	長崎県佐世保市大塔町	平面接続	佐世保大塔インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，334 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	18 年	4 月	19 日		
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	3 月	12 日	（供用開始）	
	平成	22 年	8 月	30 日	（残事業完成）	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，493　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　1，493 百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（大佐スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

岡山県新見市大佐田治部

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道サービスエリア2号線及び 市道サービスエリア1号線	岡山県新見市 大佐田治部	立体接続	大佐SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

中国縦貫自動車道（加計スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

広島県山県郡安芸太田町大字津浪

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道イロハ線及び 町道津浪巡回線	広島県山県郡 安芸太田町大字津浪	立体接続	加計BS

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

四国縦貫自動車道（吉野川スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

徳島県三好郡東みよし町足代

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道美濃田淵線	徳島県三好郡 東みよし町足代	立体接続	吉野川SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

九州縦貫自動車道鹿児島線（須恵スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道　鹿児島線

（2） 工事の箇所

福岡県糟屋郡須恵町大字旅石

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道一の浦橋本線及び 町道旅石乙植木線	福岡県糟屋郡須恵町 大字旅石	立体接続	須恵PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 9 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　18 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

近畿自動車道松原那智勝浦線（和歌山北IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の箇所

和歌山県和歌山市直川

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道直川49号線（ONランプ） 市道直川50号線（OFFランプ）	和歌山県和歌山市 直川	立体接続	和歌山北インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

564 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	19 年	4 月	1 日	
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	3 月	14 日	（供用開始）
	平成	22 年	9 月	29 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

721 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　721 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道 吹田山口線（吉備スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

（2） 工事の箇所

岡山県岡山市今岡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道辛川市場佐山線 及び市道今岡30号線	岡山県岡山市今岡	立体接続	吉備SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

中国横断自動車道 広島浜田線（金城スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道 広島浜田線

（2） 工事の箇所

島根県浜田市金城町今福

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道側道今福上り線 及び市道側道今福下り線	島根県浜田市 金城町今福	立体接続	金城PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

沖縄自動車道（喜舎場スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

沖縄自動車道

（2） 工事の箇所

沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
村道安谷屋・喜舎場129号線	沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場	立体接続	喜舎場BS

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　19 年　3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　19 年　3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

西日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

61，482 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

61，943 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受 限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 （予定）年月日	工事の完成 予定年月日				
中央自動車道 西宮線	滋賀県東近江市木村町から滋賀県東近江市横山町まで	県道土山蒲生近江八幡線	滋賀県東近江市木村町	立体接続	平成21年9月18日	平成26年3月31日	1,903百万円	2,206百万円	―	本線 直結型
近畿自動車道 天理吹田線	奈良県生駒郡安堵町大字岡崎から奈良県大和郡山市池沢町まで	県道天理斑鳩線及び県道大和郡山広陵線	奈良県大和郡山市椎木町及び奈良県生駒郡安堵町大字岡崎及び奈良県大和郡山市池沢町	立体接続	平成21年9月18日	平成26年3月31日	2,346百万円	2,670百万円	―	本線 直結型
中国縦貫自動車道	兵庫県姫路市夢前町	市道置塩134号線	兵庫県姫路市夢前町	立体接続	平成21年9月18日	平成27年9月30日	2,531百万円	3,131百万円	―	本線 直結型
中国横断自動車道 岡山米子線	鳥取県西伯郡伯耆町大字久古から鳥取県西伯郡伯耆町大字岸本まで	町道岸本福原線	鳥取県西伯郡伯耆町大字久古及び鳥取県西伯郡伯耆町大字岸本	立体接続	平成21年9月18日	平成23年6月30日	305百万円	376百万円	―	大山 PA
九州縦貫自動車道 鹿児島線	福岡県宮若市下有木	主要地方道室木下有木若宮線及び市道壱町田・大谷線	福岡県宮若市下有木	立体接続	平成21年9月18日	平成23年3月26日 （供用開始） 平成23年6月30日 （残事業完成）	957百万円	1,135百万円	―	本線 直結型
九州縦貫自動車道 鹿児島線	熊本県八代郡氷川町高塚	町道吉本本山線	熊本県八代郡氷川町高塚	立体接続	平成21年9月18日	平成26年3月31日	1,962百万円	2,390百万円	―	本線 直結型
九州縦貫自動車道 鹿児島線	熊本県熊本市植木町小野から熊本県熊本市改寄町	市道鶴羽田改寄町第1号線及び市道植木町広住線	熊本県植木町石川及び熊本県熊本市改寄町	立体接続	平成23年4月1日	平成28年3月31日	1,466百万円	1,956百万円	―	本線 直結型

山陽自動車道　吹田山口線（宮島スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

広島県廿日市市上平良

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道山陽道側道6号線 及び市道山陽道側道8号線	広島県廿日市市 上平良	立体接続	宮島SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

四国横断自動車道　阿南四万十線（府中湖スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の箇所

香川県坂出市府中町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道川西北側道線 及び市道川西南側道線	香川県坂出市 府中町	立体接続	府中湖PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

四国横断自動車道　阿南四万十線（土佐ＰＡスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の箇所

高知県土佐市東鴨地

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道森康市ノ上側道線 及び市道カル石ヶ谷マ子側道線	高知県土佐市東鴨地	立体接続	土佐PA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　12 月　14 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　12 月　18 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

九州横断自動車道　長崎大分線（別府湾スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

大分県別府市大字内竈

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道八石荷戸2号線	大分県別府市 大字内竈	立体接続	別府湾SA

（4） 工事予算

―

（5） 工事の着手及び完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 3 月　26 日

②工事の完成年月日　　平成　21 年　 3 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―

一般国道４８１号（関西国際空港連絡橋）

（大阪府泉佐野市泉州空港北から大阪府泉佐野市りんくう往来北まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道481号 （有料道路名:関西国際空港連絡橋）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府泉佐野市泉州空港北　　から
大阪府泉佐野市りんくう往来北　　まで

（ロ） 延　　長　　4．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　公共事業・有料道路事業　合併施行方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府泉佐野市 泉州空港北 から 大阪府泉佐野市 りんくう往来北 まで	80	4．6	

別　紙　1

（ニ） 設計自動車荷重　TL－20及びTT－43

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大阪府泉佐野市 泉州空港北　から 大阪府泉佐野市 りんくう往来北　まで	6 車線	6 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	2．75	0．50	3．25	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道481号	大阪府泉佐野市 りんくう往来北	立体接続	りんくうインターチェンジ
大阪府道大阪臨海線	大阪府泉佐野市 りんくう往来北	立体接続	りんくうインターチェンジ
関西国際空港線	大阪府泉佐野市 りんくう往来北	平面接続	本線
大阪府道高速湾岸線 （阪神高速4号湾岸線）	大阪府泉佐野市 りんくう往来北	平面接続	本線

（4） 工事予算

38，448 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 4 月　22 日
②工事の完成年月日　　平成　21 年　 4 月　28 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

38，498 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　ー 百万円）（消費税込み）

一般国道４８１号（関西国際空港連絡橋）

（大阪府泉佐野市泉州空港北から大阪府泉佐野市りんくう往来北まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道481号 （有料道路名:関西国際空港連絡橋）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府泉佐野市泉州空港北　　から
大阪府泉佐野市りんくう往来北　　まで

（ロ） 延　　長　　4. 6 キロメートル

（3） 工事予算

930 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　5 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　7 月　29 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

977 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　977 百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（勝央JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

岡山県美作市上相

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道374号	岡山県美作市上相	立体接続	勝央ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

726 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　23 年　4 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

874 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　852 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線
（和歌山県御坊市野口から和歌山県田辺市稲成町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

本別紙に係る工事については、当該区間の整備に必要な予算の見直しが決定されたことに伴い、工事を一旦停止している。

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県御坊市野口　　から
和歌山県田辺市稲成町　　まで

（ロ） 延　　長　　26. 9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
和歌山県御坊市野口 から 和歌山県田辺市稲成町 まで	80	26. 9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
和歌山県御坊市 野口　から 和歌山県田辺市 稲成町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

75，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　21　年　9　月　5　日
②工事の完成予定年月日　　―

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

――

本別紙に係る工事については、一旦停止しているため、改めて工事を再開することとなった際に債務引受限度額を記載する予定である。

四国横断自動車道阿南四万十線
（徳島県鳴門市撫養町木津から香川県高松市前田東町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

本別紙に係る工事については、当該区間の整備に必要な予算の見直しが決定されたことに伴い、工事を一旦停止している。

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県鳴門市撫養町木津　　から
香川県高松市前田東町　　まで

（ロ） 延　　長　　51．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

設 計 区 間	道路の区分	摘　要
徳島県鳴門市撫養町木津　から 香川県さぬき市津田町鶴羽　まで	第1種第2級	道路構造令
香川県さぬき市津田町鶴羽　から 香川県高松市前田東町　まで	第1種第3級	道路構造令

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
徳島県鳴門市撫養町木津　から 香川県さぬき市津田町鶴羽　まで	100	36．2	
香川県さぬき市津田町鶴羽　から 香川県高松市前田東町　まで	80	15．6	

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
徳島県鳴門市撫養町木津　から 香川県高松市前田東町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設計区間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左　側	計	左　側	右　側	計	
徳島県鳴門市撫養町木津 から 香川県さぬき市津田町鶴羽 まで	土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．25	3．75	
	トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
	橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
	橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	
香川県さぬき市津田町鶴羽 から 香川県高松市前田東町 まで	土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．00	3．50	
	トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
	橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
	橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間	幅　員	摘　要
徳島県鳴門市撫養町木津　から 香川県さぬき市津田町鶴羽　まで	4．50メートル（土工部） 4．50メートル（橋梁部）	
香川県さぬき市津田町鶴羽　から 香川県高松市前田東町　まで	3．00メートル（土工部） 3．00メートル（橋梁部）	

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

68，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　21 年　 9 月　 5 日
②工事の完成予定年月日　　―

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

――

本別紙に係る工事については、一旦停止しているため、改めて工事を再開することとなった際に債務引受限度額を記載する予定である。

九州横断自動車道長崎大分線

（長崎県長崎市早坂町から長崎県長崎市中里町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

本別紙に係る工事については、当該区間の整備に必要な予算の見直しが決定されたことに伴い、工事を一旦停止している。

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長崎県長崎市早坂町　から
長崎県長崎市中里町　まで

（ロ） 延　　長　　11．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
長崎県長崎市早坂町 から 長崎県長崎市中里町 まで	80	11．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
長崎県長崎市 早坂町　から 長崎県長崎市 中里町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造物による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	—	—	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	—	—	1．75	1．00	2．75	

（ト） 付加車線の標準幅員　　―

（チ） 中央帯の標準幅員

2．00 メートル　（土工部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

40，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　21 年　 9 月　 5 日
②工事の完成予定年月日　　―

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

――

本別紙に係る工事については、一旦停止しているため、改めて工事を再開することとなった際に債務引受限度額を記載する予定である。

別紙１－Ｗ－１０２

山陽自動車道宇部下関線（山口県宇部市）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道宇部下関線

（2） 工事の箇所

山口県宇部市善和

（3） 工事予算

610 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　23 年　4 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

649 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　627 百万円）（消費税込み）

別紙３－１から３－３までを次のとおり改める。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	24,213百万円
Ｈ１９	25,071百万円
Ｈ２０	24,580百万円
Ｈ２１	37,064百万円
Ｈ２２	55,197百万円
Ｈ２３	37,081百万円
Ｈ２４	41,066百万円
Ｈ２５	47,549百万円
Ｈ２６	47,465百万円
Ｈ２７	49,468百万円
Ｈ２８	54,558百万円
Ｈ２９	47,022百万円
Ｈ３０	47,164百万円
Ｈ３１	47,842百万円
Ｈ３２	48,378百万円
Ｈ３３	48,918百万円
Ｈ３４	49,206百万円
Ｈ３５	49,375百万円
Ｈ３６	50,035百万円
Ｈ３７	50,610百万円
Ｈ３８	49,869百万円
Ｈ３９	50,058百万円
Ｈ４０	50,239百万円
Ｈ４１	50,840百万円
Ｈ４２	51,511百万円
Ｈ４３	51,085百万円
Ｈ４４	51,270百万円
Ｈ４５	50,337百万円
Ｈ４６	50,282百万円
Ｈ４７	50,154百万円
Ｈ４８	50,633百万円
Ｈ４９	50,844百万円
Ｈ５０	50,074百万円
Ｈ５１	49,944百万円
Ｈ５２	49,946百万円
Ｈ５３	49,924百万円
Ｈ５４	50,249百万円
Ｈ５５	50,196百万円
Ｈ５６	49,508百万円
Ｈ５７	48,941百万円
Ｈ５８	48,844百万円
Ｈ５９	48,715百万円
Ｈ６０	48,701百万円
Ｈ６１	48,569百万円
Ｈ６２	20,174百万円

（注1）平成１８年度から平成２１年度までは実績値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙３－２

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	14,696百万円
Ｈ１９	24,995百万円
Ｈ２０	27,416百万円
Ｈ２１	32,076百万円
Ｈ２２	21,857百万円
Ｈ２３	28,753百万円
Ｈ２４	33,678百万円
Ｈ２５	33,731百万円
Ｈ２６	33,746百万円
Ｈ２７	32,674百万円
Ｈ２８	33,254百万円
Ｈ２９	33,559百万円
Ｈ３０	33,952百万円
Ｈ３１	34,254百万円
Ｈ３２	34,478百万円
Ｈ３３	36,591百万円
Ｈ３４	37,103百万円
Ｈ３５	37,420百万円
Ｈ３６	38,002百万円
Ｈ３７	38,225百万円
Ｈ３８	38,069百万円
Ｈ３９	38,302百万円
Ｈ４０	38,486百万円
Ｈ４１	38,814百万円
Ｈ４２	39,621百万円
Ｈ４３	38,923百万円
Ｈ４４	39,913百万円
Ｈ４５	38,708百万円
Ｈ４６	38,784百万円
Ｈ４７	38,709百万円
Ｈ４８	38,784百万円
Ｈ４９	39,012百万円
Ｈ５０	38,669百万円
Ｈ５１	38,722百万円
Ｈ５２	38,744百万円
Ｈ５３	38,740百万円
Ｈ５４	38,764百万円
Ｈ５５	39,056百万円
Ｈ５６	38,598百万円
Ｈ５７	38,497百万円
Ｈ５８	38,515百万円
Ｈ５９	38,498百万円
Ｈ６０	38,562百万円
Ｈ６１	38,410百万円
Ｈ６２	15,965百万円

（注1）平成１８年度から平成２１年度までは実績値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	16,786百万円
Ｈ１９	24,426百万円
Ｈ２０	25,020百万円
Ｈ２１	26,890百万円
Ｈ２２	39,641百万円
Ｈ２３	45,227百万円
Ｈ２４	43,777百万円
Ｈ２５	45,102百万円
Ｈ２６	44,093百万円
Ｈ２７	44,219百万円
Ｈ２８	41,386百万円
Ｈ２９	40,138百万円
Ｈ３０	40,173百万円
Ｈ３１	40,265百万円
Ｈ３２	41,150百万円
Ｈ３３	40,680百万円
Ｈ３４	41,569百万円
Ｈ３５	42,238百万円
Ｈ３６	43,156百万円
Ｈ３７	44,288百万円
Ｈ３８	44,951百万円
Ｈ３９	46,000百万円
Ｈ４０	45,712百万円
Ｈ４１	46,648百万円
Ｈ４２	47,198百万円
Ｈ４３	48,049百万円
Ｈ４４	48,687百万円
Ｈ４５	48,400百万円
Ｈ４６	49,064百万円
Ｈ４７	48,983百万円
Ｈ４８	49,278百万円
Ｈ４９	49,473百万円
Ｈ５０	48,744百万円
Ｈ５１	49,020百万円
Ｈ５２	49,334百万円
Ｈ５３	49,426百万円
Ｈ５４	48,983百万円
Ｈ５５	49,105百万円
Ｈ５６	48,734百万円
Ｈ５７	47,931百万円
Ｈ５８	47,841百万円
Ｈ５９	48,724百万円
Ｈ６０	47,760百万円
Ｈ６１	48,683百万円
Ｈ６２	19,712百万円

（注1）平成１８年度から平成２１年度までは実績値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙４－１から４－３までを次のとおり改める。

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	**５１，３１８百万円**

別紙４－２

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	50,158百万円

別紙４－３

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	49,199百万円

別紙５－１から５－３までを次のとおり改める。

別紙５－１

東日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構造物等分		
				うち盛土・切土・のり面構築物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	（ 551,875百万円 ） 551,875百万円	（ 63,667百万円 ） 47,550百万円	（ 379,925百万円 ） 391,645百万円	（ 127,702百万円 ） 111,107百万円	（ 252,223百万円 ） 280,538百万円
Ｈ１９	（ 559,192百万円 ） 558,180百万円	（ 67,965百万円 ） 51,619百万円	（ 405,577百万円 ） 425,162百万円	（ 136,324百万円 ） 120,616百万円	（ 269,253百万円 ） 304,546百万円
Ｈ２０	（ 555,373百万円 ） 522,469百万円	（ 68,941百万円 ） 49,115百万円	（ 411,402百万円 ） 404,532百万円	（ 138,282百万円 ） 114,763百万円	（ 273,120百万円 ） 289,769百万円
Ｈ２１	（ 449,377百万円 ） 420,422百万円	（ 55,670百万円 ） 39,424百万円	（ 332,204百万円 ） 324,717百万円	（ 111,662百万円 ） 92,120百万円	（ 220,542百万円 ） 232,597百万円
Ｈ２２	（ 447,103百万円 ） 432,537百万円	（ 54,937百万円 ） 35,906百万円	（ 327,833百万円 ） 295,738百万円	（ 110,193百万円 ） 83,899百万円	（ 217,640百万円 ） 211,839百万円
Ｈ２３	397,878百万円	36,005百万円	296,559百万円	84,132百万円	212,427百万円
Ｈ２４	412,955百万円	37,119百万円	305,727百万円	86,733百万円	218,994百万円
Ｈ２５	419,967百万円	37,177百万円	306,207百万円	86,869百万円	219,338百万円
Ｈ２６	553,425百万円	50,539百万円	416,265百万円	118,092百万円	298,173百万円
Ｈ２７	568,736百万円	51,859百万円	427,137百万円	121,176百万円	305,961百万円
Ｈ２８	579,662百万円	52,453百万円	432,032百万円	122,565百万円	309,467百万円
Ｈ２９	589,874百万円	54,229百万円	446,654百万円	126,713百万円	319,941百万円
Ｈ３０	594,272百万円	54,653百万円	450,147百万円	127,704百万円	322,443百万円
Ｈ３１	597,553百万円	54,915百万円	452,307百万円	128,317百万円	323,990百万円
Ｈ３２	599,403百万円	55,047百万円	453,392百万円	128,625百万円	324,767百万円
Ｈ３３	600,591百万円	55,111百万円	453,919百万円	128,774百万円	325,145百万円
Ｈ３４	604,606百万円	55,484百万円	456,995百万円	129,647百万円	327,348百万円
Ｈ３５	607,197百万円	55,726百万円	458,991百万円	130,213百万円	328,778百万円
Ｈ３６	604,907百万円	55,432百万円	456,562百万円	129,524百万円	327,038百万円
Ｈ３７	603,583百万円	55,238百万円	454,972百万円	129,073百万円	325,899百万円
Ｈ３８	604,400百万円	55,397百万円	456,279百万円	129,444百万円	326,835百万円
Ｈ３９	605,799百万円	55,518百万円	457,274百万円	129,726百万円	327,548百万円
Ｈ４０	603,274百万円	55,248百万円	455,049百万円	129,095百万円	325,954百万円
Ｈ４１	602,811百万円	55,141百万円	454,168百万円	128,845百万円	325,323百万円
Ｈ４２	601,047百万円	54,898百万円	452,165百万円	128,277百万円	323,888百万円
Ｈ４３	598,599百万円	54,695百万円	450,492百万円	127,802百万円	322,690百万円
Ｈ４４	591,220百万円	53,938百万円	444,263百万円	126,035百万円	318,228百万円
Ｈ４５	585,870百万円	53,496百万円	440,622百万円	125,002百万円	315,620百万円
Ｈ４６	580,415百万円	52,956百万円	436,175百万円	123,740百万円	312,435百万円
Ｈ４７	576,164百万円	52,541百万円	432,753百万円	122,769百万円	309,984百万円
Ｈ４８	569,800百万円	51,859百万円	427,136百万円	121,176百万円	305,960百万円
Ｈ４９	564,517百万円	51,309百万円	422,604百万円	119,890百万円	302,714百万円
Ｈ５０	559,264百万円	50,861百万円	418,917百万円	118,844百万円	300,073百万円
Ｈ５１	555,894百万円	50,536百万円	416,244百万円	118,086百万円	298,158百万円
Ｈ５２	547,790百万円	49,726百万円	409,565百万円	116,191百万円	293,374百万円
Ｈ５３	543,501百万円	49,298百万円	406,042百万円	115,192百万円	290,850百万円
Ｈ５４	538,291百万円	48,745百万円	401,486百万円	113,899百万円	287,587百万円
Ｈ５５	534,914百万円	48,412百万円	398,747百万円	113,122百万円	285,625百万円
Ｈ５６	527,829百万円	47,772百万円	393,478百万円	111,627百万円	281,851百万円
Ｈ５７	521,605百万円	47,203百万円	388,789百万円	110,297百万円	278,492百万円
Ｈ５８	517,325百万円	46,787百万円	385,365百万円	109,326百万円	276,039百万円
Ｈ５９	513,883百万円	46,456百万円	382,633百万円	108,551百万円	274,082百万円
Ｈ６０	507,001百万円	45,769百万円	376,979百万円	106,947百万円	270,032百万円
Ｈ６１	502,803百万円	45,362百万円	373,623百万円	105,995百万円	267,628百万円
Ｈ６２	159,145百万円	13,819百万円	113,821百万円	32,290百万円	81,531百万円

（注1）平成１８年度から平成２１年度の上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２２年度の上段（　）内は計画値
下段は実績見込値を記載している。

中日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	構築物等分		
				うち盛土・切土・のり面構造物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	(472,195百万円) 484,094百万円	(86,431百万円) 74,294百万円	(307,137百万円) 316,083百万円	(81,338百万円) 69,250百万円	(225,799百万円) 246,833百万円
Ｈ１９	(482,966百万円) 484,615百万円	(96,496百万円) 80,890百万円	(342,904百万円) 344,144百万円	(90,810百万円) 75,398百万円	(252,094百万円) 268,746百万円
Ｈ２０	(466,881百万円) 456,343百万円	(94,180百万円) 76,802百万円	(334,674百万円) 326,751百万円	(88,630百万円) 71,587百万円	(246,044百万円) 255,164百万円
Ｈ２１	(355,494百万円) 329,680百万円	(70,563百万円) 54,376百万円	(250,751百万円) 231,341百万円	(66,405百万円) 50,684百万円	(184,346百万円) 180,657百万円
Ｈ２２	(350,323百万円) 343,754百万円	(69,626百万円) 54,211百万円	(247,421百万円) 230,638百万円	(65,524百万円) 50,530百万円	(181,897百万円) 180,108百万円
Ｈ２３	310,152百万円	49,613百万円	211,076百万円	46,244百万円	164,832百万円
Ｈ２４	327,583百万円	51,815百万円	220,445百万円	48,297百万円	172,148百万円
Ｈ２５	337,443百万円	53,530百万円	227,742百万円	49,896百万円	177,846百万円
Ｈ２６	483,458百万円	79,346百万円	337,574百万円	73,958百万円	263,616百万円
Ｈ２７	494,041百万円	81,392百万円	346,284百万円	75,867百万円	270,417百万円
Ｈ２８	499,189百万円	82,227百万円	349,835百万円	76,645百万円	273,190百万円
Ｈ２９	498,351百万円	82,023百万円	348,967百万円	76,455百万円	272,512百万円
Ｈ３０	497,346百万円	81,775百万円	347,912百万円	76,223百万円	271,689百万円
Ｈ３１	503,292百万円	82,775百万円	352,164百万円	77,155百万円	275,009百万円
Ｈ３２	506,649百万円	83,324百万円	354,499百万円	77,667百万円	276,832百万円
Ｈ３３	505,974百万円	82,835百万円	352,417百万円	77,210百万円	275,207百万円
Ｈ３４	509,907百万円	83,439百万円	354,992百万円	77,775百万円	277,217百万円
Ｈ３５	511,702百万円	83,700百万円	356,102百万円	78,018百万円	278,084百万円
Ｈ３６	509,537百万円	83,216百万円	354,040百万円	77,566百万円	276,474百万円
Ｈ３７	508,345百万円	82,958百万円	352,945百万円	77,326百万円	275,619百万円
Ｈ３８	507,952百万円	82,924百万円	352,796百万円	77,294百万円	275,502百万円
Ｈ３９	509,048百万円	83,076百万円	353,442百万円	77,435百万円	276,007百万円
Ｈ４０	506,978百万円	82,677百万円	351,752百万円	77,065百万円	274,687百万円
Ｈ４１	506,452百万円	82,526百万円	351,105百万円	76,923百万円	274,182百万円
Ｈ４２	505,908百万円	82,287百万円	350,090百万円	76,700百万円	273,390百万円
Ｈ４３	503,409百万円	81,969百万円	348,736百万円	76,404百万円	272,332百万円
Ｈ４４	497,052百万円	80,671百万円	343,213百万円	75,194百万円	268,019百万円
Ｈ４５	492,460百万円	80,072百万円	340,663百万円	74,635百万円	266,028百万円
Ｈ４６	488,103百万円	79,289百万円	337,335百万円	73,906百万円	263,429百万円
Ｈ４７	485,128百万円	78,770百万円	335,126百万円	73,422百万円	261,704百万円
Ｈ４８	479,530百万円	77,774百万円	330,888百万円	72,493百万円	258,395百万円
Ｈ４９	475,410百万円	77,005百万円	327,615百万円	71,777百万円	255,838百万円
Ｈ５０	471,129百万円	76,309百万円	324,659百万円	71,129百万円	253,530百万円
Ｈ５１	468,093百万円	75,763百万円	322,334百万円	70,620百万円	251,714百万円
Ｈ５２	461,836百万円	74,654百万円	317,612百万円	69,585百万円	248,027百万円
Ｈ５３	457,924百万円	73,963百万円	314,672百万円	68,941百万円	245,731百万円
Ｈ５４	453,890百万円	73,246百万円	311,624百万円	68,273百万円	243,351百万円
Ｈ５５	451,321百万円	72,740百万円	309,471百万円	67,801百万円	241,670百万円
Ｈ５６	445,642百万円	71,818百万円	305,548百万円	66,942百万円	238,606百万円
Ｈ５７	440,896百万円	70,990百万円	302,025百万円	66,170百万円	235,855百万円
Ｈ５８	436,724百万円	70,256百万円	298,905百万円	65,487百万円	233,418百万円
Ｈ５９	433,994百万円	69,776百万円	296,862百万円	65,039百万円	231,823百万円
Ｈ６０	428,357百万円	68,770百万円	292,579百万円	64,101百万円	228,478百万円
Ｈ６１	424,504百万円	68,114百万円	289,793百万円	63,490百万円	226,303百万円
Ｈ６２	135,476百万円	21,002百万円	89,351百万円	19,576百万円	69,775百万円

（注1）平成１８年度から平成２１年度までの上段（　　）内は、計画値、下段は実績値を、平成２２年度の上段（　　）内は計画値、下段は実績見込み値を記載している。

別紙５－３

西日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構築物等分		
				うち盛土・切土・のり面構造物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	（499,925百万円） 510,013百万円	（69,628百万円） 74,784百万円	（332,649百万円） 357,283百万円	（107,706百万円） 115,682百万円	（224,943百万円） 241,601百万円
Ｈ１９	（509,334百万円） 509,334百万円	（76,047百万円） 79,849百万円	（363,317百万円） 381,483百万円	（117,636百万円） 123,517百万円	（245,681百万円） 257,966百万円
Ｈ２０	（502,022百万円） 485,996百万円	（75,381百万円） 76,489百万円	（360,133百万円） 365,426百万円	（116,605百万円） 118,318百万円	（243,528百万円） 247,108百万円
Ｈ２１	（399,934百万円） 381,671百万円	（58,960百万円） 61,193百万円	（281,681百万円） 292,353百万円	（91,203百万円） 94,659百万円	（190,478百万円） 197,694百万円
Ｈ２２	（410,838百万円） 406,644百万円	（61,473百万円） 60,803百万円	（293,688百万円） 290,488百万円	（95,091百万円） 94,055百万円	（198,597百万円） 196,433百万円
Ｈ２３	351,094百万円	50,655百万円	242,005百万円	78,357百万円	163,648百万円
Ｈ２４	369,650百万円	53,992百万円	257,949百万円	83,519百万円	174,430百万円
Ｈ２５	373,764百万円	54,454百万円	260,154百万円	84,233百万円	175,921百万円
Ｈ２６	522,744百万円	79,360百万円	379,144百万円	122,760百万円	256,384百万円
Ｈ２７	528,762百万円	80,320百万円	383,729百万円	124,245百万円	259,484百万円
Ｈ２８	532,215百万円	81,378百万円	388,787百万円	125,882百万円	262,905百万円
Ｈ２９	532,851百万円	81,692百万円	390,288百万円	126,368百万円	263,920百万円
Ｈ３０	534,295百万円	81,924百万円	391,394百万円	126,726百万円	264,668百万円
Ｈ３１	540,412百万円	82,926百万円	396,183百万円	128,277百万円	267,906百万円
Ｈ３２	542,794百万円	83,170百万円	397,348百万円	128,654百万円	268,694百万円
Ｈ３３	542,576百万円	83,215百万円	397,564百万円	128,724百万円	268,840百万円
Ｈ３４	549,622百万円	84,239百万円	402,453百万円	130,307百万円	272,146百万円
Ｈ３５	552,948百万円	84,679百万円	404,559百万円	130,989百万円	273,570百万円
Ｈ３６	551,032百万円	84,209百万円	402,313百万円	130,262百万円	272,051百万円
Ｈ３７	547,076百万円	83,359百万円	398,249百万円	128,946百万円	269,303百万円
Ｈ３８	545,083百万円	82,923百万円	396,169百万円	128,272百万円	267,897百万円
Ｈ３９	545,120百万円	82,755百万円	395,364百万円	128,012百万円	267,352百万円
Ｈ４０	543,117百万円	82,471百万円	394,006百万円	127,572百万円	266,434百万円
Ｈ４１	542,892百万円	82,277百万円	393,082百万円	127,273百万円	265,809百万円
Ｈ４２	542,147百万円	82,062百万円	392,053百万円	126,940百万円	265,113百万円
Ｈ４３	540,155百万円	81,590百万円	389,799百万円	126,210百万円	263,589百万円
Ｈ４４	533,670百万円	80,408百万円	384,151百万円	124,381百万円	259,770百万円
Ｈ４５	529,457百万円	79,755百万円	381,033百万円	123,372百万円	257,661百万円
Ｈ４６	526,317百万円	79,124百万円	378,019百万円	122,396百万円	255,623百万円
Ｈ４７	524,335百万円	78,803百万円	376,485百万円	121,899百万円	254,586百万円
Ｈ４８	518,909百万円	77,859百万円	371,972百万円	120,438百万円	251,534百万円
Ｈ４９	511,868百万円	76,656百万円	366,228百万円	118,578百万円	247,650百万円
Ｈ５０	504,822百万円	75,608百万円	361,221百万円	116,957百万円	244,264百万円
Ｈ５１	500,344百万円	74,818百万円	357,447百万円	115,735百万円	241,712百万円
Ｈ５２	493,613百万円	73,648百万円	351,856百万円	113,925百万円	237,931百万円
Ｈ５３	489,947百万円	73,024百万円	348,875百万円	112,959百万円	235,916百万円
Ｈ５４	485,840百万円	72,417百万円	345,973百万円	112,020百万円	233,953百万円
Ｈ５５	483,441百万円	71,998百万円	343,971百万円	111,372百万円	232,599百万円
Ｈ５６	477,617百万円	71,093百万円	339,648百万円	109,972百万円	229,676百万円
Ｈ５７	472,118百万円	70,307百万円	335,895百万円	108,757百万円	227,138百万円
Ｈ５８	469,692百万円	69,925百万円	334,068百万円	108,165百万円	225,903百万円
Ｈ５９	468,335百万円	69,552百万円	332,289百万円	107,589百万円	224,700百万円
Ｈ６０	462,708百万円	68,779百万円	328,593百万円	106,393百万円	222,200百万円
Ｈ６１	456,241百万円	67,551百万円	322,726百万円	104,493百万円	218,233百万円
Ｈ６２	114,994百万円	15,695百万円	74,986百万円	24,279百万円	50,707百万円

（注1）平成１８年度から平成２１年度までの上段（　　）内は計画値、下段は実績値を、平成２２年度の上段（　　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

（注2）新名神の「抜本的見直し区間」については、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めてその着工について判断することとし、それまでは着工しない。なお、当該区間を着工した場合に、４５年以内の債務返済を確認するため、当該区間の貸付料を算出している。この場合、平成33年度以降貸付料が発生すると仮定している。

別紙６－１から６－３までを次のとおり改める。

東日本高速道路株式会社における計画料金収入

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	（ 709,612百万円 ） 711,810百万円
Ｈ１９	（ 722,190百万円 ） 713,956百万円
Ｈ２０	（ 719,683百万円 ） 679,582百万円
Ｈ２１	（ 613,220百万円 ） 578,132百万円
Ｈ２２	（ 621,266百万円 ） 600,487百万円
Ｈ２３	568,118百万円
Ｈ２４	589,050百万円
Ｈ２５	597,310百万円
Ｈ２６	733,232百万円
Ｈ２７	747,654百万円
Ｈ２８	765,392百万円
Ｈ２９	778,253百万円
Ｈ３０	783,735百万円
Ｈ３１	789,248百万円
Ｈ３２	791,552百万円
Ｈ３３	791,069百万円
Ｈ３４	793,966百万円
Ｈ３５	795,373百万円
Ｈ３６	792,454百万円
Ｈ３７	791,699百万円
Ｈ３８	790,943百万円
Ｈ３９	792,341百万円
Ｈ４０	789,432百万円
Ｈ４１	788,676百万円
Ｈ４２	787,920百万円
Ｈ４３	784,546百万円
Ｈ４４	776,907百万円
Ｈ４５	771,399百万円
Ｈ４６	765,893百万円
Ｈ４７	762,459百万円
Ｈ４８	754,880百万円
Ｈ４９	749,372百万円
Ｈ５０	743,866百万円
Ｈ５１	740,371百万円
Ｈ５２	732,851百万円
Ｈ５３	727,345百万円
Ｈ５４	721,839百万円
Ｈ５５	718,283百万円
Ｈ５６	710,824百万円
Ｈ５７	705,317百万円
Ｈ５８	699,812百万円
Ｈ５９	696,196百万円
Ｈ６０	688,797百万円
Ｈ６１	683,291百万円
Ｈ６２	279,758百万円

（注1）平成１８年度から平成２１年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２２年度の上段（　）内は計画値下段は実績見込値を記載している。

（注2）本協定における計画料金収入の算定においては、平成24年度および平成25年度のマイレージ割引を計上していない。

中日本高速道路株式会社における計画料金収入

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	(589,562百万円) 607,357百万円
Ｈ１９	(599,122百万円) 606,762百万円
Ｈ２０	(585,472百万円) 569,080百万円
Ｈ２１	(477,225百万円) 446,639百万円
Ｈ２２	(475,906百万円) 464,578百万円
Ｈ２３	432,141百万円
Ｈ２４	455,361百万円
Ｈ２５	469,932百万円
Ｈ２６	619,207百万円
Ｈ２７	629,559百万円
Ｈ２８	635,441百万円
Ｈ２９	635,212百万円
Ｈ３０	635,074百万円
Ｈ３１	641,546百万円
Ｈ３２	645,163百万円
Ｈ３３	645,471百万円
Ｈ３４	648,319百万円
Ｈ３５	649,467百万円
Ｈ３６	647,086百万円
Ｈ３７	646,470百万円
Ｈ３８	645,854百万円
Ｈ３９	646,994百万円
Ｈ４０	644,621百万円
Ｈ４１	644,004百万円
Ｈ４２	643,388百万円
Ｈ４３	640,636百万円
Ｈ４４	634,404百万円
Ｈ４５	629,912百万円
Ｈ４６	625,421百万円
Ｈ４７	622,620百万円
Ｈ４８	616,437百万円
Ｈ４９	611,945百万円
Ｈ５０	607,453百万円
Ｈ５１	604,603百万円
Ｈ５２	598,469百万円
Ｈ５３	593,978百万円
Ｈ５４	589,486百万円
Ｈ５５	586,586百万円
Ｈ５６	580,502百万円
Ｈ５７	576,010百万円
Ｈ５８	571,518百万円
Ｈ５９	568,570百万円
Ｈ６０	562,535百万円
Ｈ６１	558,043百万円
Ｈ６２	228,788百万円

（注1）平成１８年度から平成２１年度までの上段（　　）内は、計画値、下段は実績値を、平成２２年度の上段（　　）内は計画値、下段は実績見込み値を記載している。
（注2）本協定における計画料金収入の算定においては、平成24年度および平成25年度のマイレージ割引を計上していない。

西日本高速道路株式会社における計画料金収入

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	(643,757百万円) 660,282百万円
Ｈ１９	(652,624百万円) 655,944百万円
Ｈ２０	(644,959百万円) 622,483百万円
Ｈ２１	(547,669百万円) 523,929百万円
Ｈ２２	(566,717百万円) 556,855百万円
Ｈ２３	501,783百万円
Ｈ２４	524,081百万円
Ｈ２５	529,502百万円
Ｈ２６	678,426百万円
Ｈ２７	686,733百万円
Ｈ２８	690,772百万円
Ｈ２９	692,379百万円
Ｈ３０	695,015百万円
Ｈ３１	702,398百万円
Ｈ３２	705,984百万円
Ｈ３３	707,409百万円
Ｈ３４	712,586百万円
Ｈ３５	713,879百万円
Ｈ３６	711,310百万円
Ｈ３７	710,673百万円
Ｈ３８	710,035百万円
Ｈ３９	711,320百万円
Ｈ４０	708,720百万円
Ｈ４１	708,043百万円
Ｈ４２	707,366百万円
Ｈ４３	704,352百万円
Ｈ４４	697,528百万円
Ｈ４５	692,609百万円
Ｈ４６	687,689百万円
Ｈ４７	684,619百万円
Ｈ４８	677,849百万円
Ｈ４９	672,929百万円
Ｈ５０	668,008百万円
Ｈ５１	664,884百万円
Ｈ５２	658,167百万円
Ｈ５３	653,246百万円
Ｈ５４	648,325百万円
Ｈ５５	645,147百万円
Ｈ５６	638,484百万円
Ｈ５７	633,563百万円
Ｈ５８	628,642百万円
Ｈ５９	625,410百万円
Ｈ６０	618,801百万円
Ｈ６１	613,881百万円
Ｈ６２	251,568百万円

（注1）平成18年度から平成21年度までの上段（　　）内は計画値、下段は実績値を、平成22年度の上段（　　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。
（注2）新名神の「抜本的見直し区間」については、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めてその着工について判断することとし、それまでは着工しない。なお、当該区間を着工した場合に、４５年以内の債務返済を確認するため、当該区間の料金収入を算出している。この場合、平成33年度以降料金収入が発生すると仮定している。
（注3）本協定における計画料金収入の算定においては、平成24年度及び平成25年度のマイレージ割引を計上していない。

別紙７を次のとおり改める。

別紙7

【機構の収支予算の明細】

全国路線網

[百万円(消費税込み)]

		未償還残高(期首)			会社からの引受け債務(注2)			収入			支出			収支差
		債務残高(期首)(注1)		出資金	有利子借入金	社会資本借入金	無利子借入金	貸付料	占用料等	出資金	管理費等	支払利息	無利子貸付金	
		有利子借入金	社会資本借入金											
2006年度	平成18年度	26,307,763	0	1,954,865	111,873	0	19,557	1,545,982	9,004	0	69,847	440,832	0	1,044,307
2007年度	平成19年度	25,375,330	0	1,954,865	423,074	0	0	1,552,129	7,406	2,850	56,286	399,810	2,850	1,103,439
2008年度	平成20年度	24,694,964	0	1,954,865	403,431	0	8,523	1,464,808	10,885	5,673	59,620	386,547	5,673	1,029,526
2009年度	平成21年度	21,929,913	0	1,954,865	545,409	0	0	1,131,773	9,803	0	31,095	366,104	0	744,376
2010年度	平成22年度	21,730,944	0	1,954,865	807,898	0	0	1,182,935	4,841	0	22,292	349,570	0	815,914
2011年度	平成23年度	21,881,151	0	1,954,865	541,436	0	0	1,059,124	3,135	0	28,384	366,917	0	666,958
2012年度	平成24年度	21,755,629	0	1,954,865	1,847,007	0	0	1,110,188	3,170	0	−31,556	384,544	0	760,369
2013年度	平成25年度	22,842,266	0	1,954,865	256,986	0	0	1,131,174	3,191	0	45,051	443,314	0	646,000
2014年度	平成26年度	22,453,252	0	1,954,865	1,390,881	0	0	1,559,627	3,230	0	18,479	482,506	0	1,061,873
2015年度	平成27年度	22,782,260	0	1,954,865	1,451,098	0	0	1,591,539	3,237	0	14,560	531,719	0	1,048,497
2016年度	平成28年度	23,184,861	0	1,954,865	587,218	0	0	1,611,066	3,315	0	55,462	583,087	0	975,833
2017年度	平成29年度	22,796,247	0	1,954,865	323,926	0	0	1,621,076	3,245	0	64,651	604,838	0	954,832
2018年度	平成30年度	22,165,340	0	1,954,865	2,000,897	0	0	1,625,913	3,256	0	−2,476	622,382	0	1,009,263
2019年度	平成31年度	23,156,975	0	1,954,865	198,373	0	0	1,641,257	3,258	0	71,922	699,552	0	873,040
2020年度	平成32年度	22,482,308	0	1,954,865	2,226,089	0	0	1,648,846	3,267	0	−6,154	710,574	0	947,692
2021年度	平成33年度	23,760,704	0	1,954,865	126,189	0	0	1,649,141	3,267	0	74,805	820,133	0	757,470
2022年度	平成34年度	23,129,423	0	1,954,865	127,878	0	0	1,664,135	3,267	0	75,423	836,328	0	755,651
2023年度	平成35年度	22,501,650	0	1,954,865	129,033	0	0	1,671,847	3,267	0	75,738	838,040	0	761,336
2024年度	平成36年度	21,869,347	0	1,954,865	131,193	0	0	1,665,476	3,267	0	75,323	825,082	0	768,339
2025年度	平成37年度	21,232,201	0	1,954,865	133,123	0	0	1,659,004	3,267	0	75,023	802,199	0	785,049
2026年度	平成38年度	20,580,275	0	1,954,865	132,889	0	0	1,657,435	3,341	0	74,866	778,346	0	807,564
2027年度	平成39年度	19,905,600	0	1,954,865	134,360	0	0	1,659,967	3,267	0	74,923	753,986	0	834,326
2028年度	平成40年度	19,205,635	0	1,954,865	134,437	0	0	1,653,369	3,267	0	74,591	729,639	0	852,406
2029年度	平成41年度	18,487,665	0	1,954,865	136,302	0	0	1,652,155	3,269	0	74,457	705,383	0	875,584
2030年度	平成42年度	17,748,383	0	1,954,865	138,330	0	0	1,649,102	3,267	0	74,212	676,103	0	902,054
2031年度	平成43年度	16,984,659	0	1,954,865	138,057	0	0	1,642,163	3,267	0	73,898	645,113	0	926,419
2032年度	平成44年度	16,196,297	0	1,954,865	139,870	0	0	1,621,942	3,267	0	72,840	614,001	0	938,368
2033年度	平成45年度	15,397,799	0	1,954,865	137,445	0	0	1,607,787	3,267	0	72,290	581,785	0	956,980
2034年度	平成46年度	14,578,264	0	1,954,865	138,130	0	0	1,594,835	3,267	0	71,627	549,306	0	977,169
2035年度	平成47年度	13,739,225	0	1,954,865	137,846	0	0	1,585,627	3,267	0	71,300	516,120	0	1,001,474
2036年度	平成48年度	12,875,596	0	1,954,865	138,695	0	0	1,568,239	3,341	0	70,343	481,866	0	1,019,371
2037年度	平成49年度	11,994,921	0	1,954,865	139,329	0	0	1,551,795	3,267	0	69,541	446,935	0	1,038,587
2038年度	平成50年度	11,095,663	0	1,954,865	137,487	0	0	1,535,215	3,267	0	68,820	412,588	0	1,057,074
2039年度	平成51年度	10,176,076	0	1,954,865	137,686	0	0	1,524,331	3,269	0	68,301	379,236	0	1,080,063
2040年度	平成52年度	9,233,699	0	1,954,865	138,024	0	0	1,503,239	3,267	0	67,283	341,828	0	1,097,395
2041年度	平成53年度	8,274,328	0	1,954,865	138,090	0	0	1,491,372	3,267	0	66,724	303,185	0	1,124,731
2042年度	平成54年度	7,287,687	0	1,954,865	137,996	0	0	1,478,021	3,267	0	66,077	263,680	0	1,151,531
2043年度	平成55年度	6,274,152	0	1,954,865	138,357	0	0	1,469,676	3,267	0	65,667	223,003	0	1,184,273
2044年度	平成56年度	5,228,236	0	1,954,865	136,840	0	0	1,451,088	3,267	0	64,844	181,179	0	1,208,332
2045年度	平成57年度	4,156,744	0	1,954,865	135,369	0	0	1,434,619	3,267	0	64,232	139,038	0	1,234,617
2046年度	平成58年度	3,057,496	0	1,954,865	135,200	0	0	1,423,741	3,341	0	63,630	97,416	0	1,266,036
2047年度	平成59年度	1,926,660	0	1,954,865	135,937	0	0	1,416,212	3,267	0	63,242	53,127	0	1,303,110
2048年度	平成60年度	759,486	0	1,954,865	135,023	0	0	1,398,066	3,267	0	62,406	9,862	0	1,329,066
2049年度	平成61年度	148,477	0	1,371,832	135,662	0	0	1,383,548	3,269	0	61,698	1,912	0	1,323,207
2050年度	平成62年度	0	0	332,764	55,851	0	0	409,614	1,350	0	22,350	0	0	388,615
2051年度	平成63年度	0	0	0										
計					17,106,224	0	28,080	67,150,198	170,575	8,523	2,553,937	21,378,719	8,523	43,388,117

(注1)上表の債務残高は「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律(昭和33年法律第34号)」に基づく高速道路利便増進事業のため、平成20年度において一般会計に承継する機構債務を反映し、平成22年度において高速道路利便増進事業の計画変更に伴い見直しを行っている。
(注2) 新名神の「抜本的見直し区間」は、主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況等を見て、改めてその着工について判断することとし、それまでは着工しない。
なお、当該区間を着工した場合に、45年以内の債務返済を確認するため、当該区間の残事業費も含めて算出している。
(注3)平成18年度から平成21年度までは実績値を、平成22年度は実績見込値を記載している。ただし、会社からの引受債務には、平成23年度以降の災害復旧費等を一括計上している。
(注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

添付書類

別添１　高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線等に関する協定（機構及び東日本高速道路株式会社）

別添２　高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等に関する協定（機構及び中日本高速道路株式会社）

別添３　高速自動車国道中央自動車道西宮線等に関する協定（機構及び西日本高速道路株式会社）

別添４　貸付料及び貸付期間算出の基礎を記載した書類

別添５　推定交通量及びその算出の基礎を記載した書類

別添６　高速自動車国道及び高速自動車国道と交通上密接な関連を有する高速自動車国道以外の高速道路ごとの収支予算の明細を記載した書類